夕刊 滿洲日報 九月四日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

合理的軍縮に對しては日本は誠意を盡し贊同
きのふ聯盟總會席上に於ける安達日本代表の演說

【ジュネーヴ三日發電】本日の聯盟總會に於てマツク英首相の大演說の後を受けて日本代表安達大使は海軍々縮に關する日本の立場其他につき左の如く演說した

海軍々縮を論ずるに當つては各國の地理的位置を考慮に入れなければならぬ、又各國の國防上に於ける各特別の要求をも見逃してはならぬ、英、米間の軍縮交渉は世界平和のため喜ぶべきで其交渉が進捗したとて他國間に何等悲觀の念を生せしめる原因となるはずはない、何となれば各國とも現在、將來に亘り平和保持と促進の責任を有するからである、予は軍縮の希望に對しては全幅の贊同を惜しまぬものであるが、軍縮は當然世界一般の狀勢と共に各國の國防上に於ける特殊要求を考慮した上公正なる合理的に解決せねばならぬ、本問題の世界的協定は各國の完全なる諒解なくしては出來るものでない、日本は合理的の軍縮には全力を擧げ絕對的誠意を盡して協同する用意がある

不戰條約と調和のため聯盟規約を修正
英代表より提議せん

【ジュネーブ三日發電】國際聯盟總會英國代表は本日左の如き意思ある事を明かにした

即ち國際聯盟規約第十三條と第十五條を不戰條約と調和せしめ以て國際聯盟加入國としての義務と不戰條約調印國としての義務の間に在る間隙を埋むる目的を以て其二ヶ條の修正を聯盟總會の議にかけ樣とするものである

露支問題を提出
支那代表が國際聯盟に

【北平四日發電】支那側報道に依れば外交部は國際聯盟總會に出席のためジユネーヴに赴ける伍朝樞、蔣作賓氏等に對し聯盟總會第三日に露支問題を提出し支那は不戰條約に基いて極東平和維持の誠意を有する旨聲明し今次事件の眞相を報告して國際間の諒解を求めよと電命したと

支那代表露支問題を演說

【ジュネーヴ三日發電】國際聯盟總會本日閉會と共に第三日は四日午前十時三十分開會の事となつた、其際支那代表伍朝樞氏は支那とソウエートロシアとの葛藤に關し演說するであらうと期待されてゐる

露支關係好轉說を勞農側では否定
支那側の宣傳に過ぎぬとて

【モスクワ三日發電】目下ベルリン其他の地に露支兩國間の交渉が進行中だとの報頻々として當地に達するが、右につきロシヤ外務省は斷然其報道を否定しロシア政府は目下南京政府より提議し來つた露支共同宣言案文に對するリトヴイノフ氏の修正案に對する南京政府の回答を待ちつゝあるに過ぎない旨を述べてゐる、而して當地政界では前記の虛報の出處は支那官邊ならんと信じてゐる

勞農機の示威飛行
滿洲里方面で

【滿洲里三日發電】三日午前十一時ロシア飛行機二臺が滿洲里の上空に飛來し支那軍司令部及び停車場の上を低空旋回飛行して二十分にして引揚げた、市民は之に驚き動搖したが支那軍は發砲せず某總司令は直に此旨を奉天に打電し飛行隊の來援を依賴した

東鐵ホテルを支人經營に

【ハルビン特電四日發】東鐵經營委任のグランドホテルはマシエフスキーのソウエートロシア人が支配人であつたところ、東鐵事件の發生でマ氏が勞農領事當時宿泊旅客の行動を內報してゐたとの理由で支那側は今回北京より支那人を招き委任經營に改めしめることになつたホテルにまで支那側の勢力が入つたわけである

寫眞說明 (上)大平副總裁 (下)同副總裁(×印)上陸する所

哈市國民黨部大會
猛烈に反露氣勢を揚ぐ

【ハルビン特電四日發】特別區第一中學校にて國民黨部大會を二日午後四時から開催し對露問題につき協議討論の結果

一、本大會の決議を國民政府に通告し、ソウエートからの平和交渉があればロシアの侵略せる土地を返還せしめ賠償金を要求したる後交渉に應ずること

一、本黨員は各會と連絡し反ロシア大會の組織、義捐金募集、軍隊の慰問、救濟、宣傳等の合作を行ふ

一、東北當局に進言して在哈の赤系分子を直ちに勾禁し東鐵を回收する

一、當局に對し市價の平靜を保ち貧民の救濟、不良分子を防遏すること

一、警查隊を組織しソウエートの不良分子の破壞運動を調查し極力勞農の治安攪亂の陰謀を防ぐこと

一、ハルビン中國國民黨執行委員會を組織し、對露問題に關し五名の委員を選任し、今後一切の交渉決議事項を實現すること

等を可決し、八時半ごろ打倒赤色帝國主義を高唱し萬歲を唱へ散會した

荻川放談 (89)
禁出穀

本年は不作とあつて、もう滿洲の或地方では、禁出穀令を出したとか、奉天では、國民政府から東北四省の官憲宛に、此禁出穀を命じて來たとも云ふ、東北四省の生命は穀類である、若之が國外に輸出されなかつたら、第一に苦むは官憲で、たゞさえ財政難に陷つてゐるのに、これですつかり財源を枯渇して仕舞ふ、民衆とて金融の途を塞がれて生計に脅威を受くるは勿論のこと、殊に其禁出穀が時局關係から軍糧を得んが爲なりとの說が眞ならば、愈々以て民衆の惱みは大なるべし。

◇

東北四省の官憲が、軍糧を民間に求めんには、他に資金はないから不換紙幣の濫發を以てせねばならぬ、現在すでに反古紙と等しき程度まで、此不換紙幣が其價格を低下し居るは、濫發の結果に外ならぬに、若し是以上に濫發とあつては、反古紙にも價格はあるが、該紙幣は全く價格を無くすることになるべし、尤も支那官憲のことである、此無價格紙幣に强制價格を附して無理に軍糧の調辨をなすかも知れぬ、勿論其外の政費にも充つる、而して官吏俸給の二割減から風聞通り實現せば騷動じや。

◇

傳えらるゝところでは、どうやら露國との葛藤も妥協に入つたらしい、妥協をするがよい、前に書いたようなことをやられては、民衆が迷惑するのみか、現在の東北四省官憲の地位が危うくもなる、眞逆に之を危ふくせんと、國民政府が禁出穀を命令した譯でもなかろうが、近頃はだんだんと國民政府の手が東北四省に及び、涉外交通にさては財務までが其手に渡らんし、兵權だけは喰止め得たようだが、東北四省官憲が之を有するだけに、露國との妥協を見越し得ながら、國境警備に犬馬の勞を負はさるゝ感がする。

◇

而も此の犬馬の勞を負はせながら、充分な經費はくれず、くれても東北四省から國民政府に納むべき國稅がそれなのだとあつては、名のみで實はない、そうえに譯も判らぬで、縱へば禁出穀なんかゞを指圖されては、革命統一を謳歌する東北四省官憲は吾が地位なんかを捨てゝも、それが善いと云ふかも知れぬがそれじや東北四省が立つて行かぬ、哀れなるは其處の民衆である、況んや此禁出穀が表面に軍糧の調辨を裝ひ、裏面にはそれが官憲の買占めとなつて、彼等の私腹を肥やすことにもなる憂ひあるに於てをやではないか。

得難い總裁の下で重任を果したい
社員相互の一致協力により
大平副總裁在連社員に挨拶

大平副總裁の在連社員に對する就任挨拶は四日午前十一時より協和會館に於いて行はれたが定刻前會館は階上階下共立錐の餘地なき迄に新副總裁の言葉を聽かんとする社員を以て埋められ重役側より藤根、田邊、神鞭、小日山の各理事列席、木村人事課長の案內で登壇した、大平副總裁は約十五分間に亘り大要左の如き就任挨拶を爲した、社員側では技術委員長貝瀨謹吾氏在連社員を代表して簡單に左の如き新副總裁歡迎の辭を述ぶる所あり熱烈な社員の拍手裡に十一時廿五分散會した

挨拶の要旨

御挨拶申上ます、私は暫らく振りに諸君とお目にかゝり再び私が副總裁として諸君と仕事をして行く事の出來るのを心から喜ぶものであります、諸君が彌々御健勝にして社運益々隆盛なることは國家の爲めまことに欣快に堪へないのであります更に又一時は御病氣の爲めお案じ申上げてゐた仙石總裁の御容體は其後非常に御良好で日ならずしてその御來任を見るべく是亦御同慶に堪へぬ次第であります、實は私の諸君に對する訓示は總裁の來任を待つて同時に致したい心組みで居りましたのでありますが折角斯くの如くお集まりを願つたのでありますからほんの顔合せの意味に於いて唯一言申述べたいと思ひます

仙石總裁 は實に立派な方でありまして其人格、手腕、識見、閱歷に於てまことに得難き滿鐵總裁として間然する所なき人物であると信ずるのであります、先には副社長として諸君と一緒に仕事を爲し今また斯かる總裁の下に副總裁として働くことは私にとつても非常に愉快であると共に一般社員諸君に於かれても斯かる總裁の下に一意社業にいそしむことは恐らく大なる悅びであると共に幸福であり私達は所謂大船に乘つた氣で戮力協心して邦家の爲めに貢獻し得ると信ずるのであります、魯鈍なる私は最初副總裁として參ることを幾度か辭退致したのでありますが遂に聽き容れられず

此重任に 就いたのでありまして、今後は只管自ら求むること無く心を虛しうして總裁の有つ手腕大技術を充分に伸ばさしめることを助くるのが自分の使命であると信じますが故に先年在任當時と同樣諸君の厚き同情と理解により此重大任務を果さして貰ひたいのであります副總裁たる私の主要任務と致しましては總裁と諸君の間に介在して所謂上意下達、遺憾なき連絡疏通を圖るにあると考へまして充分努力する積りでありますが諸君に於ても何卒今後は遠慮なく

時に將來に於ける諸君の充分なる御援助を祈つて御挨拶と致します

社員代表答辭

僭越乍ら社員諸君を代表して御挨拶申上ます、今日大平新副總裁を以前より一層元氣なお顔でお迎へすることの出來たとは吾等社員にとり如何許り嬉しいか知れぬことでありまして、請はゞ二年餘り慈母の傍から離れてゐた吾々が再び母の里歸りによりなつかしき溫容に接した思ひであります 斯かる事はくどくどしく儀禮的に申述べる可く餘りに嬉しく懷しい事であります、且つ又滿洲に理解を有ち精通せらるゝ副總裁を再びお迎へ申上げることが出來ましたことは會社の爲め國家のため大慶ばしいことに存じます、新副總裁のお言葉の通り社員一同協力一致して奮鬪致しますことをお誓ひ申上ると同時に豫定の如き本日の御來任を衷心よりお慶び申上げて切に今後の御鞭撻御指導を乞ひ無雜乍ら新副總裁歡迎の辭と致します

再任の感じ
我家に歸つた樣
感慨深き大平副總裁

滿洲には馴染深い大平駒槌氏、氏が仙石總裁の下で好い女房役として來滿すると傳へられた時、滿鐵人は云はずもがな在滿幾多の同胞は此報に欣んだものだ、四日入港のはるびん丸、めつきり秋めいた海面を滑り込むと、懷しげな大平氏の顔が甲板上に浮ぶ、沖まで迎えた木村人事課長、藤井秘書役其他滿鐵幹部との間で帽子が振られて「久方ぶりです」「御氣嫌よう」の挨拶が小蒸汽との間で交される、はるびん丸サロンに落ちついた大平氏は記者團への最初の言葉として

腹藏なく 私の意見を申出られたいと思ふのであります終りに臨んで諸君と再會の機を得たことを心から祝福すると同

皆から肥つたとか若返つたとか云はれるが結局浪人生活の有難味だらうよ、まあ今かうして歸つて來た感じ、さうだね

我家に歸 つた樣な至極なつかしい氣持で、その意味でむしろ京都に歸つた時などより落ついた感じだ、仙石總裁の病氣か、私も心配してゐるがまあ暑氣中りと云つた程度のものぢやなからうか、永い間野にあつた人が急に多忙な椅子についたのだから、だが電報によると大した事はなさそうだから安心してゐる、何れ仕事をするにしても仙石總裁の來連後だが、總裁の來滿期はまづ此分だと廿日過ぎにならうね、兎に角仙石氏を滿鐵總裁にもつて來た濱口首相も偉いが滿鐵としても隨分偉物を頭に頂いたと云ふものだ、何と云つても仙石さんは

元老格で 絕對政黨人は寄せつけない自信を持つてゐるから、大臣連中でも一寸手が出せない樣な狀態である、自分と仙石さんとの緣は實に異なもので昨秋御大典の際伊澤、上山兩氏等と一緒に京都の自分の宅で一泊した位で深い交際と云ふものはなかつたのである、だから恐らく今度も私の話が出たとしても全然未知の間であつたら自分を副總裁に推すなんて事はなかつたと思つてゐる、最初から總裁も云はれた事だが自分等は今度仕事をする上に總裁は總裁の、副總裁は副總裁の、理事は理事の仕事をすれば良いと思つてゐる、自分は安廣さんの折は

緊縮整理 の方針でやつたが今度は仙石さんの女房役として安廣氏の折とは違つた態度で行くかも知れない、だがなんと云つても仙石さんは老體だから一日十五里步く所を十里しか步けないといふ場合、五里の間は仕事となつて私が之を助けて行くと云つた氣持を常に持つてゐる、山本前總裁の昭和製鋼、礦安會社、それにオイルセール事業の三大事業中、オイルセールは安廣氏の繼續事業だから言及しないが、製鋼及び礦安會社は專門家の意見をよく徵して採算がとれればやる意嚮らしかつた時に判然としておきたい事は絕對

政黨人を 排すると云ふ立場から仙石總裁が强い信念の下に來られる事でその意味から不要な人事の異動はないと信じる、だが自分から辭められる方に對しては之を止めやうとはしないつもりだ

尙副總裁は滿埠と共に出迎へた理事、部課長連を初め社員一同に取卷かれ身動きすら出來ない程の歡迎裡に自動車を驅つて本社へ向つた

大平副總裁が部所長招待

大平副總裁は四日午後四時からヤマトホテルに於ける太田關東長官の招宴に臨んだ後七時から滿洲館に於て滿鐵の各部所長以上二十餘名を招待すると

市役所の職制改正
課長を廢して主任制採用
事務簡捷を圖り經費を節減

懸案の大連市役所職制改正は既に三部制採用に內定してゐたが、其後新任の細谷助役を加へ十分案を練つた結果、今回左の如く內定し兩三日中に發表することゝなつた、即ち現在の課長を全廢して

主任制を (主任は主事とす)採用し、通常事務は主任の裁斷に委せ、重要なる事務に限り之を市長、助役に統轄せしむることにより簡易敏活に事務の大綱を張ると共に一面經費の節約を圖らんとするものである、此結果庶務、財務、會計、衞生、學務、社會の六係並に新に設置する調查係(差當り三名を置く豫定)の七係となり、此のうち庶務、學務、社會の各主任並に係長は細谷助役自ら兼任し會計並に財務主任は前課長留任することゝなり、衞生主任は近く銓衡決定の筈で自然前二課長は

勇退を見 ることゝなつた右の內新設の調查係は現在の市事業の改善方法や將來の計畫を樹立し大に之が基礎的調查研究に當らしめんとするものである、之を要するに今次の改正は調查係を新設する以外は各課の名稱が變更されるだけであるが實質的には課長廢止により經費節減と事務の能率化を實現するもので當局の意嚮ある處と謂ひ得やう

今月中人事異動
職制の改正に伴つて

以上は今回內決を見たる職制改正の內容であるが此職制確立に伴ひ各係吏員の異動が行はれることは當然で確聞する所によれば成るべく早急に晚くとも今月中には略左の如き異動が行はれるであらう

即ち現在の財務課の營繕係三名は冗員の嫌ひがあるから一名として新に日本人大工一名を入れ(現在は左官大工各支那人一名)建築設計や監督上技術者の必要ある場合は臨時に囑託することにしたい、衞生課に現在四人の缺員あるのも補充の必要なく尙新主任は榮町の作業所に駐在して作業事務を督勵し現在の主任は辭せしむべきである、學務課も豫算作成上の事務丈だから一名でよい、尙社會課及び會計課に於ても相當減員の餘地あり殊に市營質屋の如き現在三名ゐるが一名で事足りるであらう

以上の方針は決定案に近きもので自然相當數の馘首は免れ難い狀勢にあるが、一面所外より數名新任者を迎へ各吏員を適材適所に配置し以て從來極度にダレ切つてゐた所內の空氣を一新して事務の經濟化能率化を企圖してゐるのも既定の事實である

勞農北極圈に無電局設置

【モスクワ三日發電】勞農は近來頻りに其北極圈の無電化を圖りつゝあるがフランツ、ヨセフ島には既に無電局並に氣象臺を設置して活動してゐるが目下更にウランゲル島にも無電局を設置中である

奉天軍駐屯の家屋檢分

【ハルビン特電四日發】奉天第二軍長王樹常氏は三日ハルビンに到着し軍隊の駐屯家屋を檢分した

電信特殊有技者檢定試驗

大連遞信局では第三十一回電信特殊有技者檢定試驗を來る五十日大連、旅順、奉天及び長春の各郵便局にて同十六日撫順及安東縣郵便局で執行することゝなつたが試驗科目は鑽孔、現波受信、タイプライター受信、鍵盤鑽孔及外國語等であると

仙石總裁容體

【東京四日發電】仙石滿鐵總裁の四日午前六時の容體左の如し
體溫三十六度五、脈搏六十二、呼吸二十、食事牛乳、オバルチン百グラム攝取

人事

▲大平駒槌氏(滿鐵副總裁) 四日入港はるびん丸にて來連
▲林顯藏氏(滿鐵社員) 同上
▲岡新六氏(滿鐵囑託) 同上
▲穗積哲三氏(滿鐵社員) 同上
▲古泉光男氏(同) 同上
▲吉川郁羊氏(陸軍步兵中佐) 同上
▲齋榮錦氏(ニコライフスク駐在支那領事) 同上

大觀小觀

◇大平滿鐵副總裁、前任當時そのまゝのニコニコ顔にて今日、着任

◇滿蒙の山海は依然たるも、支那の時局は一變また一變、東三省の五色旗は東北四省の青天白日旗となつた。

◇而して支那民族、といつたところで一部の若い國民黨員や學生ぐらゐのものであるが、とにかく國民革命への空想に憂身をやつしてゐる。

◇そこに革命支那の危險であり、滿蒙のアンステーブルがある。

◇然り而して滿蒙は、何といふても日支の利害の冶融を期せねばならぬ舞臺である。

◇われわれは仙石新滿鐵總裁の經綸と、今朝着任の大平副總裁の手腕に信賴するところのものが甚大であるのである。

◇そのニコニコ顔を以て日支の冶融による滿蒙の開發に邁進せられんことを望むや切である。

風もなく二百十日の晴れ渡る。

天氣豫報

(五日)晴れ一時曇り北西の風
日出五、二四 日入六、二〇
滿潮前一一、二〇 後一一、三五
干潮午前五、〇 午後五、四五

×―初秋の郊外―×

時計密輸發覺か
大連郵便局から小包二箱
けふ俄に大連署活動して押收す
未だ開けぬ箱の謎

時計密輸事件は神戸税關と大連署が相呼應しなほ搜査續行中であるが、四日入港のはるびん丸で再び神戸税關より監視笹野龍之および門司税關より監視坂元直の兩氏來連し大連署星司法主任と約一時間に亘り密議を遂げ俄に活動を開始大連郵便局に到り聖德街松浦進郎宛

郵送し 來てゐる小包二箱を押收して正午過ぎ引揚げた、箱は木製のもので時計なれば一箱二百個位詰められる容積であり、内容不明であるも箱の重量より推して價格約三千圓位の時計である事は略想像出來る、尚笹野、坂元兩監視は磐城町竹岡水昌堂宛大阪谷本群三商會出しの書面などを擴げ星司法主任と更に密議を遂げたがまだ埠頭保税倉庫にも澤山積まれてあるらしく大連署

刑事連 は直ちに活動を開始した、本事件は既報のものとは全然別系統であるらしく笹野、坂元兩監視は交々語る

箱の内容は何品であるか蓋をとらないので判らぬが、大體時計であるらしい、神戸に行つて檢査したら判るがソレ迄は蓋を取る譯に行かぬ、系統もいま搜査してゐるものとは別かも知れない

田邊教授が繪行脚

東京美術學校教授田邊至氏はツーリストビューロー大連支部の招待で三日朝來連ヤマトホテルに投宿したが氏は暫く北滿地方を繪行脚をなす由

春日町に滿電が待避線新設

大連電鐵の常盤橋春日町間線路は野球その他の催しがある場合一時に乘客が雜沓するため臨時增車を必要とする場合が多いが、現在は多數の臨時車を收容する場所がなく輸送の圓滑を圖る上に遺憾の點があるといふので、今回滿電では春日小學校前に待避線を新設し改善を圖ることゝなり曩に許可の申請を提出したので目下遞信局、土木課出張所、警察署等にて調査中である

福知山聯隊區軍隊慰問團來る
けふはるびん丸にて

福知山聯隊區軍隊慰問團は在鄕軍人及び新聞記者によつて組織され福知山聯隊區司令部步兵中佐吉川郁半氏を團長として海山遠くへだてた滿蒙の第一線に立つ京都十六師團の精銳を親く見舞はんとするものであるが四日入港のはるびん丸で來連した、上陸と共に埠頭の見學を終え午後三時の便で直ちに柳樹屯に向つたが約二週間で奧地にある各部隊を犒らふものであると(寫眞は一行)

滿洲硬球選手權大會
十五日から開催に變更

來る八日開催の豫定であつた滿洲體育協會主催滿洲硬球選手權大會は新に大連各倶樂部の後援を得べテラン(O・B)メンスの二部に分ち十五日より擧行される事となつた、諸規定次の如し

一、ベテラン――シングルス、ダブルス(三十五歳以上)
一、メンス――シングルス、ダブルス
一、期日――九月十五日より向ふ一週間
一、申込料――シングルス、ダブルス共に四圓
一、申込締切――九月十日
一、場所――大連詳細は九月十二日決定の筈
一、役員濱田(三井)ラングドン(大連倶樂部)小野(郵船)片岡(正金)太田(東拓)日高(大商船)矢作(税關)山内(滿鐵庭球部)括弧内は倶樂部名

尚大連倶樂部及び山本、體育堂の兩運動具店より優勝カップの寄贈があつたほか當日は外國人も相當に參加するとの事だからベテラン組等に於ては愉快な國際マッチが見られるであらう

通遼方面のペスト患者
次第に増える

【長春特電三日發】通遼附近におけるペスト狀況調査のため同方面に出張中の坂元長春細菌檢査所主任は二日歸長したが氏は語る

通遼方面のペストはその後特に猖獗を極めてゐるといふ程でもないが最近次第に增加しつゝある、この程錢家店から邦里二里許りの地點である祭爾罕に二三名の新患者が發生した由であるが、同地は蒙古王の領地であるために調査員を派遣することが出來ない、支那側でもやつきとなつてゐるが手が入らないので密偵の手で調査するより仕方がない、滿鐵では四平街及び鄭家屯で情報を蒐集してゐるが今のところそれ以上策の施しやうがない、然し一歩四洮線の沿線にでも侵入すれば日支協力して直ちに撲滅するつもりである

外來チームとの對抗野球戰後記
【下】

第一 試合數

試合が多すぎた樣だ、しかも滿倶の如きは都市大會にも出場しあれだけ盛澤山のゲームを二ケ月半の間につきつけられて良くも辛棒をして戰へたものだと今更その勇氣に感服せざるを得ない、あれでシーズン中を緊張しつゞけて戰へといふのは言ふ方が無理だ、人間の力には限りがある、スポーツマンスピリツトの何たるかを考へ、そしてまた眞の野球技の發達を思ひ筆者は選手諸君のために、また大連球界のためにゲームがもつと少くあつてくれる事を切望する、勿論總ての外來チームが先方の費用持ちで來襲するのなら致し方ないその時は或時には國際なり、滿電なり、消費組合なりと試合をさせるのも面白くもあり、効果も擧がるのではなからうか、種々なる面倒な事情で勿論理想の實現は困難ではあらうけれど當局者の熟考を切望する、試合過多から選手の氣持に緩みを起しその氣持のまゝで試合をさせる事は選手そのものを知らず〳〵の間に運動精神から遠ざけはしないだらうかと言ふ事を最も恐れるのである。

第二 審判

審判の上手下手をとやかくいふのではないが一つの投球に對して或人はこれをボールと考へ、或人はこれをストライクと考へる事は當然あり得ることである、そうである場合には審判の癖を知つてゐる投手は非常に有利な條件を與へられる事となる、その他主、副審との圓滑な連絡のためにも(其の人が實業、滿倶或ひは其他のチームに席があつても好いから)專門的に審判の衝に當る適當な人數を指定してそれ等の人々だけで研究をし、それ〴〵の限界に就いて一定の意見を定めるやうにしたならばかうした弊害も今後大いに救はれる樣になるのではあるまいか。

第三 野次

勿論審判員も人である以上誤審の起るのはあり勝ちの事で、これに一々猛烈な彌次をあびせることは餘り無思慮であり、また選手個々のプレーに就いても時にこれを罵倒するのは最も愼まねばならぬ事だと思ふ、しかもこれ等の野次を飛ばす人は極めて小數のファンであり、それ等のために吾々のスポーツの神聖が害される事は實に遺憾の極みである(一記者)

支那軍隊防寒の準備に惱む
東鐵西部線水害のために 滿洲里との連絡拒絶

【ハルピン特電四日發】連日の降雨のため東鐵西部線海拉爾から雅克石、博克圖間は大洪水で鐵道線路に浸水し既報の如く列車の運行を中止するに至り、目下復舊に努めつゝあるが水の揚げ場がないので困つてゐる、北滿は既に冷氣加はり支那軍隊は防寒具の準備で惱まされてゐる、この水害のため滿洲里との連絡杜絶して軍隊は立往生の態で戰鬪どころではない

ツエ伯號
歸獨を急ぐ

スペイン通過 【スペイン サンタンデール三日發電】ツエ伯號は本日午後九時十五分當地上空を通過した

大歡迎の準備 【フリードリヒスハーフェン三日發電】ツエ伯號は四日午前四時當地に歸着すべく期待され居り當市民はその世界一周飛行の成功を祝すべく熱狂的歡迎をなす手筈中である

自作品を賣り學資金に
青年畫家森岡君が近く個展を

日本水彩畫會に札幌から出品してその畫才を認められて居た森岡史郎君は暑中休暇を利用して來連した、森岡君は北海道帝國大學の學生であつて札幌を中心とした美術愛好家の中では既にポピュラーな名を持つてゐる許りでなく、東京の日本水彩畫會に連年優秀な作品を發表してゐることゝで知られてゐる、青年らしい眞摯なそして率直な而も多才な作が畫面に躍つてゐる、君はこの惠まれた

才能の一面 に家庭的には甚だ惠まれず幼にして父母に逝かれ、爾來孤獨流轉の生活をつゞけ學業、繪畫全く獨力によつて築き上げた人である、そしてこの繪が彼の學資の一部となつてゐるのである、若き天才のこのよき繪四十六點(ハルビン、公主嶺、旅順等の南北滿洲及札幌その他の繪)の畫展を九月六、七の兩日滿鐵社員クラブに於て、そして八日には旅順千歳クラブに於て催すことゝなつた(寫眞は森岡君とその作品)

カフェーの女給が聯盟を組織の計畫
酌婦上りの女給不許可の通知に
青年聯盟突ッ込む

カフェー女給の風紀問題から今更ながら驚いた大連署では、その原因が多く酌婦上りの女にあると斷定し今後出願する女給に酌婦上りの女を許可しない方針を執り四日組合側に通知したが、此事實を聞知した青年聯盟の森永德治氏は早速署に原田保安主任を訪ひ風紀を紊すのは酌婦上りの女給ばかりではあるまい、素人娘の女給でも隨分風紀を紊してゐるソレを酌婦上りの女にのみ責を負はして斯る方針を執るのは人類愛を沒却した片手落の處置ではあるまいかと鋭く突つ込む處あり、一方女給側では三百五十名の同志に檄を飛ばし之れを動機として女給聯盟を組織し相互の親睦と品性の陶冶を圖るべく計畫中である

醉拂ひ保護さる

大連對島町四二滿鐵列車區車掌萩原光雄(二〇)と天神町六二滿鐵調査課勝谷綠郎(二〇)の兩名は三日午後九時三十分ごろ信濃町ミドリカフェーに於て飲酒しへベレケに醉つ拂つたうへ、四日午前一時ごろ吉野町一二飲食店平の家に至り無に暴言を吐き亂暴するので驅付けた細元、澤田、針木三巡査に制止され主署に引致の上泥醉者として保護された

近ごろ珍らしい二大事件の公判日決る
滿洲共產黨事件は十一月廿一日
水產不正事件は十月十日に開廷

滿洲初めての大事件として社會の耳目を聳駭せしめた

廣瀨進、大田二郎、佐藤一男、田中貞美、出口重治、松田豐、田中輝男、矢部猛雄、小林周三、阿部義照、伊藤進次郎、櫻井圭二、八幡政彥、秀島嘉雄、松良一萬太、畝川操、中島保住、納富勇

一味十八名にかゝる共產陰謀のケルン事件はいよ〳〵十一月廿一日大連地方法院第一號法廷において森本裁判長、小田、川畑兩判官陪席、池内檢察官干與のうへ

第一回 公判開廷に決定した、當日は中野、古賀、五十村、米岡、大内、小野、竹田、瀧田の各辯護士も立ち會ふ筈である、尚水產不正事件として各方面に大なるセンセーションを捲き起した佐治大助、川上賢三、横越友吉鐵山貞藏、高橋德藏、木野村簡太郎、加藤巳五七、柳生大三郎にかゝる業務橫領、詐欺、贈賄、收賄、恐喝事件は十月十日第一回公判開廷に決定した

コレラ船の消毒も行はず
營口から大連へ同航せしむ
海務局で大いに憤慨

營口警察より當地海務局への情報によると三日營口入港の東新號は乘客中青島より上海に行く途中、支那人女刑姜(三〇)が發病した事を聞込み診察のうへ檢鏡中三日疑似菌を發見したもので、同東新丸は四日未明營口を發して大連に向つたと、この報に接して海務局では一方船體の消毒も施行せず出帆せしめた營口當局者の態度に少からず憤慨したが、取敢へず同船の入港を待つ事にした、なほ營口よりの情報によるとコレラ患者支那人尼大姑(四〇)は目下大連入港中の國際汽船べるふあすと號に便乘してゐたもので此の間傳染したと稱したとあつたので、これにも再び吃驚させられ直ちに取調べたが、これは何かの間違ひらしく當時同人の如き乘客を見なかつたと

赤い舌をペロリ
交通違反で藝妓にお灸

大連逢坂町遊廓貸座敷美人館抱へ藝妓關子こと奧村チエ(二七)と同藝妓君千代こと吉津チヨ(二七)の兩名は去月二十九日午前十時三十分ごろ常盤橋の車道を歩いてゐるので取締中の森井巡査に步道を步けと注意されたが赤い舌をペロリと出して肯ぜぬので遂に告發され四日大連署に呼び出され散々油を搾られた上各科料二圓のお灸を据えられた

香爐礁の四人組强盜捕はる
强奪したる金品で拳銃を買ひ一仕事を目論む

去る一日沙河口管內香爐礁第四區劉正明方へ四人組强盜押入り留守居中の妻魏氏(二七)を戸外に引出し脅迫の上腕時計其の他數品を强奪して逃走したが、妻魏氏は後難を恐れて其の筋へ屆出でなかつたことを沙河口署員が探知し各方面搜査中、三日午後零時半ごろ西山會春柳屯三春柳において

擧動不審 の支那人二名を誰何取調べたところ、前記劉方の贓品を所持して居るので本署に引致し嚴重取調べの結果、この男は香爐礁第四區居住の苦力王修禮(二二)雜貨商崔吉榮(二二)と稱し、去る一日午後十時ごろ小崗子納涼園において香爐礁居住の大工傅克禮(二一)馬寬成(二〇)と四名共謀のうへ劉方を襲つた旨自白したので、同署の刑事隊は同夜十時ごろ傅を、四日朝四時ごろ馬をそれ〴〵

寢込みを 襲つて逮捕した 彼等は劉方で强奪した金品を以て拳銃を買入れ更に一仕事せんと目論んでゐたものだと

日本人の縊死

四日午前零時ごろ市內白菊町大連運動場附近において年齡卅三歲位の日本人が縊死して居るのを通行人が發見し沙河口署にて取調べたところ所持品もなく身元不明なるため檢視のうへ死體は市役所へ引渡した

けふ第二回試乘の旅客機出發

上り第二回旅客輸送機は四日午前七時三十五分周水子飛行場を出發した乘客は 電通秋田、大每今尾、帝通西川、長崎日日向の四氏

飛んだ俳優警察を僞る

市內平和街三十二番地俳優宿舍四號楊蔡氏養女楊秀英(三二)は「繼母のため客のないときは常に燒火箸をもつて臀部を毆打され奉天方面に賣飛ばされんとして居るから」小崗子署へ保護を願出でたので、同署では大いに同情し保護を加へると共に各關係者を呼び出して嚴重取調べ中であつたところ此の程に至り燒火箸にて毆打されたとは眞赤な僞りにて自分にて銅子見を以つて臀部に傷をつけ燒火箸にて毆打されたが如く裝ひ居つたことが判明、同署では直ちに拘留處分にされた

味噌汁で幼兒死す

市內伏見町十四番地十六號滿鐵社員板橋龍吉二女千鶴子(三)は去る三十日午後零時半ごろ自宅四疊半の間において母親テツ子が晝食の準備中、轉倒して沸騰した味噌汁を背部その他上半身に浴び火傷を負ひ翌三十一日遂に死亡した

疊職青くなる

市內沙河口巴町二九疊職小塚七太郎(四七)は四日午前一時半ごろ小崗子納涼園より馬車にて歸宅の途中霞町電燈會社前にてパナマ帽にはさんであつた三十圓を二十歳位の支那人に帽子とも搔つ拂はれ青くなつて沙河口署へ屆出でた

僞造奉票の行使前に御用

沙河口西山會香爐礁二區三十三居住の御馬車夫袁治貞(二五)は復縣方面にて僞造奉天票十圓札五十枚を買入れ大連にて行使せんと徘徊して居るのを沙河口署員が逮捕した

丸粕の對歐輸出と各油房業者の競爭

一時は奇利を博したが其の後豫期に反す 輸出期に入れば相當引合あらん

歐洲に於ける油房工業が顯著なる發達をした結果として豆粕の對歐輸出は殆ど絶望視された處昨春來

家畜飼料 としての粉粕の輸出を試みることによつて大連油房界に一縷の光明を點じたことは屢報の如くで、頗るその將來を期待せられ昨年十一月に於て二千噸近くの引合を見たが引續いて乾燥丸粕の製造に成功し、昨年十二月日清製油はこれが歐洲向輸出の冒險を敢行した處當初の杞憂を裏切り意外の需要ありて、一枚につき四錢乃至五錢方の奇利を博したこれが爲め大連油房界は俄然活況を呈し來り三井、三菱等の大手筋は爭つて、丸粕の販路擴張に努力したので結局不當の競爭を敢てする結果、豫期した程の利益を擧げてゐないが、それにしても需要は依然として變らず、昨年十二月に於ては

五千餘噸 の輸出を見、爾來四、五千噸の輸出額あり目下は夏枯期に入りて比較的に閑散であるが、十一月の輸出期に入れば再び相當の引合あるものと期待されてゐる而して粉粕は比較的に手數を要せざる丸粕の輸出によつてお株を奪はれた狀態にあるが、兎に角角帯々乍ら引續いての註文ある模樣である、試みに昨年一月以降今年六月迄の歐洲向大連港輸出の豆粕を各月別に列擧してその推移を見れば左の通りで、昨年六月迄は粉粕の見本のみを出し七月より十一月迄に漸次

入註旺盛 となりつゝあつたが十二月に入りて乾燥丸粕の輸出によつて、俄に活況を呈してゐる(單位噸)

昭和三年一月五〇△二月二二五△三月—△四月二〇〇△五月三〇△六月一五△七月四八五△八月八一五△九月五四八△十月二〇二△十一月一、七六九△十二月五、八六九△昭和四年一月五一六二△二月三、四〇八△三月五、八〇五△四月六、二七二△五月一、八五八△六月二、二五〇

大連でも續々ディゼル船採用

大汽では既に四隻に 三井船舶部でも十年計畫

近年海運界の傾向として蒸汽船からディーゼルボートに移りつゝあり、競爭激甚な海運界に於ける顯著な事實として注目を惹いてゐるがディーゼルボートの燃料重油は噸二十五圓にて石炭一噸代に比すれば稍高値なるも重油の熱火力は一噸にて石炭の四五噸に當り、加ふるに手數が非常に省かれるので燃料と人件費に於て頗る經濟的となるので、商船、郵船を首め三井船舶部の如き主なる海運業は從來の汽船を廢してディーゼルボートに替へんとする傾向にある、大連に於ても昨年大連汽船で四隻に新設したが、今回三井船舶部では十年計畫にて約十隻のディーゼルボートを新造するに決定し海運界の注目を惹いてゐる、三井船舶部は所有船三十餘隻の中既にディーゼルボート八隻を有してをり、この上新造船出來の曉は相當海運界に影響するところ大なるものがあると見られてゐる

藥品輸入の面倒な申告

無用の長物と非難の聲

屢報の如く大連海關並に安東海關では中國政府の命に依り總て藥局醫療用藥品及賣藥輸入の際左の樣式により南京中央衞生試驗所宛品名、數量、價額等詳細に申告すべしと布告した

一、藥品醫療用藥品及賣藥の品名は「アルファベット」順に記入すべし
一、形態即ち丸藥錠劑、粉藥、軟膏、混和劑、丁幾劑、シロップ瓶入等なるや否を明記すること
一、藥品醫療用藥品及賣藥に伴ふ廣告物又は配布されるサーキユラー(同文通牒)小冊子、リーフレット(チラシ廣告)其他總ての形のもの、確實なる內容を中國語或は外國語により本報告書と共に添附すべし
一、輸入人姓名
一、商用品、科學名、產地名及製造者名輸入數量、價額

右の如く非常に面倒にして徒らに荷主の手數を要するので斯る無要の手續きは宜しく廢止すべしとの議多く非難されて居る

本年の朝鮮產鹽

二三千萬斤の增收か 官鹽百斤五錢の値下

【京城發】專賣局所々管の天日鹽は昨年度二億五千萬斤の採鹽を見本年も天候順調のため既に八月十日現在二億五千二百萬斤を突破し採鹽終了期までには二億七八千萬斤を豫想さるゝ現狀なので輸入鹽との權衡上今回官鹽販賣主要地鎭南浦、仁川、群山各地の建値各五錢づゝ引下げ實施となつた、同時に京釜線は大邱以南、京義線、新義州以北の各線を除く外全部に亘り官鹽百斤につき約五錢の値下を行つた

內地製粉の對支進出益旺盛

打擊を受ける北米製粉業者

近年滿洲及び南支那へ輸入される內地製粉は非常に增加し昨年度の輸入高は六百二十萬袋の新記錄を作り本年は日貨排斥と加奈陀小麥の對支輸出增加に滿洲及び南方共稍減少の觀あるも大體に於て昨年と變りなく一月以降七月までの輸入高は既に五百六十萬袋に達し、八月も約五十萬袋近くに上る見込みであるこれを前年上半期の輸入高二百三十八萬袋に比すれば非常な增加である而して某所に達した情報によれば內地製粉の對支進出は北米太平洋岸の製粉會社に少からぬ打擊を與へ、一昨年七月中に北米太平洋岸に對支輸出の目的で設立された十會社の小麥粉輸出組合の中殆ど解散同樣となり、シヤトル、ポートランドの海岸工場は閉鎖され、ポートランドのカーギイフオード又はセトラーセ會社の大工場は貨物の荷揚場として轉用されてゐる現狀で百餘の小會社は米系の製粉大工場に合併又は買收されたと傳へられてゐる

大連工業會の勤續者詮衡

大連工業會では十月一日市主催の第三回工業從事員模範勤續表彰式に表彰する模範從事員を詮衡中であつたが其の結果今回の表彰者は十年から廿五年までの勤續者百四十四名模範勤續者一名である即ち日本人四十七名、支那人九十八名であるが、これを雇主別に示せば大華電氣の三名、南滿瓦斯十三名、大連工業九名、滿洲ペイント一名、滿洲電氣八十六名、滿洲製麻五名、中村鐵工一名である

注目を惹く滿洲木材戰

安東木商の進出と大連當業者の對抗

滿洲に於ける本年の木材需要は近年珍しい旺盛を極め北洋材の輸入は米材其他を壓して筆頭を占めてゐるが、この間に乘じ安東木材商が大連に進出し來り、當地木材商との間に

激戰を 演じてゐると云はれてゐるが、右進出材木商とは安東の高橋館藏氏で氏は內地某資本家の後援を得、北洋材小丸太及び沿岸材約十萬石を輸入し目下旺に奧地と取引してゐる、この北洋材は原價が非常に安くついてゐて、吉林、安東材とも充分對抗出來る模樣で、滿洲に於ける一ヶ年の需要三十萬石のうち十萬石を一手に引受けて賣出すに對しては當地當業者の受くる影響は甚大なるものであるとなし、大連木材商組合ではこれが

對抗策 として滿鐵埠頭事務所に輸入材の陸上賃及び繰替賃の引下げ方を要望してゐると云はれこの結果は非常に注目を惹いてゐる、右につき某有力木材商は語る

我々が聞いてゐる處では高橋商店は北洋材を二三萬石輸入してゐるに過ぎず、これが爲め當業者が脅威を感じてゐるなどといふは宣傳だ、高橋商店の北洋材が吉林、安東材に對抗出來るかも知れぬが多く小丸太といふ特殊品で一般木材には何等影響はない、埠頭事務所に陸上及び繰替賃の引下げ交涉してゐるは事實であるが、これは全然別の理由によるもので高橋商店に對抗するためだなどいふは臆說も甚しい

北洋材輸入は約六萬石見當

なほ高橋木材店主高橋館藏氏は語る

北洋材及び沿岸材を現在四萬噸位輸入してゐますが六日の船で一萬噸、其後の船で約一萬噸位來る筈で合計六萬噸位の輸入であつて、私の方でも投賣りする譯でないから、當地の木材商に打擊を與へるといふ樣なことは決してないと思ふ、目下のところ取引も順調に進んでゐるから今後の需給關係ではなほ輸入するかも知れません

美しい話

「阪谷會」と「自助會」の設立

▽—△

沙河口金融組合は關東廳の方針として大連金融組合の支部とする筈であつた處阪谷前財務課長の努力により六萬圓の融資を得本年四月から獨立開設したものであるが今回「生みの母」である阪谷氏が拓務省に御轉することゝなつたので組合員百三十名は坂谷氏の盡力を永久に忘却せぬ爲め同氏の轉勤を機會に「阪谷預金會」を設立することゝなり、目下役員會に於て立案中である

▽—△

それによると會員百三十名が毎月三十錢乃至五十錢の預金積立をなし、これを十年間据置くといふのであるが、關東廳でも緊縮節約の折柄、大にこの擧に贊成し、最高の利子を附して獎勵する筈であるなほ大連金融組合でも同一主旨の下に「自助會」を組織すべく目下天滿理事の手で作成中である

商議委員會

九月中の日割

九月中の大連商工會議所定例委員會日割は左の通りである

九日(第二月曜日)午後三時商業部委員會、十日(第二火曜日)同工業部委員會、十一日(第二水曜日)同交通部委員會十二日(第二木曜日)同貿易部委員會十三日(第二金曜日)同理財部委員會十六日(第三月曜日)正午委員長會

大連金組の近況

大連金融組合八末月現在の會員數は二百二十五人、この出資口數一千五百九十圓にて同月中の貸付金六萬八千七百七十圓、回收額は三萬一千三百圓である

黄塵

◇…內地では「濱口會」「井上會」當地では「阪谷會」——動機は稍違ふが趣旨は同じである。

◇…こんなことは他人の模似でもよい、流行に感染れてもよい。

◇…超々高速度の印刷機を購入して超々高速度の不換紙幣を濫發しやうと云ふのだから支那と云ふ國は恐ろしい國だ。

◇…奉票に代ゆる邊票、ペーパーに代ゆるに紙。

◇…何處まで行つても不換紙幣は不換紙幣だ。

◇…何時になつても態壓ことで誤魔化されたり、橫領されたりする商農民こそいゝ面の皮。

◇…固體燃料の時代から液體燃料の時代へ——地球は廻る。

◇…それにつけても撫順の「石炭液化時代」出現が待ち遠しい。

團體めぐり

組合員頭痛の種は昭和製鋼所設置

三度生れ變つて其の漸く基礎固まる ◇……大連金物商同業組合

文化の發達するにつれ、金物の需要も亦增加する、鐵道を敷設するにも、家を建るにも、汽車汽船を造るにも、さては家庭の隅々まで、凡そ人間が社會生活を營んでゆく上に必要な品々にはいろいろな金物が使用してある、所で滿洲で一ヶ年に使はれる金物の額はと云ふと約十五萬噸である、勿論此內には工業用、建築用、家庭用等の金物が含まれてゐるが、これ等の金物を取扱ふ日支の商店を打つて一丸としたものが「大連金物商同業組合」である、だから同じ組合員であつても、原料鐵を取扱ふ鐵輸入商、建築用金物を取扱ふ店と種々雜多に分れてゐる。つまり利害相反すべき賣手と買手とが同じ組合に加入してゐる譯だが、それでゐて存外協調が保たれ、完全に懇親の目的を達してゐるところが面白い。

◇

金物商組合が最初生れたのは明治四十年、途中夭折して大正二年再組織をしたが、兎角商賣物に似合ぬ基礎軟弱で又も解散、三度び生れ出たのが大正五年である、その時組合長に前商議副會頭の高田友吉君が推され、爾來萬年組合長で一切の面倒を見てゐる、現在組合員は日本人二十三名、支那人六名で他の組合に見ることの出來ぬ日支親善の機關たらしめてゐるがこのうち鐵輸入商は日本人八名、支那人五名で他は種々雜多な金物を取扱つてゐる、組合の內容はこれ位にして、昨今金物業者が一番頭腦を惱ましてゐる問題は何か——滿鐵の昭和製鋼所設置問題である

◇

滿洲で一ヶ年約十五萬噸使はれる金物のうち、六%乃至七%は滿鐵である、故に大連の金物業者にとつて滿鐵は唯一のお得意樣なのである、獨逸、英國、白耳義等から年々多量の鐵を輸入し、或は原鐵の儘、或は加工して滿鐵に納め其の三%か四%を一般人に賣つてゐる當業者が「金物は自分で造つて自分で使ふ」と滿鐵が云ひ出したのだから、死活問題だと驚いたのも無理はない、先刻ご承知の通り昭和製鋼所は資本金一億圓で一ヶ年百萬噸の鋼材と四十萬噸の硫安肥料とを生產する大會社で設立の曉は、內地の鋼材及び肥料が六千數百萬圓方輸入防止が出來るといふ尨大なもの。

◇

組合では滿鐵にこの計畫あると知ると直に組合員に注意を促し目下對策を講究してゐる、つまり製鋼所が出來ても、從來通り當業者と取引して與るか、或は製鋼所の製品を當業者の手を經て滿鐵に納めるようにするかの二途ある譯だが、何れも虫の良い願ひで一寸實現困難と見られ、鐵輸入商のうちには早くも加工業へと方向轉換を策してゐるものもある。

◇

金物商同業組合內に「同志會」といふのがある、これは數名の邦人組合員によつて五年前に組織された金融機關で現在積立金五萬五千圓、融通資力三十萬圓といふ有力なもの、金融ばかりでなく共同仕入をやり又は同業者が手持品の處分に困つてゐる時はこれを買取つてやる一種の相互機關であり、何れの組合にも見ぬ模範的なもので、こればかりは組合長高田さんも鼻高々であるさうな(寫眞は高田組合長)

市況

特產 高梁續落 人氣添はず

高梁は人氣添はず近物六錢方の續落、他品は依然差したる材料もなく一般平調大引、現物大豆は油坊十車、三菱、瓜谷、鼎新昌、公源泰で三十車、豆粕は鼎新昌のみにて五千枚の手合はせ、今日油坊生產高は千枚、操業工場は五軒

◇定期前場(銀建)

▲大豆(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	六六八〇	六六九〇	六六八〇	六六九〇
十月末	六七〇〇	六七四〇	六七〇〇	六七四〇
十一月末	六四五〇	六四八〇	六四五〇	六四八〇
十二月末	六三八〇	六四一〇	六三八〇	六四一〇
一月末	六四〇〇	六四一〇	六四〇〇	六四一〇

出來高 百五十車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月限	三三四五	三三五〇	三三四五	三三五〇
十月限	三三三〇	三三三五	三三三〇	三三三五
十一月限	三三二五	三三二五	三三二五	三三二五
十二月限	三二〇〇	三二〇〇	三二〇〇	三二〇〇
一月限	三二〇〇	三二〇〇	三二〇〇	三二〇〇

出來高 三萬九千枚

▲豆油(小堅)單位錢

出來高 一萬八千箱

▲高粱(續落)單位厘

◇現物前場(銀建)

▲包米 出來不申

混保(袋込) 大豆(裸物)

定期喰合高(三日現在)(前日對比較)

市場電報(四日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二十三片十六分ノ一
同 先物	二十三片十六分ノ三
紐育銀塊	五十一仙八分ノ一
孟買銀塊	五十七留比十六分ノ一
英米爲替	四弗八十四仙四分ノ三
米日爲替	四十六弗十六分ノ十一
米支爲替	五十七弗八分ノ五

棉花

●米棉(換算六〇錢高)

現物	一九仙五五
十月	一九仙三二
十二月	一九仙六八
一月	一九仙七一
三月	一九仙九三
五月	一九仙九九

●印棉

ペンゴール	二六四留比
ブローチ	三四八留比
オムラ	三四四留比

大阪株式

銘柄 前場寄 前場引：大株、大新、鐘紡、鐘新、日糖、郵船、東新

東京株式

銘柄 前場寄 前場引：東株、東新、五品（當中先）、豆新（當中先）、同（短期）新東、寄値、引値、高値、安値

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

横濱生糸

印度麻袋

神戸豆粕

ト高、印棉癡りを傳へ大阪三品期近は一圓五十錢高、先物四十錢高と强保合なるも銀票の伸腦みに氣配變らず定期は弱氣屋の賣物ありて相當の手合せがあつた

◇定期

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十二月限	[illegible]	一〇〇
同	一月限	[illegible]	一〇〇
同	二月限	[illegible]	二〇〇

出來高 五十梱

麥粉(出來不申)

株式

內地小癡りに當市も强保合

今朝北濱諸株五六十錢高を示し新東の短期又五十錢高と內地は幾分引締りを報じたので當市も依然閑散乍ら五品新豆錢鈔共一二十錢高に引締つた現物の大新は同事新東は寄六十錢高引一圓高鐘新は五十錢高出來高定期百枚現物二百三十枚

前場

後場(保合)

株式出來高(四日)

株

今朝內地主力株は東西兩市場共稍小癡りの商狀を報じたので當市諸株も閑散乍らこれにつれて一二十錢高に引締つた▲前途に金解禁といふ厄介物が控へてゐる以上實際の氣直りは出來ないとしても下げるばかりが相場でないし此邊は呼吸的にも幾分の引返しがあつて然るべきであらう▲五品にしても現在の相場は全くの裸値であつて取引所の權利などは少しも附してゐない譯である▲業績不振とは言へ經費節約の結果資產が喰ひ込んで行くやうなことは今後は絕對にない▲只愈々金解禁が斷行となれば新東の如きも今一段の安値をみせるであらう五品も十圓臺割れがあるかも知れない▲それ迄買を見送つた方が賢明だといふ人氣から見離されて了つてゐる譯である▲持久力のある人にとつてはここらから弗々買場所を探がすが反つて賢明だとも考へられるか…

豆

大豆は今少し下押しを呈しやしないかと見られてゐた氣先今朝は豫想に反し强調を辿つた▲別に新材料が表はれた譯ではないが三井、寶隆等の大手筋が買ひに出たのがカチ合つた爲めに上伸したのであらう▲これらの大手筋は結局安いから買ひに出たに過ぎず先物は相變らず出來てゐないから目先尚安氣配である▲高粱は今朝も亦近物六錢方の續落まだ安値を殘してゐるだらうが底近しと見るのが妥當ではなからうか▲豆粕もそろそろ農家の需用期を見越してか今朝は幾分癡り商狀を辿つた▲いくら不振とは云へ結局必要にせまられゝば買はねばならぬ品であるから需要期に入れば相當引締るものとみられてゐる▲何とかして當地油坊業の發展をはかりたいものだ

銀

相變らず材料薄にて保合今しばらくかゝる閑散狀態が續きはしないだらうかと見られてゐる▲錢鈔市場の發展策として限月を五限位に延長しては如何との話しがあるとは既報の通りであるが▲それにつき某取引人は何も改正しなくとも現在の規定は三期となつて居て六十日先物が賣買出來るのであるが▲此の市場は客方の賣買保證金を取引人で立替をする惡習慣がある▲客方も無保證である爲に自然と思惑玉を多く注文するので過去十二ヶ年間客方の踏み倒し仲買側の損害となつたものは莫大なもので▲四五年前に一期二十日間として三期限を立てたが遂に出來不申で自然消滅に終つた▲仲買人が客の保證金を立替へて五六十日間も捨ゝ於いては引き合はない▲又現在の樣な手數料競爭の時代に長期が出來るはずがなく又信託の手數料も減退すると語つてゐた

錢鈔 銀塊安乍ら鈔票保合

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は廿四片六分の一と(八分の一安)先物は廿四片十六分の三と(八分の一安)紐育は五十二仙八分の一と(八分の一安)孟買銀塊は五十五留比十六分の一と(十六分の三安)滙兌は七〇兩一〇、滙申は七十二兩二五、大洋は九十九圓十錢日米は四十六弗八分の五と(十六分の一安)米日は四十六弗十六分の十一と(同事)英米クロスは八十四仙四分の三と(同事)米支は五十七弗八分の五と(八分の一安)上海標金は三百九十八兩五と寄り九十六と止め當市の銀價は保合を呈した

錢鈔

上海標金

寄値	三九八兩三
高値	三九八兩四
安値	三九六兩八
引値	三九七兩七

手形交換高(四日)

上海爲替情報

【上海四日發電】材料高なるも志豐永、泰興、大德成など賣り漲豐建値不變と神戶日米安を入れ漸商內乍らジリ安を辿りたるも安値には引續き廣東筋標金よく買ひ日本側銀行殊に正金、住友圓安値買ひ進みたるためマバラの追從買も加はり引戾す

爲替相場(四日正午)

正金(銀勘定)

正金(金勘定)

鮮銀(金勘定)

商品

前場

◇定期取引(單位錢)

◇現物取引(單位錢)

麻袋(保合) 產地情報賣十六分の九高、鐵二分の一高と反撥をみせたるも不氣乘の折柄氣配變らず保合閑散裡に見送つた、引際氣配は現三十六錢、先物三十五錢見當であつた

綿糸布(保合) 米棉二十ポイン…

奧地市況(四日前場)

特產 ▲大豆

平安異香 (101)

業多默太郎作　中一彌畫

暴漢去來（五）

パチ／＼と威勢よく燃える齒朶の火が、枯松の枝に移つてパッと脂臭い煙を吹きあげた時、お秀は星一つない暗澹たる空を仰いで目をつむつた。

枯枝の火が、無雜作に積みあげた肥松の丸太木に燃えうつると、紅蓮の焰がお秀の裾から胸へはひのぼる……

三國山の絕頂で高麗の三郎がみとめて土城獄近しと叫んだ巖壁の彼方の白煙は、篝火の煙でも炊煙でもなく、現に三郎等が救はうとしてゐるお秀の火刑の煙だつたのだ。

宮部三郎春光の破獄の騒ぎのあつた後、牢番人は春光の穴牢を調べに入つて拔け穴を發見して驚愕した、坑の行方をつきとめようとして、はしなくも坑の中ほどの洞穴に、野良犬のやうになつて死んでゐるかま公を發見し、拔坑の終端が女囚お秀の穴牢へ通じてゐるのを知つて驚愕を倍にした。

お秀の嫌疑は濃厚である。

「春光に加擔して一緒に脫獄をはかつたのだらう」

お秀は悪怯しなかつた。さうだといつて罪に服したので、即刻使が都へ立つて上司に訴へる、と、その命令が火刑にして四人の懲戒にせよだつた。

そして今、既に火刑の火が投ぜられたのだ。

お秀は無慚の裸形である。葉を繁らせた生木の松が、地から生えたそのまゝの火刑柱で縛繩は藤蔓だつた。白い腰へ、乳首へ顎へ力まかせに喰ひ込んで、血のめぐる毎に、肉を裂かれるやうな苦痛だつた。

火は、松の小枝から丸太に燃えうつゝて、丸太の皮を、パン／＼飛ばし始めた、背後へもまはつたと見えて、背にも熱い爐が感じられる。

氣の弱い女なら、火刑と聞いたゞけで正氣を失ひ、柱にかゝつた時には氣絶してゐるであらうからほんたうの火炙の痛苦は知らないですむのだが、幸か不幸かお秀は火焰が膝を舐めようとする今になつても狂氣しなかつた。氣絶もしなかつた。却つて異常な水の底へ沈む石のやうな冷却が全身を支配して、體中の神經が耳をすませて來るべき炙肉の痛苦を待つてゐるやうだつた。

考へるとたまらないことだ。一層狂氣した方がよい、息が絶へた方がよいと思ふのだが、自分の生命の力を自分でどうにも出來るものではないのだつた。

みだらなことを言つて笑ふ牢番人の聲もはつきり聞きとれる。刻々に增して來る火爐の熱さもはつきり感ずる。

これでは、爐りが火焰になつて膚を舐め肉を炙きだしたらたまるまいと思ふ。だが仕方がない。耐へねばならぬ。見苦しい死に方はしたくない——

假令身體が燃えても聲をたてまいと、お秀は唇を嚙んだ。身體を火焰にまかせて心を空に走らせた。

すると、暗黒の空に、星のやうに浮ぶ一つの顔があつた。大悲山の巨魁冷泉夢之助のかゞやかしい顔である。

枚方の五位の宿に、夢之助は老婆に身をやつして單身お秀を救はうと苦心をしてくれた。その親切が忘れられない。假令へ生きながらへて、夢之助の身邊に暮したとてその心にこりかたまつてゐるものを、夢之助にうちあけられるものではない。畢竟おなじことだ、いや、夢之助の姿を目のあたりに見その聲を聞きながら云ひたい事をあかさずにゐるのが、火炙の苦痛よりもたまらないかも知れぬ。

「あゝ夢之助さま」

無音の聲が、お秀の魂から叫ばれる。

夢之助の姿を空に見つめてゐれば、案外安らかに死ねさうだ——

パン！と松の丸太の一本が、裂けて、眞黒だつた爐が猛火になつた。

お秀の火刑をめぐる周圍の穴牢の格子へ顔を押しあてゝ、囚人達が火を映して赤鬼のやうに見えるお秀に恐怖の眼をそゝいだ。

國產トーキー　一頓挫の風が吹くか

トーキーの出現は今や全世界の興行界に大きな革命をもたらし、舞臺、ラヂオ、音樂、映畫等あらゆる大衆藝術の要素の總てはこの新らしき科學藝術の中に盛られて、スクリーンの華と咲いて居る。しかし乍ら本邦映畫界を振り返り見ると國產トーキーはマキノのみ盛んに力を入れて居るが、日活は未だ日和見の形であつて、東亞は研究中、松竹に至つてはトーキーの製作はしないと發表してゐる。昭和キネマ發聲映畫、東條政生城南研究所は潤澤なる資金がないため思ふ樣な仕事も出來ずにゐる、常設館としてもトーキーの設備をなすには可成りな資金を必要として内閣の緊縮の聲と共に全國常設館も緊縮、緊縮で經營の削減を行つてゐる。國產トーキーの發展は一頓座を來たしはしまいかと一般から觀測されてゐる。

映畫界東西

エドワード、セヂウイツク監督の「キートンのカメラマン」はメトロ社に入荷した。

◇

ジョン・ギルバート氏は過日女優イナ・クレアー孃と結婚し飛行機を以つて樂しい新婚旅行の途に上つた。

◇

レヴユーの本場の佛スター、フイルム、エデイション社の大レヴユー繪卷「パソス、アトラクション」は海外映畫社の手により近く本邦へ入荷

大津お萬の初日　五日に變更

既報の同一行は二日から歌舞伎座に蓋をあけることになつてゐたが沿線の都合で初日は五日になつた何しろ肩のこらぬ輕い藝術であるから開演の曉は好評を博するであらうと尙入場料の如きも時節柄破格を以てする由

長春新劇協會　鼻いき荒く　一月には大連で

長春の松宮氏、泉氏等が中心となつて築き上げた長春新劇協會は意外の人氣を惹いて前後二回の公演は何れも滿員の盛況であつたが最も新しい獨自の演出法を開拓してゆく意氣込みに地事社會係り其他各方面の應援が加はり會員一同大いに元氣づいてゐる、それで折角盛り立てた新劇協會を單に長春の小天地に限るのも殘念だとあつて全滿的のものにしやうと益々研究を重ねてゐたが本年一杯に充分練習を積んで一月には花々しく大連に乘り出し社員俱樂部で公開しやうと一決した由である

蚤取り眼の作曲家協會が　不正を發く

作曲家協會は曩に「東京行進曲」の僞版を發見し發行者を相手取り告訴したが、其後も猶、版權侵害の疑ひある僞版を蚤取り眼で探査中であつたが、東京、大阪、名古屋にいくらも同樣なものゝあることが判明したので、先づ「紅屋の娘」「沓掛小唄」の僞版嫌疑を以て民謠普及會に對し、告訴の手續を取つたと實際不德なる樂書出版業者が近來めつきり增加し、蚤に樂譜許りでなく少し賣れゆきの好い書籍があると題目こそ改めるが内容を變作して圖々しく市場に出す卑劣漢などざらに在る模樣である。

キネマニュース

帝國館　此れから大いに外國物にも力を入れる方針で、先づ其の手はじめには「キング、オブ、キングス」あたりの大物をと力んで居る。

◇

演藝館　ドイツトーキー物「サーカスの女王」は本月下旬上映される筈。

演藝茶話

「妖花アラウネ」を爛演した帝國館の松葉君其の後帝國館の入口にガン張つて來る人每に「よわりましたよ」を浴せかける「なんしろ前二三列の所を見て居ると、娘さんは涎を垂らさんばかりにして居るし、男はアーアなんて云ふし、本當に厭になりましたよ」所で聲をひそめて「時に存在はソンザイが本當ですか……私のゾンザイは國なまりでしてね」

◇

「半人半獸」「水戸黄門」であてゝ居る演藝館の事務所「大入で」いい氣持になつた秀澄支配人、一郎はん津田君等が集まつて大聲でワイダン「日本の人口七千萬として其の半分が毎晩……」と云ひかけた時にヌッと入つてきた大將。一同ハッとして目をパチクリ。所が津田君「其の半分が毎晩酒を飲むとしたら大きなもんやナー」今度は御大がベックリ。

レヴュウ　節約時代

□

緊縮、緊縮、消費節約といふ事か現内閣によつて唱へられてから、この夏はさつぱり雨が降らぬ。そこで今度は水の節約が添へられた

□

旦那さま方に負けぬ氣になつて各大臣の奥樣方が一夕節約座談會を催され、公設市場の買物のしかたから、御用聞きのイヂメ方、瓦斯水道の使ひ方といつた細かい處にまで神經を痛められるに至つた事には敬意を表さねばならぬ

□

消費節約によつて生活が改善せられ、二重三重の負擔の喘ぎから救はれる事は結構だが、口をつねつて捻出した豫算をそのまゝ、衣裳や裝身具に流用するやうでは、人體の營養が不足して、家計よりも健康のバランスが採れなくなる

□

國家が消費を節約して事業の繰延を行ふ半面に於て、失業者の救濟を考慮に入れてこそ不景氣も立直るやうに、我々日常の生活も、美味虛飾の費を節約し轉地旅行その他物見遊山の計畫を繰延べるとともに、これによつて被る心身營養の消耗を補給せねばならぬ。それでこそ節約も始めて意義をなし明るく朗かな健康生活に入る事ができるのだ

□

そこで、健康を支持する上に採算的に見て、我々はどんな方法を選ぶ事が經濟的であるか。すべての營養物や滋養食品は、總く高價なものばかりで、無產階級の人々には當分、或は生涯口に入れる事は不可能とされてゐる

□

又、醫療方面からこれを見ても診察費の高い兒童などに對し醫者の薦めを聞けば太陽燈を裝置して毎日應用せよとか、海岸へ轉地させろとか、どん／＼滋養物を喰はせろとか紋切型はきまつて居るが他人の懷だから大ざつぱで、中產以下には、いかに子が可愛くても早速應用のできそうもないプランだ

□

我々はいま、節約の投げた波紋が、それからそれへ大きなセンセーションを捲起し、社會各方面における種々相に反映するのを見る時、これを綜合すれば「强く正しく活きるの道」を求めるものに外ならない事を痛感する。强く正しい健康生活を助ける、あらゆる營養物から壓搾して得たエッセンスこそ一日僅か三錢以下で事足りる眼鏡印肝油なのだ

□

眼鏡印肝油には人體營養の最とせられるヴイタミンA及びDが多量に含まれて居り、佝僂病、眼疾その他一般腺病質の虛弱兒童の體質を强壯づけ貧血諸症の、適應藥として產前產後の枯血を潤し、病後の血液循環をよくし、授乳婦には良質の乳汁を多量に、その他脫毛を防ぎ皮膚毛髮の光澤をよくするほか、補精强壯劑の親玉として有名な、しかも高價な滋養食品や營養藥餌中最も經濟的で有効卓拔な事に於いて節約流行の時節柄最も適切なものと斷言し得る

滿洲日報

治外法權撤廢は明年中必ず實行

租界回收外國軍隊撤退と共に

王外交部長の豪語

【上海三日發電】[illegible]人民によつても受容れられねばならぬと考へる、目下裁判所が皆に軍閥によつて[illegible]ならず一般人民の集團結[illegible]て干渉せられ彼等雖多外人を目的の法律及び[illegible]顧みざる如き狀[illegible]に於ては治外法權撤廢は尚[illegible]

英國よりの反對の回答

＝英國公使館發表＝

[illegible]ける英[illegible]國人の特權は尚當分續くべき[illegible]る、從つて目下貴國政[illegible]べき問題は如何に之を[illegible]合すべきかを發見する[illegible]る、英國は尚ほ此の問[illegible]て國民政府の提案を同[illegible]審議することを辭せな[illegible]實如正式手續きを以て[illegible]議回答を發表せるは[illegible]の希望に依り各國間に[illegible]諒解ありしに拘らず、[illegible]全文が不意打的に公表[illegible]英國も其の態度を明か[illegible]進んで聲明發表をなし[illegible]せらる

聯盟の仲裁を仰ぐ

勞農は不戰條約に背く

國民政府の聲明內容

[illegible]

支那側譲歩し正式會議開催か

東鐵の人事問題で

【上海三日發電】ロシア側で起草せる共同宣言は既に國民政府外交部に到着したが、それに依れば大體支那側の起草せるものと大差ないが、只從來から紛議となつてゐた東支鐵道管理局長、副理事長をロシア人と入替ることについて支那側は正式會議開始後一九二四年の露支協定に基き理事會を開いて之[illegible]に對しロシア側は[illegible]どは必要なし、ロシア[illegible]る人物を直に任命する[illegible]たい[illegible]言の草案に對し其旨の[illegible]て來た模様で支那が最[illegible]つてゐることより推測[illegible]那は此上强硬に出で折[illegible]けた共同宣言を棒に振[illegible]とはあるまじく結局右[illegible]ロシアの主張を容れ共同宣言發表正式交渉に入るものと見られてゐる

露支係爭に對する米國輿論の傾向

有力新聞紙の論調（四）

度水生

ニューヨークタイムス紙は其社說に於て「現在係爭其物は露支だけに限られて居るが日本としては東支回收が先例となり同様の行爲が滿蒙に對し實現される事を憂慮せざるを得ない」と述べ「若し不戰條約の調印國が實際干戈を交へた場合は如何になるか誰も知らぬ斯かる場合に處し此條約は何れの國に對しても行動を强制して居らぬ。唯誠意を俟つのみである。若し米國も露國も共に國際聯盟員たりとすれば、今次の處置は單に聯盟の約束なる議告に止らず、戰爭防止の實際手段に據る事が出來る。即ち和平手段と併立して實行手段による保障法がある。單に約束だけの條約（不戰條約を指す）は國際聯盟の有効手段に及ばぬ」と不戰條約の不備を非難してゐる。

ワシントン、スター紙は開戰の場合、露國は聯盟國ではないが米國と同様其の協力國であつて聯盟は其力を此事件の和平目的に用ゐる事は出來る、而して此爭議に深甚の關係を持つ日本は、假令聯盟議長に安達駐佛大使を持つ以上、聯盟は欲すれば露支抗爭に全力を注ぎ得るだらう、此聯盟の力以外に平和の强制力を有するものに露國內の食糧不足と支那の飢饉があつて開戰を不可能ならしめて居る若し斯くても開戰ありとすれば夫は東支鐵道だけが原因とは見られない、恰度サラジエヴオと同様のものであり、根本的のものであるに東亞には更に深大なる要因が働いて居る、而して之は病理學的の根源は深い、其領土、殊に滿洲を含む領土の爭ふべからざる主人たらんとする新らしい支那人の決意に此動因を發見し得る。一方に於ては露國が常に帝政時代の足跡を辿り、新帝國主義的蘇聯のアジア强國たらんとする希望にも根を持つて居る。此鐵道爭議は解決するかも知れぬが露支戰爭の要素は永續するだらう。

又ミネアポリス、チヤーナル紙「露支係爭は不戰條約の効果を問ふ最初のテストである、最初の試驗に於て失敗すれば惡例を殘すのみで、將來の効力を期待出來ぬ。苟くも平和を愛する列國は露支國境に砲聲を響かす事なく事件を解決するに努力すべきだ」

クリスチヤン、サイエンス、モニトー紙「兩國共同國家的對外信用なく一方は無政府狀態で他方は民衆の大部に不評なる革命政府があり、兩國が干戈に交ふるなど見るは過早である」又同紙は「兩者の仲裁には米佛日の共同委員を以てするが最も合理的である。日本は本問題に最緊切なる關係を有して居り、日支關係は最近餘り面白くないが、紛爭の現場に境を接し同方面に互大の利權を有し、聯盟を受くるに充分なる陸海軍を擁する事等は日本が仲裁者たる最も大なる條件である。日本政府は其極東政策に於て利己的の嫌ひなきを得なかつたが、兎に角アジアの發展に關する利害關係並に極東諸事件解決に對し、日本の「フリー、ハンド」を認めざるを得ない」と滿洲に於ける日本の特殊的立場を認め、

スプリング、フヰールド、リパブリカン紙は「不戰條約の長點たり得るものは關係國が紛爭に突當ると同時に直ちに其國際的不戰實務を自覺することであり缺點は國境に於て兩國衝突後本戰爭となりし場合、兩國互に自衞戰を主張すべく、之が公平なる判定、殊に右に對する共同的干渉が困難なる一事である」と暗に不戰條約の强制力無きを認めて居る。（了）

外國郵便係獨立計畫

本年は困難か

大連郵便局では業務處理の圓滑を期する爲め今般郵便課內の外國郵便係を獨立して外國郵便課に又安東郵便局では現在の係課を廢して新たに郵便課、電信課、庶務課を設置することゝし右改正方を關東廳に申請してゐる、廳では同局の要求を至當と認め近く分課規程を改正して認可する模様であるが恰も緊縮の折である爲或は本年度迄は實現出來ぬかも知れぬと

日本關係の調査命令

王外交部長が

【奉天特電四日發】國民政府外交部長王正廷氏は遼寧省政府に對して日本に對する各種の調査方を命令したと

明るい空氣と欣びの色漂ふ

副總裁着任の日の滿鐵本社

大平新副總裁着任の日、副總裁室は平日よりも入念に朝から掃き清められ前副總裁を送つて月餘あいてゐた椅子も「サーサ何時でもおいでなさい」と云はんばかりに粧ひを凝らして

新主人の 入來を待つて居た、はるびん丸岸壁通過のベルが慌しく鳴り響けば電波の如く重役室を始め各部課室に通ぜられ幹部連中の自動車は列をなして埠頭へ飛ぶ、居殘つた若い連中は仕事半分、待つ氣半分で「どうだい愈々着くね」と水を向けると忽ち仕事を投げ出して副總裁の噂に花が咲く、午前十一時二十三分岡理事が二分遅れて田邊理事が先觸れの如く自動車を本社大玄關に横着けにすれば埠頭の出迎人の挨拶に手間取つた大平副總裁は十分遅れて藤根理事、木村人事課長、藤井秘書役其他に導かれて悠々と大玄關より階上の

自室へ足 を運ぶ、此時階上梯子の下り口に出迎へた二三の若い平社員に例の溫顔に微笑を浮べて「ヤア久し振りだね」と愛嬌の良いところを見せた、やがて副總裁室に姿が消えると、そこを中心として俄に色めき渡り秘書係の連中が飛ぶ、社仕が起る、まるで職場のやうな騒ぎを演出した、室內では藤根理事を始めとして山西撫順炭礦長、千秋鞍山製鐵所長、築島哈爾賓事務所長、其他部長等が卓を圍んで挨拶やら世間話に花が咲き時々室外に

笑ひ聲が 漏れた、斯て十一時十分、一般社員へ挨拶の爲め新副總裁は各理事と共に協和會館に赴き別項の如き挨拶をなし終つて各課所長以上を一々引見挨拶を受け正午大藏公望男邸に到り午餐を饗つた

太田關東長官の盛大な新任披露宴

昨四日大連ヤマトホテルに內外官民二百五十名を招待

太田關東長官は四日午後五時より石本市長、張本政、龐睦堂、ドイツ領事ヂルクス氏、大平滿鐵副總裁その他、內外、日支官民約二百五十名をヤマトホテルに招待し新任の披露宴を張り左の如き挨拶を述べた、石本市長は來賓一同を代表し謝辭を述べ主客たがひに健康を祝して六時半散會した

南滿洲における全般的治安の維持と經濟上における機會均等による產業の開發とは日本帝國の傳統的根本政策である、かくの如き帝國の根本政策を實現するがための執政の方針としては日本人たると支那人たるとの區別なく是を是とし非を非とし以て政治の公明を期せねばならぬ、幸ひわが日本の國是がこの滿蒙に徹底し治安において經濟において滿蒙の天地が支那における治樂境として年々一百萬人の移民が移植せられ數億圓の貿易額を示しつゝあるは日本帝國の對滿政策の成功ともいふべきである、吾人はこの治安維持と產業開發とを今日以上に達成せしめ以て來賓諸君と共にこの滿蒙をして世界の文化と平和とに浴せしむると共に世界人類のために寄與するところあらんと欲するものである

太田長官答禮　太田關東長官は四日午後一時から小林秘書官三浦外事課長を同伴赴連三日官邸に來訪を受けた在大連英、米、獨、露、和各外國領事を歷訪し答禮するところがあつた

辭令　【東京四日發電】

特命全權公使　芳澤謙吉

支那駐剳被免

特命全權公使　吉田伊三郎

瑞西國ジュネーブに於て開催の常設國際司法裁判所規定に關する議定書署名國會議に於ける帝國代表者被仰付

わが海軍獨特の新航空母艦

動搖防止裝置せる

【東京四日發電】海軍では豫て苦心研究中であつた我海軍獨特の航空母艦の設計が完成したので近く横須賀ドツクに之が建造注文を發することゝなつた、新航空母艦は明治三十六年廢艦となつた龍驤を名し噸數僅か八千百噸の小型であるが完全なスタビライザー（動搖防止裝置）を施設し華府會議制限外の母艦として一大威力を我海軍に加へるものとされてゐる、昭和六年度には完成する豫定であるが之が豫算は二年度以降五年度艦艇の現行補助艦建造費中より出すと

新人派の重用に舊派が不平

奉天派幹部の軋轢

【奉天四日發電】高紀毅氏の北寧鐵路局長任命に對し奉天省の舊派重要人物連は張學良氏が舊派を淘汰し新人乃至軍政首腦者を重用せんとする方針の現はれであるとなし學良氏に對する反感は日を逐ふて高まりつゝあるが、高紀毅氏の横暴は北寧路局長就任と共に愈々甚だしく之がため翟省長も辭意を決し居り而して其後任には高紀毅氏が陸軍講武學堂教育長文館鐵氏を推薦し既に內定して居るとさへ傳へられてゐる

青聯支部の幹事會

新役員を選任

大連支部は三日午後六時より滿鐵社員倶樂部に於て幹事會を開催、寺島支部長及各幹事出席、先づ支部長より沙河口支部新設に伴ひ現役員改任の必要あり、幹事に左の通り指名した

多門登、針尾慶次、森計夫、後藤吉之助、立川增吉、居田雪雄、南部春雄、黒柳一晴、關利重、山崎藤朔、森田拓志、藤森圓鶴、神守源一郎、杉浦平八、中野醇、和田芳次、高木翔之助、以上

尚常任幹事として互選の結果左の三氏當選す

關利重、山崎藤朔、黒柳一晴

右役員の選任を終つて最近奥地より歸連せし針尾氏より奥地の狀況報告あり第一回總會に於て可決した青年奥地視察に關する件は本部と協力して極力之が實現を期し具體案を作成して滿鐵其他關係箇所に好意的援助を得べく努力する事に決定、尚松田拓相の來滿を機とし青年聯盟の主義主張を說明して之が諒解を得ると共に國家的見地より之が後援を願ふ事に決す、尚其他會報に關する件、聯盟事務所に關する件等協議し次回は來週木曜日に役員會開催に決定八時半散會した

共產黨の甚しい在露支那人迫害

けふ大連に引揚げて來た駐露支那領事の話

何日纏まるとも判らない露支關係、露支人間の暗鬪は根强く張られた爲引揚げて來る在露支人は何れも勞農政府の暴戾な仕打を恨んでゐる、四日入港定期船はるびん丸で此消息を傳へてニコライスク駐在支那領事榮鐙氏が夫人及び露語通譯白玉河氏同件來連した、氏は語る

三等客にはまだ山東からあちらに出稼ぎに行つてゐた本國人が三十名許り居りますよ、ロシヤの仕打の非道い事は言葉に盡せません、七月二十八日ニコリスクを引揚げ八月十四日浦鹽に出て居留民の保護や世話をしてゐた人ですが共產黨の壓迫がひどいので支那人一同困つてゐますこちらに來たのですが、まず中華縁に泊つて金の調達をしてハルビンに行くつもりです、そして近くハルビンにおいて開催の露支會議に列席のつもりである

尚同氏等は殆ど着のみ着のまゝの姿で殊に三等の支那人避難民三十名はみじめなものであつた【寫眞は領事夫妻】

市役所職制改正昨日斷行せらる

課長制を主任制に變更

小泊庶務江口衛生兩課長勇退

石本大連市長は電光石火的に四日午後二時各課長の參集を求めて本紙昨夕刊所報通りの職制改正案を示したので、豫て四圍の狀勢上辭職を決意してゐた小泊庶務課長兼社會課長並に江口衛生課長は

辭表を提出し 市長は即時聽許した、前課長中大久保財務課長のみは財務係主任として留まることゝなつた、次に市長は午後四時職制改正の內容を記者團に發表したがそれは課長を全廢して係主任制を採用し從來の庶務、學務社會（以上三係の主任は顧谷助役兼任）會計（主任は前課長近藤收入役）財務（主任は前課長大久保氏）衛生（主任は近く所外より銓衡決定の筈）の各課をその儘各係とし、新設の調査係は助役の主任事務とし

一、市政改良に關する事項

二、內外諸都市に於ける諸施設に關する事項

三、其他一般調査に關する事項

を調査するもので以上盡く本紙既報の通りである、尚右發表に當り

市長は左の如 く語つた

私が職制を改正せんとする意圖は久しいものであつたが人事異動を伴ふたので胸中深く秘して案を練つてゐたが愈々本日發表することゝなつた、この改正の爲めに二課長の自發的辭任を見ることゝなつたが江口課長の如き衛生組合時代から私と共に市事業のため働いて來た人で兩氏共市役所の功勞者であつて私としては全く馬謖を斬る思ひであるが、市のために事情を酌量して快く諒諾を得た譯である、改正の要旨は課長といふ固苦しいものゝ代りに主任を置いて市民と市役所とを親しみ近づけて事務の管掌を圖らんとするにあることゝ云ふ迄もない、改正により

主事級のみの 節約年額は約一萬圓內外である、これで愈々市役所も內輪が固まつたので之から大いに仕事を進めて行くよ

次に顧谷助役は次の如く語る

今回の職制改正は市役所の民衆化といふ市長の持論を具體化したもので私如きも文字通り市民の公僕たるべく自ら卒先して或は街頭に出で直接市民の聲を聞き或は場合によつては自ら受付を爲すことにより飽迄も事務の簡易化敏捷化を期するつもりである。それで市民各位に於ても助役の下には主任がゐるからといふやうな事を顧慮せずに御用あれば直接私宛で御意見なり御相談を聞かして頂きたい

尚今回勇退した小泊、江口兩氏は多年市役所幹部として功勞多く

その在職閲歷 は次の如し

小泊六翁氏　大正十年九月市書記を拜命し同十一年四月庶務課長兼學務課長に任ぜられ爾來市長三代に歷仕し本年五月社會課長を兼ね市の諸規程制定や市事務の擴張並に市會議員選擧及大正十四年大連勸業博覽會開催に就き功績多し

江口正兵衛氏　大正四年十月市書記を拜命し同十一年會計課長となり同十四年四月衛生課長に轉ず、此間市移管事務に伴ふ衛生關係事務等の管理に當り功績少くない

洮南地方の反日氣分は濃厚

邦人旅客注意を要す

【洮南四日發電】露支問題に對する支那側の出兵開始と共に洮南與地方に於ける軍界及一部民間に反日氣分濃厚となりつゝあり、去月末旅行中の某日本人が洮南に於て出動軍の列車を撮影した事から悶着を惹起し危ふく大問題とならんとした事もある程で其後も軍人間には依然として常軌を脱した行動に出るものがあるので洮南地方へ旅行するものは細心の注意が肝要であると

全滿商議聯合會

四日哈爾賓で開催

【ハルビン特電四日發】全滿商議聯合會は豫定の如く開催され八ケ所よりの代表者その他の來賓の出席で六十數名に達し加藤ハルビン商議會頭の挨拶、八木總領事はハルビンの將來は今回の東支鐵道事件で世界の視聽を引いた、この地での會議は有意義であること、小川關東廳殖產課長は商工業者の國體意識の運動自覺を促し田村滿鐵興業部長は長哈間の運賃率は世界で最高なれば北滿經濟界の發展を阻止すると注意し挨拶あり正午休憩した

大連法院長後任

森本判官に決定

安住法院長が馬賊の狙擊で殉職以來ながらく缺員であつた大連地方法院長はいよ〳〵四日附で旅順高等法院上告部判官森本豐治郎氏に決定した、四日午後三時半この吉報を齎して來連中の森本氏を地方法院に訪ね「御榮轉お芽出度う」と祝詞を述べ感想を叩くと流石包みきれぬ喜びを面に表はして「別に榮轉でも何でもないよ」と謙遜しながら左の如く語る

地方法院には單獨部と合議部があり、高等法院には覆審部と上告部がある、これを審級關係から學校に例へると地方法院の單獨部は小學校で合議部は中學校高等法院の覆審部は、高等學校上告部は大學である、各々その使命があり上下の區別はないが自分は今まで上告部の判官であり大學の教授であつたのが地方法院長となり中學校長になつたのと同じ事で大學教授が中學校長となつたからとて別段榮轉でもあるまい、中學校長としては又いろ〳〵苦心もあらうから各位の御指導と御援助をお願する

一、露支問題緩和により張學良、何成濬兩氏は不戰意見を國民政府に打電、國民政府はこれにより獨逸に調停を依頼し張學良氏もまた戰線の各將領に不戰の密電を發した

仙石總裁

全快は近い

【東京四日發電】一時重態を傳へられた仙石滿鐵總裁は北里研究所に入院靜養に努めた結果漸く快方に向ひ、今朝來熱も平熱を保ち食慾も進み此の調子では全快も近きにあらうと見られてゐる、午後四時の容態は體溫三十六度五脈搏六十八呼吸二十である

奉天票の暴落原因

【奉天特電四日發】一日頃奉票相場は暴騰傾向を示してゐたが黨軍出動と同時に七千二百圓に慘落し二日にいたり六千八百二十圓に反撥したがこれが原因につき錢鈔業者は左の二點をあげてゐる

一、省公債二千萬元發行は露支問題のため延期され之に代る北滿出兵費、軍事公債に變更せんとする議があつたが省政府財政務委員會にて再議の結果以前の通り省公債を發行することゝなり發行の上軍事費或は奉票回收に當てる

中谷警務局長心得の訓示

關東廳中谷警務局長心得は四日夜ヤマトホテルで開催される太田長官の披露宴に列席のため同日午後自動車で來連、大連神社に參拜の後同三時半大連警察署に立寄つた高山署長以下幹部から玄關まで出迎へを受け署に入つた局長心得は署長應接室で幹部連の挨拶を受け左の如き一場の訓示をした

滿洲は巨萬の國帑と幾多の犧牲を拂つて得た土地でもあり、東洋發展の中樞地であるから諸君はその覺悟で事に當り時代に適合するやう法の適用を誤たずわが關東州をして苟くも政治、軍治の陰謀策源地たらしむるが如き事なく常に明るき安住の地たらしむるやう心がけて貰ひたい

新任の挨拶　關東廳警務局長心得中谷政一氏は午前中軍司令部要塞司令部民政署其他在旅官公署を午後は大連に於る關係各署所を歷訪新任の挨拶をなした

辭令　【東京四日發電】

大阪稅關長正五位勳四等　中島鐵平

任橫濱稅關長（一等一級）

大藏書記官兼銀行檢査官正五位勳四等　加藤榮一郎

任大阪稅關長（二等一級）

定期敍勳

旅順工大學長從三位勳三等　井上禧之助

敍勳二等授瑞寶章

關東廳辭令（一日附）

岡田喜一

任關東廳小學校訓導

關東廳鹽業試驗場屬兼關東廳屬　鈴木昌

免兼官

同（四日）

關東州小學校訓導　大南源一

依願免本官

高等法院上告部判官兼地方法院判官關東廳法院判官　森本豐治郎

補地方法院判官兼高等法院上告部判官

關東廳法院判官　森本豐治郎

補地方法院長

人事

▲木村增太郎博士　五日發夜行にて朝鮮經由歸東

▲築島信司氏（滿鐵哈爾賓事務所長）五日發夜行にて歸任

安樂椅子

嶺前小學校に長屋の腕白小僧連が割込みお上品な文化村の坊ちゃん孃ちゃん達の風紀を紊すとあつて御大家のクリスチャン夫人などが貸長屋の家主にかけ合つたりお仲間で風紀刷新に就いて協議したり頻りと頭痛を病んでゐるのに對し▲長屋連の方では長屋連の方で、何が文化村だ、風紀が聞いて呆れる、月給泥棒して、子供をボーイ委せにうつちやらかして置いて、お芝居だ、活動寫眞だ、音樂會だと年中夫婦で浮れ歩く見榮坊共とは譯が違ふ▲こちらは大地にしつかり足を踏みしめて汗みどろ血みどろで毎日眞劍に實生活と苦鬪してゐるのだ▲子供だつて室咲きのチューリップとは違ふから腕白もせうが何も人様の御迷惑になるやうな下品な眞似をする譯ぢやない▲風紀の問題なら寧ろ所謂浮薄輕佻な文化住宅のお歷々の家庭の方がいろ〳〵な意味で却つて世の批難が多いぢやないか、利いた風のことを言つて貰ふまい▲といふ憤りかたで家主側を難詰したり小學校に嚴談に及んだり大に反抗の氣勢を擧げてゐるさうで▲老虎灘文化村の階級對立は愈々惨ましい一小社會問題化するの氣配を示してゐるが▲理窟が兩方にある如く其非も亦雙方にあらう、唯苦々しいは所謂文化村の見榮坊令夫人達の無思慮なお出しやばりだ▲……とは局外者の感懷話である。

特產

定期後場（銀建）▲大豆（强調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　七十九車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕　出來不申

▲豆油（保合）（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　千五百箱

▲高粱（强調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二百一車

▲包米　出來不申

現物後場（銀建）

銘柄	寄付	大引
混保大豆（袋込）	六八八〇	六八九〇

出來高　十車

普通大豆（袋物・裸物）　出來不申

豆粕　出來不申

豆油　出來不申

高粱　四六〇〇　四六〇〇　出來高　二車

包米　出來不申

錢鈔

定期後場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　期近　八十五萬圓

現物後場（單位錢）

時	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	—	—	—

出來高（銀對金）七萬一千圓（銀對洋）一千圓

商品

後場

銘柄	約定期	値段	枚數
麻袋（保合）			
鐵筋	延十月末	[illegible]	三〇
鐵筋	延十一月末	[illegible]	五〇

出來高　八萬枚

銘柄	約定期	値段	梱數
綿糸（保合）二十番手	一月限	[illegible]	一〇

出來高　十梱

麥粉　出來不申

神戶特產（四日）

銘柄	値段
大豆現物	[illegible]
大豆先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
豆粕近物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆先	[illegible]	[illegible]
豆中	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
信	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]

東京株式（短期）

銘柄	品	東新
引値	不申	[illegible]
高値	不申	[illegible]
安値	不申	[illegible]
寄値	不申	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
株新	[illegible]	[illegible]
紡新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]

本日廳報及廳報目錄を添ふ

滿洲日報

窮して亂するもの　邊業票での特産買占め

支那の幣制改革といふことは清朝の時代から攻究されてゐることであるが今なほ何とも改革の方途がついてゐない。民國革命以來もこの問題について相當、頭を惱ましてはゐるが支那といふ廣大なる地域の上に四分錯綜してゐる貨幣の慣行があるので全く手のつけやうもない現状にあるのである。それに支那の幣制が混沌たる狀態にあるにも拘らず四圍の情勢は愈々もつて日に湧むといふ有樣であるから幣制の方が追ひつきかねるといふ實情にある。すなはち支那の幣制は混亂に混亂を重ね却つて滅裂、收拾すべからざる狀態にあるが世界の進歩は停止するところがなく革命支那の經濟發達を後退停頓せしめて顧みぬものがあるのである。よし南北が統一され中央集權の權力を以て全國を統制し得るの時代となつたとしても現状の如き幣制を改革し整理するといふやうなことは絶對不可能といふも過言ではあるまい。すくなくとも革命支那獨自の力を以てせんとするも恐らく夢を畫くの結果に陥るであらうと思ふ。

國民政府は中央銀行を設立し金融機關の統一といふことを畫策しつゝあるやうであるけれども中國銀行、交通銀行ほどの力量、信用なきものが如何にして支那の幣制を統制し得るであらうか。一時、奉天に中央銀行の進出を報じてゐたやうであつたが世間は殆んど問題にもしなかつたのである。東北四省は關外の特殊區域として從來保境息民に根據し殊に經濟的には一種の極樂境でさへあつたものである。然るに張作霖の野心、彼を圍繞する奉天軍閥の野望のために關內外の境界を撤し結局、特殊區域の特色は漸次に喪失せしめられんとするの現勢にある。かくて奉天票は不換紙幣の現實を暴露し滔々として崩落せざるを得なくなつたのである。殊に昨年末の易幟以來、奉天票の崩落するは當然の運路を辿りつゝあるものともいふべく遂に今日の如き醜狀を暴露するに至つたものである。

勿論、東北四省の地域の廣大を以てしても、その人口の割合および經濟發達の程度より推して關外だけの幣制ぐらゐならば當局の誠意如何により外國金融の力を借り適當の方法をさへ講ずるならば幣制の改革、必ずしも不可能事にあらざるものがあつた。併しながら今日の如く山海關の內外境界を撤して靑天白日旗が形式的にでも翻へるやうになつては東北四省のみを特殊區域として幣制改革を考察し得なくなつたのである。それに支那の軍閥は公私を混淆すること夥しく張作霖が東三省官銀號を御用機關とすると共に張學良氏は邊業銀行を以て公私の區別を無視してゐたのである。然るに昨今、東三省官銀號の奉天票なるものが全く信用を失墜するや張學良氏としては初めより御用機關たる邊業銀行を利用いや濫用せんとすることは當然に考へ及ぶところであらねばならぬ。こゝにおいて軍費その他に財政の窮迫せる奉天政權としては東三省官銀號に乘り替ふるに邊業銀號を以てし邊業票を以て應急の必要に應ぜんとするに至つたことは寧ろ八方ふさがりの奉天軍閥の唯一の進路であつたといふべきであらう。

併しながら一般商民にしても然

りであるが殊に金融機關が思惑投機を行ふほどこそ實に危險千萬なりといはねばならぬ。資本いらずの印刷代だけの不換紙幣を以て特産物の官憲買占めを行ふことは實に濡手に粟の營利行爲の如くであるが併し結局は永續すべきものでなく自らの墓穴を自らの手にて掘るものと斷ぜざるを得ぬのである。奉天軍閥は前門にロシアの狼があり後門には南京政府の虎がゐるといふ窮境にあるので背に腹は替へられず多少は破れかぶれの僥倖的自暴自棄も手傳つて邊業票により出盛らんとする特産を買占めんとする手ぐ腰引いて待ち設くるとは窮して亂するものといはねばならぬ。

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするのは採らず

懸賞論文　當選作

滿蒙の地より母國の友へ送る書

福田八十楠

【第五信】……生存權の優者默々たる支那人

欄頭のピクニックは面白かつた。欄頭を京都と間違へ聞いたが實際日本へ歸つた樣な佳い景色の處だつた。大倉組の煤鐵公司のある本溪湖を通り日露戰爭に騎兵隊を率ゐる閑院宮殿下がロシアから目習つた計りの機關砲を以つて本溪湖の急を救はれたと云ふ平頂山の裾野宮ケ原を廻ると奇岩怪石の清流に臨んだ處其處が欄頭だ。漁師を傭つて網を曳かせる。潑剌たる魚鱗が籃に滿ち漁師が燒く數十人が御馳走になる。食飽きて殘りは御土産だ。魚の種類は十數種、キャンデーの空罐に燒酎漬にして君の處へ送るから然るべく學校に寄附してくれ給へ。

滿洲は日本よりも氣候の移り方が早い。六月の太陽は燒く樣に暑い。僕等の陣取つた岸邊は涼しい楡の木蔭だ。岸には木を刳つた舟が繋いである。其獨木舟に乘つて物洗ふ乙女は御馴染の唐子そつくりだ。此子が出て來た方を振返れば總じて汚ない感じのする支那人部落も落付いた代赭色に塗られて何となく親めそうな溫かさを感ずる。羊を率ゐた一隊がやつて來る。澤山な子豚を連れた大豚を追つて來る子供が續く。こんな道も無い樣な處でも時間と云ふものは其の土に隱れた賑やかさを示してくれる。荷車を曳いたまゝ馬が河を渉る。馱を負ふた驢も渉る。馬子丈けは丸木橋の上を渡る。向ふにも涼しい柳陰が水際に影を投げて線香作る水車が隱見する。

兩岸の山々から出るものは河に注ぐ水許りではない、其處には多くの農產物がある。山々の奧までも拓かれてゐる部落があり谷々の隅々までも拓かれてゐる。奉天の人が喜ぶ鈴蘭の花咲く野は年々狹められて行く。北海道では餘り喜ばれぬ鈴蘭の瘠地此處とは濕度の差ありとは云へ此處に未耕地の減少した證據だ。滿洲では面積の單位は一天地と云ふが地價を段に換算して北海道等と收量の差のない處で二十圓位、北海道と略同じだ。北滿の樣な肥沃な土地が開放せられるので無い限り無資本の百姓移民は駄目だ。こんなに拓けてゐて此處にも必ず人が多過ぎるに相違ない。北滿に移住する支那人一箇年百萬の中には南方から來る者許りでなく南滿からも出掛けるのがある相だ。チヤンペラ蒲團に荷をくるんだ旅人、老若相攜へてとぼ〳〵と中には纏いけな纏足の女が混ぢつた一隊が通る。何を目當てにこんなに澤山の人間がひしめき合ふてゐるのであらうか。唯生きんが爲か。獸の樣な生活に甘んじて居る者もあるのだ。無自覺な彼等の生涯を憐れんでやり度い樣な氣もするが、彼等の住む處こそ支那民族の偉大な底力があるのかと思へば恐ろしい生存權を主張し得る點に至つては如何なる白人も如何とも成し得ざる中華民國の基礎は彼等にあるのだ。民衆は盲目だ。其れを導く先覺者が要る。然し其の先覺者が宣言する處も此民衆の支持が必要なのだ。三民主義といみぢくも孫文が云つてゐる。同色同文の中國人よ殖えよ滿てよ。而して我大和人族たる各人よ。等しく安住の地を新たに得て生存權を主張せよ。中國人を容れたる地よ、等しく我等をも祝福せよ。

春は柳の綠も鮮かに夏は野草の絶え間なく秋の稔にも事缺かぬ此沿線の野邊の景色は僕の蜜蜂熱を煽り立てた。蓋平の佐々木農園では既によい蜜を生産してゐるが此處ならば、驛々の社宅の裏にでも巣箱を置かして貰へば事足りる。驛々を註文取りに廻る醬油屋樣よりももつと鼻高く僕は驛々を巡廻して管理するがなあと思ふよ。まあ然し悠くり視察しやうと思ふ。では此れで失禮する。末筆乍ら貴兄の健在を祈る。

六月廿八日　神野拓
高嶺深君

光化門前の裝飾塔

半島文化のパノラマ　朝鮮博覽會の概觀（四）

京城支局

機械電氣館

交通土木建築館と共に近代科學の魔詞不思議に驚異の眼を瞠らすものは機械電氣館である、館內五百坪の第一部機械部又は東洋のマンチェスター大阪及び名古屋の出品をはじめ內外一流の會社から汽鑵、タービン、發動機、ポンプ、各製造機、印刷機、農具等總て製造工業の實演で觀者の理解を助ける、第二部電氣部にはお膝元の京城電氣會社が電氣瓦斯模型を用ひて農村電化、街路照明等から厨房浴場の家庭電化等の說明で十五坪を占領する外に日本電氣、東京電氣、鈴木、古川、日立製作、大倉商事その他の內地一流電氣業者が競爭的に各種出品の意匠を凝してゐる

畜產館

三角山を背負ひ綠濃い松林を前に二百坪の畜產館がある、館の中は朝鮮農村の大模型、これは動……でブラッシ製造とホームス……物の作業實演だから頗る興味深く、動物舍には農家の副業のため食用鷄、多卵鷄、羊、等の家畜類が專門家の注目を惹くだらう、食堂で大勉强の牛肉すき燒を出し料理法の實演說明は好の思ひつきだ賣店では牛乳、手織物、肉類、罐詰、蜂蜜などの即賣もある、この外乘馬部、乘馬は數千圓を投じて集めた兒童向の可愛い朝鮮馬で、今春から京城乘馬俱樂部の少年騎手達が調練したものだから少年少女諸君に大歡迎を受けるに相違ない

司法警務衞生館

司法警務衞生館は朝博の獨特從來の博覽會では全然なかつたもので現在の裁判の實況を博多人形で、同法館の中央府廳舊韓國と比較し新舊對照に便する外に等身尺の「法の女神」石膏像が回轉塔の上に飾られ、左手には秤、右手の古鏡から八十ワツトの電力反對光線で放火、賭博、殺人傷害等あらゆる犯罪の畫面と犯人逮捕警察の取調、豫審、裁判から刑務所入、そして出所後改悛し再び暗黑面に轉落した者その狀況を詳細に說明する、固い司法部としては頗る劇的場面も取り入れた碎けた出品、警務部では火災豫防と國境警備の實況パノラマがある「巡查の一日」で晝夜の勤務時間を十二場に交通整理は京畿道から京城府廳前廣場の模型を出品して四五十臺の自動車、自轉車がゴーストツプの合圖で驅驅する電氣裝置、國境警備のパーラアは三間と一間の大モノ、見渡す限り白皚々たる滿洲平野を前に、酷寒零下三十度、降り灑ぐ雪の中に防寒外套と銃を手にした立哨警官の姿―觀覽者の眼には淚が滲むかもしれない、感謝の念は自から胸に溢れるであらう、感銘深い大畫面である、衞生に關するものでは模型を用ゐて肝炎標本、マラリヤ、チブス、猩紅熱等傳染病豫防の宣傳、井戸、便所の改良模型、レントゲン室や晝間活動室もある、恐るべき性病豫防に關する模型繪畫は秘密室で一般には公開されない

朝博の歌　學務局で發表

「朝博の歌」が總督府學務局から發表された、作詞は京城第一高等女學校の大場教諭、陸軍戸山學校で行進曲に作曲して全鮮の學生の口から朗かに朝博宣傳を行ふ

一、半島の秋空高く
日に榮えゆく京城の
景福宮裡目も彩に
輝く朝鮮博覽會

二、新政茲に二十年
春の惠澤に潤ひて
文化の花の咲き匂ふ
御代の光を稱へなむ

三、產業世界の精を採り
學藝古今の粹を拔き
絢爛おのが美をきそふ
今日の榮えを讃へなむ

四、新興の意氣天に充ち
希望の光輝きぬ

出征軍隊に慰問品贈呈準備

對外的國民精神涵養の映畫入場券を發賣

過般の決議に基き奉天商工總會では支那側出征軍隊に慰問品を贈ることゝなりその準備を急いでゐるが、その後同會は更に歩を進め從來支那側の戰爭は殆ど內部的爭ひに過ぎなかつたためその間隙に乘ぜられ對外的侵略を受けて來た茲に於て支那側の國威を發揮するためには對外的活躍を試みなければならなかつた矢先端なくも露支問題が勃發したこの機會に於て該交涉を支那側に有利に導くかそれとも開戰して勝利を博するか何れにしてもこの際是非とも支那の國威を十分發揚せねばならぬといふ趣旨の下に出征軍隊を華々しく見送り更に慰問品を贈ることゝなつたのであるが、更に對外的國民精神涵養のためこれに關係ある活動寫眞を上映し一般省民に公開することゝなり既に入場券を發行し一枚につき現大洋の一元で二日以來各戸に强制的に賣りつけてゐる、かうして省城四十分の人民に對し少くとも一戸に一枚を購求せしめその金額を以て慰問品その他に充當する筈で活動寫眞も近く公開すると

博覽會を機に不逞團策動

鍾路署管內で一齊捜査　情報頻々と至る

今秋の朝博を好機として海外に根據を置く不逞鮮人團が鮮內に侵入し或る種の不穩計畫を企てつゝありし情報が最近頻々として來り道警察部および京城府內各署では頭を惱ましてゐるが、一日未明鍾路署では刑事を非常召集し管內一齊に亘り虱潰しに總捜索を行つた結果、前ソウル系靑年會幹部であつた李正九(二三)外十名を檢擧し本署に連行取調を行つたが五名は釋放六名を留置して引續き三輪高等係主任が嚴重取調中である

兩殿下御巡視

拓け無限の富の庫　盡せぬ文化の進展に

李堈公殿下には李鍝公殿下と御同伴にて一日午前九時半朝博會場に成らせられ今村殖產局長、兒島商工課長等の御案內で會場內を御一巡同十時半御歸邸あそばされた

內地出品物到着

去月三十一日京城驛に內地出品物が到着したが借切貨車十六輛にぎつちり滿載といふ京城驛空前の大貨物なので收容倉庫の手當がつかず搬出迄は貨車積載のまゝで置く

洮昂線延着　軍隊輸送で

【奉天】洮昂線は奉軍の軍隊輸送のため一般旅客列車の運行に支障を來し各列車毎に十時間以上の延着となつてゐると

大阪商船に望む

橫山寬二

日本より入港の聯絡船の到着時刻　市內要所數ケ所に判り次第掲示廣告せらるゝ樣希望す電話にて一々問合せするは双方煩に堪へず又貴支店の電話返事が時としては支那人が頗る曖昧なる返事を爲すこと往々で爲めに出迎へに遲れた場合もありますから此希望は市內多衆が一樣に感じて居る所です

杞憂生に答ふ

石本教授に代りて

あまり馬鹿らしくて石本博士はわざ〳〵御返事を下さらないだらうから、代つて僕が杞憂生にお答へします、もう一度八月三十日の新聞をよくよんでくれ給へ、君の樣なあわてものが地震の時はやられるんだ、石本博士は「元來滿洲は地盤が古くしつかりしてゐて內地の樣に出來立ての餠の樣な危險の狀態にはおかれてゐないが各地に溫泉も點在する事だし充分研究の價値はあるだらうと思ふ……內地には例の大震災の樣なものが何時とは云へぬが必ずあるとは云へる……不用意な事をしてゐると又關東震災のみじめさを味はねばなるまい」と云はれてある。餘りそゝつかしい事して人樣に御迷惑はかけないこと、あなたの樣な人のある事は地震より危險です

支那語會話　第十九回

けふの放送

秩父固太郎

1你在家裡麼2今天沒事閑着3做甚麼消遣哪4沒做甚麼看晚報5有甚麼新聞麼6沒甚麼新聞7今天那兒着火了8東街十字路口兒9打誰家起的火10新開的那個舖子11是新蓋的磚房麼12就是那一家13燒了幾家14就燒了一家15怎麼發火了16還沒查明白17沒保火險麼18說是保了五萬19都登在報上麼20登得很詳細

譯文

1 貴方お宅ですか
2 今日は仕事が無くつて閑で居ます
3 何をしてお遊びです
4 何も致しません、夕刊を見て居ます
5 何か變つた事が有りますか
6 別段變つた事も有りません
7 今日何處が火事だつたのですか
8 東街の四ツ辻の處です
9 誰のうち(何屋)から出たのです
10 新規に開業したあの店です
11 新築の二階屋ですか
12 ソウ、あの家です
13 何軒燒けました
14 タツタ一軒ぎりです
15 どうして火事が出たのですか
16 未だ調べがつきません
17 火災保險は附けて有りませんか
18 五萬圓附けて有るそうです
19 悉皆り新聞に出て居ますか
20 非常に詳しく出て居ます

(新字)鬧。道路。口。房。查。保。登。詳。

滿日地方版

撫順

彌生町社宅に ピストル強盜 主人の夜勤を探知し 妻女を脅迫

三日午前三時頃彌生町社宅の目拔きの場所彌生町四丁目一番地佐藤辨氏宅に六人組強盜侵入し内二名は外部に見張り四名は屋內に侵入當夜佐藤氏の夜勤留守を豫じめ探りたる賊は妻女京子をモーゼル拳銃にて脅かし泣き叫ぶ婦女子に向つて鮮かな日本語にて「聲をたてると殺すぞ」と威嚇しつゝミシン機械時價二百五十圓、蓄音機入十圓、トランク、銘仙衣類等金票四百圓のものを強奪「主人のゐない時又來てやる」からと捨臺詞して悠々と引上げた

楊柏堡に 辻強盜 支人を脅迫

三日午前十一時三十分頃撫順新楊柏堡派出所南方約千五百メートルの道路上に拳銃所持の三人組辻強盜現はれ折柄通行中の支那人より現大洋二十元、腕輪及び婦人髮飾約二十元その他金票五十圓のものを強奪逃走した犯人不明

研究所倉庫に 放火す 直ちに發見

二日午後九時二十分頃撫順炭礦研究所倉庫內に窓硝子を破壞數名の怪漢侵入アンペラ、コーライト等で放火したものがあつたが番人李春山が幸ひにも發見大事に至らなかつた、因に同所は引火し易き藥品多數ある爲絶對に火氣を嚴禁してあつた處であると

擧動不審な 撫順師範生

排日的色彩最も濃厚な撫順師範生四名は二日午後七時ごろ楊柏堡露天掘華工宿舍を軒別にのぞき廻り何等か不穩計畫あるものの如くであつた

三高軍を 屠る 對撫順劍道戰

全國高等專門學校劍道爭覇戰に優勝した京都三高對全撫順劍道部との試合は三日午後三時より撫順道場に於て擧行審判佐藤、橫山の兩範士にて二、三段の猛者十八名の龍驤虎搏の大熱戰が行はれ道場內にはみ出しさうな觀衆に固唾を呑ましたが流石は撫軍互豪三高軍を二十二對十八で屠る時に閉戰午後五時半

奉天

委員改選に 續々と立候補す 新顏の藤卷井上兩氏

奉天における地方委員改選は既報沼氏の名乘りを一番槍として藤卷、井上兩氏の新顏が立候補を宣言し何れも事務所を設けて活動を開始し他の議氏は隱然として活動を始めてゐるがこゝ一週間後には續々と名乘りをあげ來るべく相當激戰が豫想されてゐる現委員中より再出場を豫定したものは峰氏の外に福永氏あり末谷辰巳氏も鱗雲の色を示し末永氏も水川、都甲氏等の有力な議長候補の出馬說に勇退せんとしてゐるらしいがとに角出場はなすらしく一說には三業組合より田中億三郎氏の擁立說もあるが實現はしないらしい

コレラの 防疫協議 無料で注射

過般來營口に發生してゐる虎疫に鑑み奉天でも地方事務所、警察署、民會、領事館その他衛生關係者は二日午後一時から地方事務所に參集し防疫方法につき協議し希望者は附屬地內各開業醫その他で無料で注射せしめること注意書を市內一般に配布する等を決定し四時頃閉會したが一般人は勿論內地に向ふものも下關その他で觀られることもあるので進んで注射をなしその證明書を得られたいと

醫大評議員會

滿洲醫大第二回評議員會は九月十二三日頃大連に於て開催されるが今回は明年度の豫算決定がその重要事項であると

郵便物の 違反が多い 注意を喚起

最近小包郵便の中に手紙或は風俗治安を害する繪畫や物件を合封するものを發見するが、郵便規則上禁制となつてゐるので嚴重取締つてゐるが、當局では非常な迷惑を蒙つてゐる、一例としては少壯醫を表服の袂に秘めたり又風俗壞亂の繪葉書が多數の繪葉書中より發見され局員の眼間に赤面する場合もある、殊にハルビン物の猥褻なる繪葉書が多く又馬賊首斬り等珍品として押收されるが稅關檢査の際悉く發見されるので郵便局違反として處分されるから一般に注意されたいと

朝鮮博視察團

奉天輸入組合では今回朝鮮博覽會の見學團を募集すべく計畫し着々進められてゐるが、金剛山行の二說となつてゐるので近く決定次第發表するが、期日は本月下旬頃と見らる

判決一束

二日午後一時總領事館法廷に於いて公判開廷左の如く判決言渡しがあつた、原籍愛知縣奉天藤浪町一石炭商中島增次郎(四九)は藥品取締法違反で罰金三十圓▲原籍岐阜縣漆器職鄉議信(二七)前科三犯は窃盜罪で懲役三年に處せらる▲原籍慶尙北道朴永洙(四六)は窃盜罪で懲役六ケ月に處せらる

拐帶豪遊

大阪居住石鹸化粧品卸商福井竹松方店員山田健(假名)は集金途中に金七千圓を拐帶し滿洲方面に高飛せる形跡あるので奉天署では搜査中であるが大星ホテルに宿泊し粋山にて豪遊を爲せる事實があつたと

町の便り

市內江島町長田醫院炊事ボーイ劉東海(二〇)及び劉東江(一五)の兩名は同醫院の家族並に看護婦入院患者の金品を窃取してゐた事が入院患者谷本の懷中時計紛失事件から判明し目下引續き取調中

◇

二日午後四時十五分千代田通七番地先に於て乘合自動車會社のハープレーフ(四四)が操縱せる自動車が通行中の工業區同思和方店員滿香寧(四三)を轢き倒し足關節部に全治一週間の打撲傷を負はしめたが自動車側から五圓を支拂ふことゝなつて解決

◇

北寧線の新民府から匿名で鮮人救濟金として五圓を奉天署に委託せるものあり同署では調べた處永田庄次郎氏と判明した

◇

最近募集した關東廳遞信局通信講習生の志願者の內六十名は奉天に於て入學試驗を執行することゝなり試驗場は奉天中學校教室を借受け九月七、八の兩日に執行すると

◇

三日午前四時頃鐵西製糖會社附近に二支那人の擧動不審者を警邏中の警官が發見し取調べると裝塡せる拳銃と彈丸を所持してゐたので馬賊の一味ではないかと嚴重取調中である

人事

▲福田監査役 三日大連より來奉
▲武部商工課長 三日朝大連より過奉北行
▲鳥取縣米子商業生一行三十名 三日撫順往復同夜赴連
▲岐阜師範生五十名 廿七日來奉東旅館に投宿の筈
▲津輕聯隊區將校團一行十二名 八日來奉九日撫順往復同夜公主嶺へ
▲京都在鄉軍人會駐滿軍隊慰問視察團一行四十名 十五日遼陽より過奉長春へ十七日來奉大星に投宿十九日撫順往復同夜平壤へ
▲大林撫順署長 二日歸撫
▲長山遼陽署長 同歸遼
▲岩永第十六師團經理部長 二日遼陽へ
▲バレー氏(駐支伊太利公使) 二日赴連
▲小川殖產課長 三日過奉ハルビンへ

瀋陽駄話

滿洲醫大の會計獨立後の色々な案所のお膳立ても完成し既に同大學の新方針として研究方面に力を注ぎ大學の使命を發揮せしめることに努めつゝある▲これより先稻葉學長は豫算の編制にネヂ鉢卷の姿で算盤を朝から晩まではぢいてゐたが百何十萬圓といふ莫大な金額の豫算をつくりこれを遺憾なく利用することは藥品の調合小兒の診察をなすやうな譯には行かなかつたのは寧ろ當然なこととして▲愈々お膳立がなり研究と事務と兩方面に區別して之を利用するやうになつたことについては同大學從事員擧つて隨分心配されてゐたものである▲俸給改善第一回の俸給がサツと配布された時思つたより多かつたものは心で喜び意外に少なかつたものは浮世の常を心で悲しんでゐた一々云はなくても聞かなくても配給された瞬間の顏色によつて一目瞭然▲これで濟めば兎も角生活の第一と賴むべき給料に不公平ありとか下級傭員を虐待してゐるとか世の中は五月蠅いものだ稻葉學長森幹事その當にある人の苦心は却々容易ではない

長春

南北支那 視察團 商議で計畫

長春商工會議所はやうやく復活するに至つたので豫ての計畫通り在長春實業團體の南北支那視察を近く實行すべく斡旋せんとしてゐるが多分一月末か二月初めに出發となるべく希望者多い見込みである

北關夜話

商議の新陣容は愈々成り議員役員等の顏振れも遺憾なく揃つたが肝腎の認可がまだ來ない△從つて滿鐵や關東廳の補助金も出ない△政變と言ふ大事變があつたのだから止むを得ないが一番悲慘なのは商議事務局の事務員達だ△六月のボーナスは言ふも更なり六月以來今日まで鐚一文も貰つてゐない△大垣書記長初め峰村、內海の兩君それから若いタイピスト孃が每日秋の空を眺めて吐息を洩らしてゐる△認可があまり遲れるやうなら何とかしてやらにやなるまいテ

四平街

稻荷神社 遷座式 料理店組合の計畫實現

四平街神社の神殿を利用し之に稻荷を奉祠する四平街料理店組合の計畫は其後地方有志の寄附は千餘圓に達し茲に實現化を見るに至り愈々三日午後十時鎭座式を行ひ四日鎭座祭を擧行した、尚餘興として同日午後四時より境內に於て相撲取組を催し更に料理店組合の藝妓連は亂橙唄囃に花車を挽出し三味や太鼓で囃しつゝ大にお祭氣分を煽り立てつゝ中央大街を一直線に神社境內に至りしつらへたる假舞臺で夜を徹してお祭に相應しい手踊を行つた

營口

商埠公安局內に 臨時防疫處設置 コレラ豫防に努力

商埠公安局ではコレラ發生後益々流行の兆があるので臨時防疫處を開設し極力防疫に努むる筈であるが處長は公安局長之に當り各局長を委員として一日から公安局內に事務所を開設執務して居る

コレラ患者 行倒れ

大連碼頭より十日以前來營したる鄒陳氏(四)は病氣に罹り營口滿鐵醫院南方畑中に行倒れ居たるを防疫班に於て發見し採便檢鏡の結果眞正と決定し患者は直に支那官憲に引渡した

支人の怪患者

日本船連勝丸は二日午後五時天津から入港したるが同船客支那人體尼(二〇)は同日上陸し當市街に一泊三日遼陽へ行く目的を以て營口驛へ來り乘車せんとしたるに驛構內の防疫醫が診察の際コレラ患者の疑ひありとして檢診の結果五、六日以前より吐瀉したる旨申立て皮膚に彈力なく眼窩落ちくぼみてコレラ患者として取扱ふの必要を認め直に牛莊屯隔離所に隔離し目下動物試驗中である

防疫事務打合

滿鐵衛生課防疫主任中根博士は當地防疫事務打合せの爲二日來營關本所長と共に新舊市街關係各官衙につき視察調査の上即日歸連した

見物中スラる

新定門街居住の一英國人が一日夕食後新市街を散步し日本雜貨店の店飾を見物中何時の間にか懷中の入圖錢をすり取られ買物して代金を支拂はんとするときに初めて氣付き一場の喜劇を演じたりとのことである

關本所長招宴

關本地方事務所長は二日午後七時半から在營口新聞關係者を松月に招待張宴したるが蒲生地方係長、渠庶務係長接待役として臨席同十時頃盛會裡に散會した

徵發馬車輸送

軍用の爲屯村より徵發したる馬車九十臺は貨車三臺に積込み去る一日河北驛發一面坡に輸送した

安東

公安局と紛糾 對露示威運動から 商務總會と

當地支那街商務總會主催の對露示威運動は既報の如く公安局の制止に依り一先づ群集の解散をなしたが午後に至りても各所に小團體を作り依然示威的の行動を續け喧噪を極め公安局の强制的に依り大集團の示威行動が出來ぬ爲め學生側より代表者を選み奉天及び其の他の土地では官憲側に於て對露示威運動を許可して置きながら安東にのみ强制的の取締をなすは官憲の橫暴も甚だしとし主催者たる商務總會對公安局の間に軋轢を生じ問題は可なり紛糾の形勢を示して居る

防疫委員會

安東地方事務所地方係では二日午前九時より會議室に於て防疫衛生委員會を開き左の三項に就き協議した

一、近日中に虎疫豫防注射施行の件
二、危險區域の嚴重警戒
三、不潔箇所の淸淨に努める事

街防疫事任醫師として市川義一郎氏が二日着任し注射液は今の處一萬人分を取寄せる筈

公費督促の 宣傳ビラ 各所に配布

地方事務所では地方委員の選擧日を目前に控へて大々的に公費の督促をなす爲め三日標語を記載した四千枚のビラを市民に配布宣傳したがビラ面記載の標語は左記の如くであつた

一、課金を滯らぬやうに
一、千丈の堤も蟻の小穴から
一、名譽の都市も滯納の噂から
一、市政源泉
一、課金滯れば市政も亂れる
一、發展どころか火の車
一、二十年の歷史を誇る我安東
一、一事が萬事
一、一人の滯納全市の衰亡

朝鮮博觀光團

安東驛主催にて朝鮮博覽會觀光團員を募集する事となつたが豫定日は九月二十一日秋日曜祭日を兼ね二十四日朝歸安にて總費は概算二十圓見當であるが一兩日の中正式發表の筈

遼河斷片

警察と地方事務所では邦人の罹病者は絶對に一名も出さぬと大決心の下に淚ぐましいほどの大活動をつゞけて居る▲豫防注射の如きもそれからそれへと順次に計畫を立てゝ施行し四日、五日の如きも又復午後一時から三時半まで營口座に於て施行居住民は一名も殘らず受けるよう當局は熱望して居る▲本年の秋季淸潔法は大敵を眼前にひかへての眞劍勝負であるから各戶共徹底的にやつて居る▲檢査不合格などは恐らく一戶もあるまいとのこと▲使用支那人の便所については雇主は何等衛生上の注意を拂はず實に不完全極まるものが多い▲なかには全く無いところもある危險率の多い支那人に對し此狀態では徹底的防疫は絶望である▲斷片子は此際新設と大改造を要望する▲五、六歳の子供用の下駄に帝國の國旗を麗々しく彫つけ而も無關心にそれを買つて愛兒にはかして居る愚にもつかぬ家庭がある▲思想惡化の宣傳に事を缺いで國旗を踏み付けにさすとは不屆にも程がある▲即刻その出處を探究して製造と販賣とを嚴禁すべきである

貔子窩

獵友會設立

既報當地天狗連の獵友會は去る二日午後六時より民政支署樓上に於て發會式を擧げ會則を規定し役員の選擧をなし愈々呱々の聲を揚げる事になつた會長に大人榮次郎氏推薦され監事には池田宗太郎有村友輔杢田種彦の諸氏選ばれ來る二十二日の日曜日は會員を紅白二班に分ち競獵會を催す筈であるが每年の例として同日頃は雁の到來期になるので大小天狗連愛銃の手入試射等準備をなしてゐる

庭球界賑ふ

庭球に趣味を持つ武波署長を迎へて活氣付いた貔子窩庭球界は先週の日曜日は署長歡迎試合を催したが、去る一日には署長の返禮試合を小學校コートに於て催した第一回には警務對聯合軍の試合にて警務軍一組を殘して優勝し午後二時閉戰それより混合勝拔試合をなし午後四時終了した

遼陽

商店街實現 再入札して着工 社宅二十六戶を移轉

遼陽商店街は既報の如く發起人に於て最善の努力を盡し地方事務所も亦極力援助した結果一時疑懼の念に纏られて居た問題も一掃され數日前公會堂に於て組合員總會開催評議員も確定、二日改築工事の指名入札をなすことになり吉川組、時枝組、植木組、宮武組、渡邊組を指名入札せしめたるに設計豫算に超過すること甚だしく翌三日午前十時から地方事務所に會合協議して再入札に附する事になつた、因に商店街の實行と同時に從來居住して居た廿六戶の滿鐵社員が遷轉居せねばならぬ事になり社宅係は市中の空家所有者と借上協定中である

匪賊橫行に 商團兵配置 縣商務會で

遼陽縣商務會長陳錫堂は同會役員と協議の上知事及び公安局の諒解を得て近時縣城四周の匪賊橫行は言語に絶し鄉民の避難する者一萬數千人の多きに及び何時縣城を襲かさるゝや計り難きに付差當り商團兵五十名を招募し服裝は陸軍樣式銃器五十挺を買入れ九月一日から懷王寺街萬聚店內に事務所を設け更めて縣長公署を經て省政府の承認を得る準備中であると

堀山氏嚴父

撫順新報安東支局長堀山宗邁氏は鄉里にて病氣靜養中なりし嚴父危篤の急電に接し歸鄉の途に就いたが嚴父は同氏の歸省を待たず三十一日享年八十二歳の高齡を以て逝去したる由

白塔漫談

遼陽在職中殉職した領事館關東廳事務官土谷久米藏氏を初め遼陽署在職警察官の殉職病歿者の追悼會は恒例として每年八月初旬行はれて居たが今年は水害の爲めか未だ施行された事を耳にせぬ▲追悼會は相當經費も要し、時間も要するが故人を偲び故人に敬意を表する意味に於て出來る事なら實行した方がよい、關東廳には警察官招魂碑があるからと云へばそれまでだ、法要や靈祭は遺族が忌年にやるから他人が餘計なことせぬでもよいと云ふ譯でもあるまいがと云ふて居る

開原

臨時種痘を施行 開原及び昌圖にて

開原警察署管內に於て臨時種痘を左記の日割により開原及び昌圖に於て施行すると

種痘日 九月十二日自午後一時至同三時、檢痘日同十九日自午後二時至同三時、場所昌圖地方事務所出張所、區域、馬仲河昌圖滿井各派出所部內一圓

種痘日 九月十三日自午後一時至同三時、種痘日同二十日自午後一時至同三時、場所開原公會堂區域、市轄、南、孫家街、掏鹿大街、同第二、中國、全滸子各派出所部內一圓

種痘日 九月十四日自午後一時至同三時、檢痘日同廿一日自午後二時至同三時、場所開原公會堂區域、開原大街、北三街、民宅各派出所部內一圓

尚定期種痘該當者に對しては定期種痘としての取扱ひ種痘濟證を交附す

スポンヂ大會 地方區優勝す

滿鐵運動會開原支部のスポンヂ野球大會は一日午前九時より中央公園グランドに於て擧行された組合は貨物と驛地方區と學校聯合にて遠藤地方係長司球の下に貨物先攻にて驛との試合は開始されたが貨物利あらず遂に五對十一にて驛軍の勝となり次で地方區先攻にて學校聯合との試合を始めたが第五回目迄に一對十三にて地方區の勝となつた優勝戰は驛と地方區驛先攻にて試合を開始したが驛軍利なく遂に十七對五にて地方區の優勝に歸し午後四時半終了した

弓道大會盛會

弓道大會は一日午前十時より弓道場に於て擧行された各支部よりの出場者は大連一名松樹一名瀋陽一名奉天十一名本溪湖一名鐵嶺五名四平街六名公主嶺四名長春八名開原十六名の多數にて非常に盛會を極めた當日入賞者左の如し

甲組 一等奉天小林初段、二等四平街鈴木二段、三等本溪湖廣津初段、四等奉天伊藤初段、五等長春中山初段、六等長春下總四段、七等奉天西尾四段、八等奉天瀧澤初段、九等開原野原初段、十等公主嶺平野二段以下略す

乙組 一等開原田下、二等撫春橫本、三等四平街廣辻、四等長春近藤、五等長春深津、六等開原小林、七等開原富岡

軍司令官來開

畑軍司令官閣下一行は一日午前八時五十七分當驛通過長春向け北行したが來る五日午後五時三十二分着列車にて來開一泊の上翌六日開原守備隊の檢閱をなし同日午前十一時五十六分發列車にて鐵嶺に向ふ豫定

因に石原副官は二日午前八時五十七分發列車にて四平街に向け出發

新設隊に三氏轉任

開原守備隊附鈴木特務曹長、中野軍曹、齋藤軍曹の三氏は新設第五大隊附を命ぜられ四日午後二時五十二分發列車にて鐵嶺に向け赴任

タクシー出願

開原驛の移轉に伴ひ一般に交通機關の必要を感じて居たが當地峰武治氏は自動車二臺を購入し開原タクシーを開業すべく目下其筋に出願中なりと云ふ開業の曉は市民の利便は多大であらう而して料金は市內一回金六十錢均一であると

大川氏歸所

大川開原取引所長は出張中の處四日歸開

野犬婦人を咬む

三日午後三時半頃開原大街二十番地遠山時計店前路傍に於て同家の大隈かめさんが何の氣なしに戶外に出た處を野良犬が飛び付いたので之を避けんとしたるも遂に右腕を咬まれたので早速病院に馳せつけ手當を受けたと該野良犬は直ちに毒殺した

鐵嶺

第五大隊が 新に駐屯

鐵嶺新設守備隊は既報の如く第五大隊と決定し大隊本部は當分の間四平街に設置され當地には第十三四の二ケ中隊が置かれる由で中隊幹部も左の如く決定した

第三中隊長大尉根上儀太郎、中隊附中尉佐賀房太、同丸山茂夫
第四中隊長大尉吉川慶次、中隊附中尉道盛清、同河上才三

尚此外准士官二名下士若干名が增設準備委員として近く鐵嶺に來任する筈であるが既に虎石臺開原等より轉任の下士は鐵嶺に着任執務中で中隊設置は來る十二月であると

審判官を招聘

來る八日の滿鐵運動會には競技正審員として特に斯界の大家高橋俊夫氏を大連より招聘すると

淸潔法の日割

當地に於ける秋季大淸潔法は左記日割によつて施行されるが本年は雨天多く浸水家屋も多數にあつた模樣であれば特に床下などは淸潔にし其他示達の條項を固く守り徹底的大掃除を勵行し多能り準備をされたいものである

九月二十一日附屬地中央通以北全部▲二十二日中央通以南及鐵嶺西全部▲二十三日休み▲二十四日居留地全部▲二十五日新臺子亂石山附屬地▲二十六日得勝臺、平頂堡、八里庄、鐵嶺河、山頭堡等附屬地

語學檢定試驗

滿鐵語學檢定試驗は來る八日午前八時より鐵嶺補習學校に於て施行されるが今年は受驗者非常に多く合計五十三名に達し學級補別は▲華語一等三名、二等五名、三等八名、四等四名▲日本語特等一名、一等一名、二等四名、三等二十七名

金融組合移轉

鐵嶺金融組合事務所は既報の如く適當の家屋が無い爲め竹井安平氏の階下を借り受けて假事務所としてゐたが五條通吉見洋行店舖借入の契約整ひ來る六日移轉するが竹井氏留守宅には瀋陽地方事務所長が社宅修繕中暫しの借家住まひをすべく移轉すると

博物館寄附金

御大禮記念帝室博物館復興翼贊會の鐵嶺市中間の寄附金は滿鐵と郵便局とを除き一般から募つた結果金百二十五圓八十七錢を得旅順に送金したが滿鐵及郵便局は既に第一回募集の際送金したと

民會長歸鐵

內地に出張中であつた紀藤民會長夫妻は三日午後五時の特急で二ケ月振りに歸滿した

吉林

李哈市警備司令 張作相氏と協議

哈爾賓警備司令李振聲氏は張作相司令官の哈爾賓出動が無期延期となつたので哈爾賓に於ける治安情況報告の爲めと稱し去る二十七日來吉同日張作相氏と折衝一泊の上哈爾賓に引返したが其隨員の談に依れば近日露支交涉は支那側の讓步に依つて速かに和平解決するであらうと傳へられて居るが然し今後幾多の紆餘曲折を經ることは予の豫測するに難からぬ所である、現下露軍側は國境を脅かすのみならず密かに我が後方擾亂の陰謀を企てゝ居るので對露軍事は決して忽諸に附することは出來ない今回李警備司令は張作相司令官に對し

一、在哈露僑の不軌行動に對し普通の國際慣例適用不可であること
二、哈爾賓に戒嚴を施行するの緊要なること
三、戒嚴期間に於ける外僑保護に關すること
四、哈爾賓公安局を警備司令の指揮下に入れ以て治軍衛民の職責を全ふせんこと

を要求する所あつたが張司令官は之れを妥當と認め直に之れを許可したと

赤露膺懲の 請願書 農會で提出

吉林省農會は露國膺懲其他に關し臨時評議員會を開催した事は既報の通りであるが、同評議員會の決議に依り八月三十一日駐吉張作相司令官に對し赤露膺懲に關する請願書を提出した、尙右と同文を奉天東北政務委員會にも發送したと言はれてゐる

兩交涉員來吉

濱江交涉員蔡運升氏、長春交涉員周玉炳兩氏は去る三十一日前後して吉林に來り張作相主席に對し外交事務に關し報告する所あつたが尚聞く所に依れば各交涉署は八月卅一日限り廢止すべしと中央政府の命令に接したるも現下露支問題の爲め廢止は本年末迄延期せらるゝであらうと云はれてゐる

普蘭店

震災記念講演

一日午後七時より小學校講堂に於て開會、先づ井神校長より開會の辭を述べ續いて國民精神作興に關する詔書を捧讀し會衆一同國歌を奉唱し震災犧牲者のため一分間默禱の後講演會に移り總務課長平井齊三氏は國民精神作興の國民運動に醒めよとの題下に歐洲大戰以來我國の經濟狀態より說き來り現內閣成立以來金解禁の準備運動として高調せらるゝ所謂勤儉獎勵の國民總立運動のため一般の奮起を促し山根郵便局長は國民の覺悟と題し最近展覽會のため歸省し目擊せる內地の現狀に比し植民地は尙幾多の改善緊縮すべき餘地あることを實例を擧げて力說し最後に此經濟國難に處し貯金奉公の意味に於て御大典記念昭和家庭造成會即ち三百圓積立百圓掛置の五萬圓貯金に加入方を勸說し最後に滿銀支店長近藤治氏は金解禁の影響と各自の之に處する態度に付詳說し各獨自の立場より最も有意義なる講演あり十時三十分盛會裡に散會聽衆は五十餘名に過ぎざりしも極めて眞摯なる集りなりき

瓦房店

秋季運動會 十五日に擧行

當地滿鐵運動部にては來る十五日午前八時より小學校東方運動場に於て秋期陸上運動會を開催する事となつた

銃器を拐帶 馬賊に早變

復縣砲兵第二大隊の于紹江、王春林外四名は去る二日勤務中午後十一時頃上官の隙を見計らひ自己擔當の長銃各一挺彈藥各百餘發宛を攜へ營廷を逃走した多分馬賊の群に投じたらしく尚右班長宋某は責任上取押へられ目下留置取調中である

救世軍の講演

救世軍南滿大隊長酒井參領及長井大連白石奉天各小隊長一行は五日午後七時三十分より當地分隊會館に於て講演の爲め來瓦する由

小學校の遠足

瓦房店小學校にては三日午前八時より全校生徒一同北陵寺附近に遠足を試みた

金州

大和尚山の 登山季節 紅葉も近づく

炎熱焼くが如き滿洲にも秋は訪れた、朝夕の涼風、天高く馬肥ゆるの秋の空、短命にして早や結氷に入る滿洲には此の秋こそ最も惠まれたる好季節と言はねばなるまい此れと同時に我が金州にも此の秋は訪れたのである、名所古蹟を數多有する金州の見學は絶好の時期であり特に仙境靈地として知られて居る大和尚山に登山して一日をほしいまゝに探勝と遊山に費す事は秋でなくては味はふ事が出來ぬのである近く十月に入れば全山の櫻木紅葉に化し殊に觀音閣の景勝、石鼓寺の絶景、響水寺の響水と相和する紅葉の觀賞は大和尚山でなくては見られぬ即ち金州の誇りとするに足るものであらう此餘暇の一日を利用して登山を思ひ立つ旅大方面の人士も相當見受けられ今後の大和尚山は登山客を以て非常な賑はひを呈するであらう

庭球選手權 大會迫る 申込は本日限

來る八日午前九時より驛前滿鐵コートに於て開催さるゝ本社支局主催の全金州庭球選手權大會は餘す處數日に迫り出場選手は練習の猛度も愈々猛烈を加へて何れも劣らぬ技量を發揮して當日の混戰を思はしめて居るが、當日は金州最初の催しではあり且運動獎勵の意味を以て石川內外棉支店長より特に石川カップを贈呈するから未曾有の盛會を呈するであらう、因に申込は今五日を以て締切るに付四日中に申込まるゝと共に何れを問はず奮つて御參加を歡迎する

清泉畫伯展覽會

滯金中の大場清泉畫伯は嚢に新市街金閣寺に於て自作畫展覽會を開き多大の好評を博したが再び來る五、六日の兩日に亘り城內警務課俱樂部に於て開催することになつたが希望者には作品を頒布する由

敗退將棋 滿日名家 (一)

【飯塚氏五面落六面目】

香平交平手 六段 △飯塚勘一郎
先 六段 ▲平野信助

持駒 飯塚氏 ナシ

【圖は四八銀迄の局面】

持駒 平野氏 ナシ

【盤面以下指方】▲七六歩△三四歩▲二六歩△五四歩▲五六歩△六二銀▲四八銀△五三銀▲二五歩△三二金▲七八金となります。

【對局者の感想】飯塚六段曰く八四歩と突けば相懸り模樣となります。私は少しく考へて置いたので五四歩と形を變へた。平野六段曰く敵が五三銀と上つた時五七銀と同じ形に指すと四四歩と角道を止められ割合に六ケしくなりさうで先に二五歩と飛先を利かした模樣を見た。

【大崎八段講評】後手敵が二六歩と突出すを五四歩と指せしは五筋に深き味はひを含みて慣せある手段なるも總ての位を低くする嫌ひあり。直に八四歩と飛先を突く方變化に富み……

天皇は皇居のみで城郭なし

歐米摸倣の政黨狂

伊藤彦造畫

秦の始皇帝は万里の長城を築いた。日本里程で七百余里、その工費は專門家の意見に依ると、現代では百億円でも出來ないとのことである。その城郭に據つて萬世に至るまで、無窮に帝位を傳へんとしたのである。然るに、始皇帝は力のみに重きをおいて德を顧みず、學者を坑に埋めたり、書籍を焼いたり、阿房宮を建てゝ有らん限りの贅を盡したので、遂に奴臣に乘ぜられ、万世は愚か二世で滅亡したのである。

又豐臣秀吉は大阪城を築き、難攻不落と誇つたのであるが、秀吉の歿後、統一を失ひ遂に落城するに至つた。

近くは、獨逸皇帝カイゼルを見よ、獨逸は文明國として世界の脅威の的となつて、一時歐洲の覇權を掌握するが如き勢であつたが、歐洲戰爭の結果、遂に窮迫するに至つた。之は自ら生んだ物質文明が禍して、カイゼルの横暴となり、獨逸國民をして苦境に陷らしめたのである。力のみでは國は治まらぬ。

附言　万里の長城も頼むに足らず、難攻不落の大阪城も頼むに足らず、科學の進歩せる獨逸の物質文明も亦頼むに足らず、何れも滅亡或は衰退に陷つたのである。

翻つて我が日本はどうだ。三千年の久しき、天皇は皇居あるも城郭はない。飛鳥朝にしても奈良朝にしても平安朝にしても、平地に宮居あるのみである。是れ即ち君臣父子の國なるが故である。世界中何れにそんな立派な國があらうか。我國は精神文明によつて今日を成したのである。然るに、現代はその精神文明を忘れて歐米文化に醉はされ、何も彼も模倣である。甚しきは政黨政派で、黨派のためには國家の利害休戚を顧みず、蛙鳴蝉噪で收拾すべからざる状態である。常に政權の爭奪に苦心し、政爭心のみ強くて愛國心薄く、ために思想を惡化せしめ、國民は政爭の弊に苦しまねばならぬ状態に陷りつゝあるのである。覺醒せよ、歐米模倣の政黨政治家。

第二篇 教育美談　有田音松

右其五十五　左其五十六

日本は世界一の文明國

糟粕を嘗る新人

伊藤彦造畫

世界の歴史を繙いて見ると、文明國であつた支那や印度やバビロンやエヂプトやヘブライやペルシヤやギリシヤやローマやアラビヤやメキシコの文明は、古代に於て既に亡びて居る。歐米の文明も亦今や行詰りに瀕して滅亡期に迫りつゝある。

歐米が眞の文明國でないといふことは、彼の歐洲戰爭で證明せられた譯である。若しもこの戰爭が、歐洲の天地に起らないで西洋以外に起つたら、歐米人は如何に之を野蠻と嘲つたであらうか。然るにこの戰爭は何處の「野蠻國」にも起らないで、西洋の「文明國」に起つた。それ故に、歐米人も歐米の文明が眞の文明でないことを認めなければならなくなつた。

我國の新人一派は、西洋の政治の如きものを眞の政治と考へ、日本人は政治思想が幼稚だなどゝいふが、我國の政治が幼稚であれば、日清戰爭や日露戰爭にも大勝を得ることが出來ず、又世界の一等國にも列せられない譯である。政治が良いから露支に打勝ち、世界の歐米の的となつたのではないか。その世界に類例のない政治を忘れ、何も彼も歐米の政治を模倣せんとするのは、自称のない新聞記者である。

大きい支那と小ッぽけな日本と戰ひ、歐洲で脅威の的となつて居た大國ロシヤと小ッぽけな日本とが戰爭をするといふのだから、世界各國は日本が負けると思つたのも當然である。處が之に打勝つたのは、忠孝一本の賜である。

附言　君民一致も忠孝一本も、大家族制度から出發するので、我國はこの制度で三千年間一貫して來たのである。日本に生れながら日本が解らぬやうな輩に、歐米が解りさうな筈がない。そんな連中は洋書にばかり囓りついて歐米化せられ、日本人ではないのだから、日本を去つて歐米へ歸化する方が、本人のためにも國家のためにも好い譯である。

文藝

滿洲短歌界
擬古派と明星派の横行
青木實

滿洲に於ける短歌界をみるに、形態上の擬古派と、褪色と弛緩と安價な感傷の結晶とも言ふべき明星末派の横行、跋扈である。

擬古的な短歌は、歪めた形態、扮飾をこらした發想を捨去れば救はれる。救ふことのできないのは邪道に痲痺してしまつた明星末派の作家である。歪めたもの、見方、感情極まる内容、千變一律の形態及び節奏等々。此の派の短歌を作る人々が何の位い滿洲に在住してゐるのか知らない。然し僕の拜見した幾つかの短歌は、良いにも惡いにも、ただから云ふ傾向の短歌を作る人々を氣の毒に思ふのみだつた。

明星派の開祖ともいふべき晶子女史の滿洲に於ける作歌を幾十だか、幾百だか、雜誌「改造」に發表されたのをみたが、一首として心の底からの「叫び」をきかれなかつたことを未だに記憶してゐる。僕が鞭を加へるまでもなく彼等は日々衰頽に向ひつゝある。彼等の一味を内地では「相聞」の吉井勇伯、中原綾子女史の一派にみる。我々の努むべきことは、短歌を新らしく學ばんとする人々が、彼らの末社に連なることを極力防止すべきにあるのだ。

擬古的な短歌を作る人々に言ふならば、所謂歌言葉を玩具とし、格調の良さのみに囚はれてゐたのでは、短歌が死んでしまふ。又敍景的な短歌ばかりを作つてゐたのでは、類型的になり勢ひマンネリズムに墮ちることは必定である。

歎くとも花に、月に歌ふ程度から、又「かなしかりけり」「さびしかりけり」から拔け出づるべきである。花に、月に歌ふもよいがかなしさ、寂しさを歌ふもよいが短歌を感傷の玩具にのみしてゐるべきではない。現世に生きる我々は、もつと實生活の上から、歌境を發見すべきである。現實に在つての止むに止まれぬ衝動を「うたごころ」までに導き、短歌に歌ひ上げるべきである。

而して、その一首、一首の短歌に、最も適切なる、拔き差しの出來ない表現をすべきであるのだ。そのためには、文語、國語或ひは外國語をも自由自在に驅使すべきである。そこにのみ、昭和の歌人としての意義、面目があるべきではなからうか……

笈摺の旅
—季節的隨筆—
大庭武年

秋風が吹初めると僕は堪らなく旅に誘はれる。どう言ふ譯だらう芭蕉の吉野紀行に「旅人と我名呼ばれん初時雨」と言ふ句があるが僕も多分にその心境を感ずる。一二年前迄、學生時代は、僕は貧しい旅行を可成した。文字通り漂々としてあちらこちら出掛けて行つた。秋風にうしろから吹かれ、飄旋する落葉のそれのやうに、あてもなく旅に出る氣持は一寸ボヘミアン向くがいゝものだ。

旅は然し秋には限らない。春の旅も（夏の旅は僕はあまりしたいと思はないが）冬の旅も又趣きがあつていゝ。春旅はどこか清新でなごやかだし、冬旅は懷しみ深く心持の暖ぐ蒸れてくるものだ。

僕は、秋は多く山に行つた。溫泉場だとか寂しい山里だとか。野分が吹いて時雨がさツと草葺の田舍家の屋根を濡らせて過ぎてゆくさうした鄙びた景色は行きずりの旅人の印象には忘れられぬ秋のものだ。冬は暖かい所より寒い所がいゝ。一度雪に埋もれた北國の津輕の海近く迄行つて、その味を覺えた。その時、行き暮て泊つた漁村の旅人宿で、傴僂の藥賣りや、漂泊の寄席藝人の女達と同宿して一夜を潮騷と彼等の頽廢的なさゞめきの爲めに眠られないで送つた事は「ひとつ屋に遊女も寢たり——」の句も憶ひ合はされて忘れ難い。春はどこへ行つてもいゝ。何處へ行つても潑剌として愉快だ。だが僕は春はいつそ雜沓の巷に、自分を捨られた子のやうにさまよはすのに趣味を覺えてゐる。僕は度々黄塵の京都に遊んで滿足してゐる。京の春は、都踊紅提灯のともる京の春は、僕には忘れられぬもの〻一つだ。

東京の町は自分の住んでゐる所なので餘り感興を起さない。それに郊外も平凡な氣がする。少し前蒲田に住んでゐた頃、よくスタヂオの連中と、武藏野をロケーションして歩いたが、六郷河畔をのけて惹きつけられる所はなかつたと言つていゝ。それに較べると關西は尤も僕には珍しいからかも知れない。宇治あたりは特別である。

溫泉場は伊豆だ。あの山かひのいでゆの香は、果物の香と、伊豆娘の肌の香と共に、特徴あつて忘れられない。箱根は近代的趣味にはいいが、笈摺を負ふやうな旅には不向きだ。

旅に就いての僕の望みは、用事を持たない限り、極端に漂然と始終したい事だ。汽車や乘物を利用する事は勿論だが、歩ける所はなるべく歩くやうにし、そして疲ればごろりと草にころんで浮雲を眺め又立ち上つて歩いてゆく。渴すれば川の水を手で掬つて飲み、行き着いた百姓家で一膳の飯を仕度させる。さう言ふやうにして歩いてこそ旅の味は判るやうな氣がする。一本の杖と少しばかりの金さえあれば、持物なぞ外に要らないのだ。大業な旅は僕は一番嫌惡する。

旅！旅！僕は逢ふ人毎に慫うした旅の面白味を說く。だが、近頃の若い人達は、多くは旅なぞに趣味を持たぬらしい。僕は時々ひどくそんな事で失望させられる事がある。矢張り旅は、獨りでして、獨りで愉しんでゐればいゝものであるかも知れない——。

初秋新風景（1）
高木鄭子の卷
榮華人

街路にこそ秋はあれ。眼をつぶれば、俺の網膜に徂徠する幾多の少女があるが、この秋の日なかを共に散歩したいほどの女の姿はなかなかに現はれては來ない。

と言つて獨り歩きのぶざまを考へれば、えゝまゝよ、あの女でも連れてつてやれ。

と言つて一緒に歩いてゐる彼女が、この高木鄭子なのだ。

何とこの物語の冒頭に於いて紹介しよふとする女主人公に對していともさうはしい言ひ表はし方ではないか。

この女、身の丈五尺三寸あまり瘦軀。お〻狐の脚足には持つて來いの人絹に包まれた脛。この頃はそれでも長い袴にそれも包まれて榮華の蹤のちびた靴を見るばかりだ。

高木孃は、世に言ふ職業婦人ではあつたのである。

この孃の勤め先では、諸君よ彼女の爲に祝福したまへ、唯一の女性であつたが、唯一の女性と言ふ事は、諸君よそれは考へて見ても嬉しい事ではないか。瘦軀長身、既に人を魅するに足る。にもかゝはらず、彼女の軀に於て過剩に生產された媚藥は、彼らにいとも公平なる分配を行ひつゝあるにおいては……

と言つて彼女が妖花アラウネではない事は、彼女をめぐる數々の男たちが不思議にもセキジュアルな感情を持たされない事でよも判る。

斷然、彼女はアラウネではないが、といつて、坊間彼女のセックス如何を問題に附するの議にも與しない。

——要するにだね、君、吾々が彼女に關心を持つ所のものは、正にその點にあるのだと思ふんだがね。

一人の友達が俺に囁きかけた事があつた。まさにそれ以上の興味を持つてゐるらしく見えるのはとりも直さず、それは鄭子のうぬぼれであるかの樣な口吻りだ。

この男、昔、故あつて一人の女に失戀し、由來女に惹かれる事に極度の恐怖を感じてゐる、と言へば形容し盡して餘地なしと言ふ樣な臆病男なのである。

兎も角、この女はそんなに麗がれてゐるのだが、今俺は——俺の氣もちではしよう事なしに——街路の秋を探るべく、まだ日ざしも暑い日中を、彼女と共に歩くべく餘儀なくされてゐるのだ。

お〻蒼空よ。俺は今數言を費して、大方の諸君にその風手を臟けながらも說明し得た高木鄭子と、斯も華やかな散歩をする氣はなかつたのだ。蒼空よ。今日は何だか俺の心もちが少しばかりふらついて來たぞ。一足、二足、そして狐の脚足ではないが、このお孃さんと、亂舞をしたい慾望で一杯にされてゐる。お〻。

とたん。「おい、この頃はどうだ」

と言つて肩を叩くものがあつた。

滿洲短歌會八月例會詠草（一）

藤吉蕉作
おづおづと我れを見あぐるまなぶたのうるみを見れば許さむと思ふ

鈴木千草
靈も身も億土の土に歸するまで君をかたへに生くべしわれは

西島貞子
馬車降りて馬車のランプにたなぞこの銅貨のいくつかぞへけるかな

宮土ふさえ
みはるかす野邊のはたての空すみてなみ生ふ黍は穗を垂れにけり

中尾千代子
親もなくはらからもなきふるさとに何に引かれてわれ歸りきし

荒川石楠花
葉鷄頭の紅葉みだるゝ庭の面に夕ふかみゆく雨のわびしさ

中澤一雄
靜やかにうつろ心をいだき來つ山門にふる雨のあかるさ

鈴木澄秋
裏小路の垣根に白き豆の花そぼふる雨にさやかなるかな

寺本初音
夜をおそみかへりし夫と語らへる明きざしきに出でしこほろぎ

本間倭文子
盃を持つたあなたの夢を見てオヤあなたものむのかと思ふ

安倍喬
秋雨の冷えくし夜は樂燒きに燗あゝめて飲まむ酒かも

佐藤鐵之助
折りにふれ思ひし人はむくつけき名前に似なくおとなしき人

珈琲店と文學
大連カフヱー改造慾
三昧寺曼

——承前——

柳暗花明の巷は、江戸文學の中心であつた、と謂はれる。而して謂はれる如く、江戸文學に於て、「遊女」なるものが文學上の一素材として立派に活躍してゐたのである。

然るに現今日本に於て行はれてゐるキャフヱーなるもの、而して其のキャフヱーに於て中心の存在である處の「サービス・ガール」なるものとが果して文學の中心となつてゐるか？

曾て私はキャフヱーを主題として成功した文學を見たことがない（と言はねばならぬ）

これに先立つて、果して現在の珈琲店なるものが文學的要素を保持してゐるかどうか——これを探究するべきであるだらう。

（だが私は此處で特に斷る私は不幸にして内地大都市の最近に於けるキャフヱーを識らない、であるから私が今後言ふであらう處のキャフヱーなるものは大連に於けるそれであるといふ事である）

考へてみるのに——狡猾であり欺瞞的である享樂はキャフヱー時代に來つて恐ろしく其の濃度をましたと私は言つた。然しますと同時に、この狡猾と欺瞞とは次第に其の秘密性を喪失し來つたのである、換言すれば——卑近な例で言ふと、この卓子で狡猾であり欺瞞であるものが隣の卓子に於ては狡猾でなく欺瞞でない、つまり享樂なるものゝ間口の廣さに反して奥行を失つて來た、だから享樂は非常に刹那的となり、だから今や享樂は

人間對人間

ではなくて

人間對耳

であり

人間對口

であり

人間對眼

であり

人間對鼻

であり

人間對觸感

といふ具合になつて來た、といへるであらうと考へる。斯くして、享樂は早くも宗教から遠ざかつてしまつた。（未完）

小さな出來事

「月刊撫順」獨り南滿に氣を吐いて——依然。

◇

「協和」既に沈衰。

◇

滿洲に於ける雜誌が金の無心でなくなり受取でなくなり、而して有閑ボーイの自潰でなくなる時は何時の日、何時の時か。

◇

旅順の滿洲文藝社はどうなつた

◇

三千世界の鴉を殺し主と朝寢が出來たとしても滿洲で文藝運動が成功したゝめしがない（ひ）

圖書館小話（七）
橋本生

サトウ氏

文久二年の八月に、所謂生麥事件が起つた。薩摩の藩主島津久光の部下が、勅使警衞行列の前驅を横切つた無禮を咎めて、英人一人を斬り、三人を負傷せしめた。その翌年七月、英國は軍艦七隻を鹿兒島に派遣して、賠償を要求したが、薩藩も容易に屈せず、互に砲火を交へた事がある。

明けて元治元年である。今度は佛米蘭英の四國の軍艦が、長州藩を恨む事があつて、下關を砲擊し、長藩が和を乞ふといふ騷ぎがあつた。サー、アーネスト、サトウ氏は、當時駐日英國公使館の通譯生であつて、此の兩役には何れも通譯の任を帶びて從軍してゐた。

から書出すと、何だか維新史を知つてゐるらしく見え、また當時の外交事情でも、かぢつてゐるかと見えて、甚だ恐れ入る次第だが維新史では、小學校でさへ其の講義に出て來さうな、我等に親みのある此の人が、ついこの頃の八月二十六日、八十六歳の高齡を以て「僕今はインキョの身となり、只管田園生活を樂しむの外餘念なし」と云つた生涯を終つたといふので、この機會に、サトウ氏が、どうして我等の記憶に殘つてゐるのかを——其の事蹟を——明かにしたくなつた。

サトウ氏は、倫敦大學在學中日本在勤通譯學生の募集に應じ一八六一年十一月かねてあこがれの日本へ旅立つた。併し、一隨〻支那語を覺えて置くことが、日本語學習にも便利であらうと信じ、先づ北京に入つて數ケ月滯在、支那語滿洲語を習ひ、漢字數百を覺え、翌年九月（日本では文久二年八月）初めて横濱に上陸したのであつた。

漢字の記憶は、日本語學習に果して有效であつたさうである。それに別に英漢辭典を所持してゐたのと、異常の勉強によつて、來着後一年餘にして、幕府老中の手紙を英譯するを得、數年の後には、日本外史の一部、近世史略の全部をもほんやくすることが出來たといふ。又習字の師を雇つて、御家流を習ひ、後には唐樣に習つて行つた。外人で草體まで書いたのは全く珍しいとされてゐる。

家は高輪に在つたが、食住共に純日本式とし、男女數人を雇用して、言語、風俗、思想を研究した。旅行した地方も多い。前記鹿兒島、下關を初め、大阪兵庫より箱館、新潟、佐渡、能登、加賀、越前、近江、四國では土佐、徳島でも兩藩主の招待を受けてゐる。人物は當時の人傑西郷、岩倉、井上、伊藤、大隈等と大抵親交若しくは面識あり、時には酒樓に遊び飲んで夜半に至ることもあつたといふから、市井の雜事にも委しかつた。今僕はインキョの身とは晩年まで勿論覺えてゐた言葉であらうし、人が日本語のうまいことを褒めると「おだてともつこには乘りませんよ」と云つたのも事實であらう。曾て柳河春三と靈岸島の鰻屋に上つた時、その談笑の樣子を見て、家人は外人たることを信じなかつたとか。アーネスト、サトウを日本風に、「佐藤愛之助」と名乘つたのなども面白いではないか。

著述論文も頗る多いが、一八八八年出版（明治二十一年）「耶蘇會刊行書類」は、所謂南蠻研究の最初のものだといふから、何れ新村博士等の本には出てゐることであらう。

日本關係の内外の貴書珍籍を集めてゐたが、中にはポルトガル文を挿入した「太平記拔書」の如き天下の奇書もあつた。氏は退職の後、一旦藏書を賣拂つたが、再び蒐集を始めてゐたといふ。この邊圖書館小話の材料として全然方面違ひでは無からう

サトウ氏の日本來任は、前記の如く文久二年公使として再來最後に北京に轉任したのが明治三十三年、在任前後二十八年といふ。（本篇は主として明治文化發祥記念誌による）

漫話
伯父參

汽車は、丹波但馬を過ぎ、今、山陰の水都松江を指してヒタ走りに走つてゐる。車中は溫泉行らしい人々や海水浴通ひの學生達で可成り混んでゐる。澤井眞介は上衣を脫ぎボイルに裏日本の風を含ませながら、刻々展開し行く窓外の景色を飽かず眺めた。

學友であつたし同僚でもある森が暑中休暇を郷里松江に歸省して三日後、約束通り眞介は森の家に招かれての愉快な旅である。

眞介は山陰の旅は初めてゞあり、森の一家では森と森の妹美保子の外は一面識もない。いはんや今度の芝居で富樫左衞門尉の役である苦手の森の伯父とは初めての對面であるは言ふ迄もない。芝居の筋書は…。

森の妹美保子と眞介とは森を通じて信賴と共鳴の戀仲であるが、結婚の話になると如何しても森の伯父が首を横に振る。身寄りとて無い一介の會社員眞介の如きは伯父の眼には美保子との結婚には對照價値はないのだ。伯父は頑として應じん。そこで森の計らひで暑中休暇に眞介を招きそれとなく伯父の注目と眞介の價値を結び付けようとの一芝居となつたのである。

松江に於ける眞介の活躍は正に檜舞臺の名優の觀があつた。森と共に伯父を宍道湖に誘ひ、船を顚覆さして伯父を救ひ、玉造溫泉へドライヴして妙腕伯父の心膽を寒からしめ、美保ケ關で海上雲表の伯耆大山を謳つた麗筆人生、美術、文學、事業、健康に關する該博なる名論卓說等々、悉く伯父をして信賴せしめて仕舞つたのである。

『最後に妙な事を申しますが日本の健康と發展は、蛔蟲驅除が急務です』

『それには常に蛔蟲下しマクニンを服むことよ』

眞介と美保子の手を握つた伯父は、到頭、結婚贊成の旗幟を揭て戻つた。

朝鮮文化の粹を一覽の好チャンス
頗る要領を得た鮮博觀光團員の募集締切り切迫す

朝鮮博、いよいよこの十二日から華々しく開會される目と鼻の間である朝鮮と滿洲、何が何でも一度は見て置かねばならぬ、殊に十日からは空を翔つて三時間餘で達するといふ文明の時代だ、併し飛行機には座席の制限がある急行列車と寢臺車で夜間や土曜、日曜を遣繰なく利用し往復三泊、四日間で歸るといふ最も要領を得た日程、方法で朝鮮文化の粹を一覽し、それを以て大陸開發の礎地を作るといふことは、われわれの義務でもあり權利でもある、この意味で、わが社は最も要領を得た方法として一團體を三十名に限り秋の滿鮮を觀光しつゝ三十五圓の會費で途中の便宜は申すまでもなく、京城における博覽會觀察のプログラムも最も要領を得る上に普通個人の見物客では摑むことの出來ぬいろいろの便宜や特權がある、朝鮮博氣分は鷄林半島から滿洲へまで横溢しつゝある、それに期日も切迫して來た、いざ三十五圓(小人は二十五圓)を以て、この意義ある催しに對し一日も早く申込んで大陸開發の好チャンスを掴まうではないか

第一回觀光團日程

二十六日午前九時大連驛發
廿七日午前九時四十分京城驛着
二十八日午後七時廿分京城驛發
二十九日午後八時三十分大連驛着解散

といふ最も要領を得た日程であるが、京城における二日間は二十七日午前九時四十分着城と同時に自動車にて博覽會場に向ひ會場を一巡し午後六時より自由行動、二十八日午前八時より朝鮮神宮に參拜し午後一時より動物園、植物園および秘苑拜觀といふことになつてゐるが、この秘苑の如き普通は開放せざる李王家の秘苑だけに博覽會の殷賑さを觀覽すると共に拜觀せねばならぬところである

朝鮮に眠り病

【京城特電四日發】慶尚南道馬山府京町山本佐藏(六〇)府外西面海城裡藤野信(四七)の二名は三日午後嗜眠性腦膜炎と決定した

ツエ伯號獨逸に歸還

【フリードリヒスハーフエン四日發電】ツエ伯號はアメリカよりの歸還飛行を終へ四日午前八時五十分誕生地たる當地に無事着陸した

鳴弦の儀 奉仕者決る

【東京四日發電】皇后陛下の御目出度き御出產の日も後一月に迫つたが、皇子御生誕後御七夜の儀の御命名當日の鳴弦の儀奉仕者は久宮の節奉仕した本多正鐵子、大給近孝子、井伊直方子、細川立興子が正と控とを替へて奉仕することゝなつた

勳章事件は更に發展か
徹底的の取調を行ふ

【東京四日發電】勳章疑獄は詐欺事件より一轉して買勳事件に入り遂に堤代議士の召喚となつたが、抑々勳章授與即ち敍勳の場合は內閣側と賞勳局と宮內省側の合議に依るもので非常に愼重に取計らはれる、而して堤清六氏は金三萬圓を單に某前大官(賞勳局關係)に贈つたに止まらず前內閣の某々大官にも金を贈つたものゝ如く、既に之に就いては嶋原氏が詳しく申立てゝ居り更に堤代議士を召喚し金を出して勳章を貰ふ運動をした經緯を取調べたのであるが、氏の申立の結果に依つては更に從來の某大官に止まらず新しき方面の某大官も亦連類者とし檢擧さるゝ模樣である、此の結果は堤代議士の勳三等勳章は買勳事件として政治的にも我が國未曾有の事件となる譯である、司法當局は事件の根元を徹底的に糾彈呑舟の大魚を逃さゞらんとしてゐるから何處迄發展するか逆睹し難き形勢である

堤代議士取調べらる 勳章事件に絡み

【東京四日發電】新潟縣代議士堤清六氏は本日午後二時警視廳刑事に伴はれ東京檢事局に出頭した、右は勳章事件に關係するものとして注目されてゐる、即ち同氏は御大典當時勳三等に敍せられ瑞寶章を授けられたが、これは勳章事件に關し多額の運動費を出したものといはれ贈賄嫌疑を以て取調べてゐるものである

奉天城內居住の邦人追出策
家屋の賃貸を禁止

【奉天特電四日發】最近支那側に於ては城內に於ける邦人の居住を禁止せんとあらゆる手段を弄し家主に對し

家屋賃貸 を妨止し家屋賃貸期間滿了せざるものに對し家賃上げ、家屋賣却を口實とし立退きを强要し大多數は已むなく家賃値上げ、家屋賣却を口實とし立退きを强要し大多數は已むなく家賃値上げに應じ滿期まで賃借することゝなつたが中には道路を擴張するとて改築し法外の家賃を要求せられ已むなく立退いたものもある、右に關し公安局員の語るところに依れば、外國人に對する家屋の賃貸は總て交涉署の承認を要することゝなるが爲め省政府の命により

現在邦人 が借家しをるものに對し家賃の殘存期間及び賃貸契約の調査をすることゝなり目下調査中にて期間滿期のときは絶對に官憲の許可なくして再契約を許さない方針であると

內地に向つて京城をサヨナラ
恙なく昨日蔚山着
フオツカー機の壯快な征空

【蔚山四日特電藤井特派員發】四日午後一時二十五分予は再びフオツカーユニバーザル機に乘じ蔚山に向ふ、此日朝來降雨で出發が延期となるかと心配したが八時頃雨止み美しく拭はれた空は吾等の壯途を迎へて居る、大連より飛來せる今尾大每、秋田電通、西川帝通の諸氏に

挨拶を交す間も 無く回轉し始めたプロペラーの爆音に急がれて機に飛び乘つた國枝操縱士岡本機關士乘込み同乘客は平壤每日の山田氏二人、ドアーを締られたと思ふ間もなく機は既にスルスルと芝生を滑つた「サヨナラ京城」帽を振る吉田支局長の顏がもう見分けつかない、鱗形の民屋が山の狹間に一塊り點存する、蔚山までは殆ど山地の上を飛ぶ靜脈のやうに蜿蜒と青田の連りが山の切目を縫ふて居る、一時四十分水原の上空を過ぎた頃バラバラと雨が窓を叩いた、夕立雨の中を通つたのだ、二分もたゝぬ間にまた太陽のもとに出る

向風を衝いて 高度一千米、機は悠々と些かの不安もない、室內は攝氏二十五度、窓を開けても寒くない、國枝操縱士から「南鮮地帶は雨後で氣流不良です」と書いた紙片を渡されたが其後何事もない、「大田、沃川、永同と山間に瞰見する町が矢繼早に送迎する無性に嬉しくなり窓を開けて東京行進曲を怒鳴つて見たが自分の聲が聞こえない、同乘の山田氏にも判らないのをいゝ氣に足拍子までとつてカフエーにでも行つた氣だ、午後二時三十分朝鮮の箱根ともいふ秋風嶺上空を通過する、峨々たる峻峰雲間に起立する壯絶なる景だ、峠を越したかとみれば機は既に

洛東江を左に 伽耶山の山頂を間近かにすれすれ通過する、ふと下界をみれば一村落の小川のほとり白衣の朝鮮娘が洗濯してゐるのが見える、砧の音は聞こえぬが、とんだ粂仙落ちまいぞと慌てゝ目をふさいだ、平地に出て一寸大きな人家の塊をみる、大邱だ、三時十三分遙か前方雲煙模糊のうち海が見える、その際に點在する人家が早や蔚山だらう、反射鏡を近く寄せたやうに青田の緣が俄に荒目となつたかと思ふとバウンド二つ三つ、午後三時二十五分わがフオツカーユニバーサル機は蔚山飛行場に着陸した

翔程三百三十 キロ、飛行時間二時間、大連より既に一千キロ、山は南鮮の端にある、明日はいよいよ目ざす日本へ「時間は朝鮮時」

對馬海峽突破 福岡へ空の旅
本社特派の藤井記者 きのふ午後汝矣島を離陸

【京城特電四日發】大連京城連絡飛行に成功したわが社特派員の藤井記者は更に對馬海峽突破、福岡に飛び大連における最初の內滿連絡者たるべく四日午後一時二十七分フオツカーユニバーサル機に搭乘して汝矣島飛行場を出發した意氣軒昂颯爽たる武者振りで朝來雨歇み風和やかに絶好の飛行日和であつた

美濃機京城安着

【京城四日發電】大連記者團一行を試乘せしめて四日午前七時三十五分周水子飛行場を出發せる美濃機は同十一時平壤着同地より更に二名の記者を同乘せしめ午後一時三分(朝鮮時間)無事汝矣島飛行場に到着した

青山代議士 警視廳に護送

【金澤四日發電】石川縣選出代議士青山憲三氏は本日突如自宅に於て令狀を執行され直ちに警視廳に護送されたが、中央の某重大事件に關係したものと見られてゐる

電氣列車やら旅大パノラマ
新裝なれる自動車ビルで滿電が電氣展を開く

南滿電氣會社では西通常盤橋畔に三階建の瀟洒たる自動車ビルの落成を見、既に自動車部では去る一日より新事務所に於て營業を開始しつゝあるを機とし、來る十四日より二十三日まで十日間

電氣知識 の普及並に交通事故の防止に資する目的を以て電氣展覽會を開催することゝなり、過般來會場たる同ビル二階三階の設備に忙殺されてゐる、設備品中の主なるものは先づ子供等を喜ばせる電氣玩具、殊に電氣列車の如きは相當に大きなもので社員出張の際態々ドイツから購入してきたものである、次は旅大沿道のパノラマ式の模型でこの廻轉によつて

旅大沿道 を自動車でドライヴする爽快さを味はしめんとするもの、その他電氣器具類の陳列は勿論、學校研究所等より參考品として電送寫眞、トーキー等の出品ある筈である、尚市中側の出品申込みも續々あり、これが直接の係である電燈課では配置に腐心してゐる、場所は未定であるが他の會場に於ては凡ゆる各種の自動車の陳列を行ふ筈である、而して滿電ではこれを記念として記念賣出し即ち即賣を行ふ準備を進めてゐる

家永大尉慘死 飛行機墜落で

【東京四日發電】陸軍省着、明野ヶ原陸軍飛行學校教官航空兵大尉家永一男氏は四日午前十時二十分明野海岸に於て射擊演習中發動機故障の爲め墜落慘死した、尚畏き邊りでは少佐に進級敍位敍勳の御沙汰あらせらるゝ筈である

ミシガン敗る

【東京四日發電】ミシガン六學對早大野球第一回戰は四日午後三時より神宮球場に擧行四對二で早大の勝利に歸した、バツテリー早大高橋、松木、伊丹ミシガン大學モナキウ、マツカフイー、センタニー

四十名近くの博徒を檢擧
女も七八名混れる
小崗子署の大捕物

小崗子警察署では近來日吉町の泰東日報主催の納涼場及び露天市場の納涼場中に賭博が行はれて居るとの噂があつたので內偵してゐたところ、四日夜右納涼場の四ヶ所で「玉轉がし」と稱する賭博を開帳中なることを突止め、午後九時非番四十餘名を召集し支那人に變裝して賭博場を包圍し一網打盡、胴元大塚基を始め女七、八名も混り三十八名を珠數繋ぎとして本署に引致し留置場に打込み徹宵して取調にかゝつたが、取調進行につれて蔓式に檢擧の手が伸びるらしく小崗子署近來の大捕物である

大連醫院看護婦を募集

大連醫院看護婦養成所では昭和四年度秋期生徒を募集中であるが同生徒は二ヶ年間醫院經費で修業し卒業の上は直に看護婦に採用せられ初任日給金一圓五十錢位を支給せらるゝと

宮崎騷擾事件 檢事から控訴

【宮崎四日發電】宮崎女子師範移轉問題に絡まる騷擾事件の判決言渡し後五日目の四日午前宮崎檢事局は川野雄三外七名に對する事件の判決を妥當ならずとして國枝檢事正の名を以て長崎控訴院に控訴の申立をなした、なほ檢事の控訴の概要は川野の實刑を輕しとし又外七名の實刑を要求するものである

大連三業組合 規約改正命令

大連三業組合は組合事務所の不正事件以來すこぶる紛糾したので喜奴多、林家、西園亭など中心になり三十數名の組合員を糾合し改善同志會などを組織し根本的改革を叫んでゐたが、偶々組合規約の改正に際し白川組合長に提出した臨時總會請求の連判建議案が劍もホロヽに一蹴されたので更に輪をかけて紛糾し出し收拾出來ざる亂麻の狀態に陷つたが、傍觀の態度であつた大連署保安係でも之れを見兼ねて四日午後白川、田中の正副組合長を呼び出し組合規約の改正は組合員相互の利害關係に密接の關係あればと云ふ理由の許に玆一週間內に臨時總會を開き規約改正に就き協議せよと命ずる處あつた

マニラ地方に颱風

【マニラ四日發電】昨朝來本島一帶を襲ふた颱風は可なり廣範圍に亘り損害を及ぼし各地通信機關は依然杜絶の狀態にある、アパカに於ては椰子其の他の作物荒廢に歸し住家の破壞數百に上り負傷者も相當にあるがマニラは幸ひ颱風の中心から免れた

時計密輸事件 第二段の活動

時計密輸事件に關し大連署では從野、坂元兩監視と共に極秘裡に活動を開始してゐるが、四日午後は手に入つた大阪谷本群三商會差出し大連磐城町竹岡水晶堂宛の書面により小林巡査は星司法主任の命に基き右竹岡弘澄(三〇)を召喚し嚴重取調る處あつた、その結果は未だ秘密になつてゐるが、竹岡はその情を知らざるものゝ如く極力否認した模樣で或ひは之れに依つて更に第三段の活動に入る樣子である

子供婦人服研究會

大連聖公會婦人會主催の子供婦人服研究會は今回斯界の權威者林牛九氏を聘し每週木曜日午後一時より同四時まで大連聖公會ホールにて開催、實際的高等なる知識技能を徹底的に教授すると共に洋服に關する相談にも應ずべく會員は三十名を限り講習期間中も隨時入學を許すと

街路上で頓死

四日午後四時半監部通二四番元露亞銀行の前通りに於て通行中の五十歲位の支那人が俄に苦悶を始め路上に打倒れ吐血したのでスワ自殺と忽ち大騷ぎとなつたが、本署から係員出張取調の結果脚氣衝心の爲めと判明手當を加へたが五時十分遂に死亡した、同人は山東省登州府榮城縣生れで龍光丸のボーイとして働いて居たが、一月餘り前上陸し目下住所不定のものであると死體は宏濟善堂に引渡した

支那人の縊死

四日午後六時頃日出町番外築港工事場工場の土場上方五十米許りの地點のアカシヤの木に綱を吊して首を縊つて居る支那人あるを通行人が發見山手町派出所に屆出たので、係員出張檢死したが身元は判明せず

訂正

九月五日付夕刊二面所載の「近ごろ珍らしい二大事件の公判日決る」の記事中、水產不正事件關係のうちに川上豐三とあるは川上覺三の誤植につき玆に訂正す

けふのラヂオ

昭和四年九月五日(木曜日)

自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後零時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニユース
自午後三時三十分 相場(錢鈔、株式、各地相場)ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、支那語講座 實用支那語會話 滿鐵興務課 秩父固太郎
三、俗謠(イ)米山甚句、(ロ)安來節 唄梅の家千兩、三味線上田ハル子
四、長唄 浦島 唄岡田夫人、三味線中村愛子
五、地唄 こすのと 三味線大島政子、尺八辻泰正
六、支那唱 四郎探母 唱常桂花 節付王振泉
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

太田新長官の大連訪問

太田關東長官は四日中谷警務局長心得以下數氏を伴ひ大連神社及忠靈塔に參拜し尙民政署、市役所、各國領事館の各方面を歴訪した、次に中谷警務局長心得も各警察署初め各方面に新任挨拶するところがあつた

愛慾の窓（91）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

暗翳（四）

倭文子が振向くと、思ひがけなくもそこには草野久彦が佇んでゐるのだつた。

「あら……！」

彼女は嬉しさにおぼえず短く喘ぶと、にっこりと微笑んだが、直ぐ顔を赧らめてうつむいてしまつた。地獄に佛といふ氣がしたと同時に、極りの惡さに顔が火照つたのである。

「……何うかなすつたのですか？友永君と御一緒ぢやアなかつたのですか？」

と、久彦はまた訊ねた。

「は、わたくし一人で……一寸買物に出て來たので御座いますの」

と、倭文子は低い聲で答へた。

そして一寸の間、そこで言葉を途切らせたが

「……お恥しい話ですけれど……財布を掏られてしまひまして……實はどうしようかと途方に暮れてゐたところで御座いますの」

といふ。

「……そりやあ飛んだ災難でしたね、早速係の人にお屆けになつた方がいゝ」

久彦は眉をひそめて云つたが、彼の顔色はいつもながらあまりすぐれない。何か心にぢりぢりしてゐることでもあるらしく、神經的に眉をひそめ、唇をひきつらせてゐる。

「いゝえ、いくらも入つてゐるわけでもありませんから……それにいろんなこと訊かれるのも厭で御座いますから」

と、倭文子は久彦の言葉を打消して、恥かしさうに微笑んだ。彼女の氣持も、おちついて來た。

「さうですか、それもさうですね、で、何うなさいますか？お歸りになりますか、それともお買物をなさらなければならないのですか？お買物によつては、僕のポケットマネイで間に……合はんかな？はゝゝゝゝ」

と久彦ははじめて笑聲を立てた

「いえ、よろしいんで御座いますの……また出なほしませう」

倭文子も笑つた。

そこで彼等は冷たい飲料を啜ると、出口へぬけて、タキシを拾つた。

「……帝國ホテルまで」

久彦は運轉手に命じた。

「ほんとうに思ひがけないところでお目にかゝれて、わたくし、大助かりで御座いますわ、もしあなたにお目にかゝれませんでしたらわたくしお金はなし、何うしたらよろしかつたでせう……」

柔かい自動車の褥席に、少し間隔をおいて腰をおろしながら、倭文子は述懐するのだつた。

「ほんとうに好い偶然でしたね、僕もあすこであなたをお見掛けしようとは思つてもゐませんでした……」

「……兄もどんなに有り難く思ふか知れませんわ」

「いや、そんなに仰有られると、恐縮ですよ……」

久彦は倭文子の顔から眼を外さうと努めつゞけてゐた。にもかゝはらず、抗ひがたい魅力で惹かれるやうに、視線はひとりでに彼女の横顔へ向くのだ。うつむき加減の、つゝましやかな端麗なその横顔！久彦はまたしてもそこにまざまざと亡き想ひ人の生ける幻影を見るのであつた。

似てゐるとかゐないとか、そんな言葉はもう役には立たないやうな氣がした。亡き綱子その人が、再び現身の姿をかりて、倭文子となつて現れて來たとより他は思へない。だが、今はかうして一つ自動車のなかで言葉交へることも出來るが、間もなく小森英輔に嫁いでしまつて……自分とはおそらく路傍の人以上に疎々しい間柄となつてしまふのだ。

「……倭文子さん！」

と、久彦は思ひ切つて、しかし躊躇さうに呼びかけた。

「……何で御座いますの？」

邪氣なげに此方へ向く二つの眸の、長い睫毛の羞かしげな瞬きにすら、久彦は綱子の幻影を見出さずにはゐられない。

「御結婚のお日取りも、もうおきまりですか？」

彼は上釣つた聲で訊ねた。

「は……もう十日ありますか知ら？」

倭文子は答へたが、その顔にはありありと苦痛の色が現れてゐるのだつた。

川柳九月課題

九月十日〆切　「盲」　島原　銈足選

九月十日〆切　「浮　洗」　丸角卯木人選

△一題五句限り三光薄賞を呈す

滿日社文藝係

新刊紹介

▲音樂世界（九月號）東京神田小川町四一其社發行（定價四十錢）

▲大乘（九月號）京都市外伏見三夜莊其社發行（定價四十五錢）

▲資生堂月報（九月號）東京京橋出雲町資生堂發行（定價五錢）

▲印刷雜誌（八月號）東京牛込矢來町三一其社發行（定價四十五錢）

▲商業世界（九月號）東京日本橋小傳馬町一の三其社發行（定價三十五錢）

▲日課協會報告（第四十八號）内容は ソ聯邦の都市公益事業利潤計算其他東京內幸町一ノ三日課協會發行

▲心靈と人生（九月號）横濱市鶴見區東寺谷一六〇一心靈科學研究會發行（定價二十錢）

▲雄邦日本（九月號）東京市麻布區田島町雄邦日本協會發行（定價二十錢）

▲交通講演集（第一輯）東京市丸ノ內郵船ビル帝國運送協會內日本交通協會發行

▲教育時論（千五百九十一號）東京麹町三番地六三開發社發行（定價十八錢）

▲海友（九月號）海務協會發行

▲麻雀春秋（名人手合せ號）東京日本橋本小田原町文藝春秋社出版部發行（定價三十錢）

▲社會研究（九月號）大連市松山臺滿洲社會事業研究會發行（定價六十錢）

▲東亞（九月號）東京麹町丸の內二の二東亞經濟調査局發行（定價二十錢）

▲農業世界（九月號）東京日本橋本石町三丁目博文館發行（定價四十錢）

▲經營の實際（九月號）東京神田表猿樂町二南光社發行（定價五十錢）

▲エヤープレン、レタチュア、ブック（第二卷）內容は飛行機構造學發動機學飛行機操縱術アクシデント航空氣象學飛行機設計學飛行機製作術航空史の各部門に亘る講義錄である、東京府下蒲田日本飛行學校發行

▲血は麗らかに躍る（新納元夫著）著者が祖先鎮西の良將新納武藏守忠元を中心に西陲の一角に捲き起つた風雲を譜にしたものである（東京市赤坂內原宿拓社出版部內東洋史談刊行會發行、（定價二圓三十錢）

▲生活體系の考察（諏訪二敎著）人間苦の解決に次ぐ新著で生活思想、人生、宗教問題を論じてゐる（東京府下大井町生者協會出版部定價二圓）

夕刊 滿洲日報 九月四日
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

合理的軍縮に對しては日本は誠意を盡し賛同
きのふ聯盟總會席上に於ける安達日本代表の演說

【ジュネーヴ三日發電】本日の聯盟總會に於てマツク英首相の大演說の後を受けて日本代表安達大使は海軍々縮に關する日本の立場其他につき左の如く演說した

海軍々縮を論ずるに當つては各國の地理的位置を考慮に入れなければならぬ、又各國の國防上に於ける各特別の要求をも見逃してはならぬ、英、米間の軍縮交涉は世界平和のため喜ぶべきで其交涉が進捗したとて他國間に何等悲觀の念を生ぜしめる原因となるはずはない、何となれば各國とも現在、將來に亘り平和保持と促進の責任を有するからである、予は軍縮の希望に對しては全幅の賛同を惜しまぬものであるが、軍縮は當然世界一般の狀勢と共に各國の國防上に於ける特殊要求を考慮した上公正なる合理的に解決せねばならぬ、本問題の世界的協定は各國の完全なる諒解なくしては出來るものでない、日本は合理的の軍縮には全力を擧げ絕對的誠意を盡して協同する用意がある

不戰條約と調和のため聯盟規約を修正
英代表より提議せん

【ジュネーブ三日發電】國際聯盟總會英國代表は本日左の如き意思ある事を明かにした

即ち國際聯盟規約第十三條と第十五條を不戰條約と調和せしめ以て國際聯盟加入國としての義務と不戰條約調印國としての義務の間に在る間隙を埋むる目的を以て其二ヶ條の修正を聯盟總會の議にかけ樣とするものである

露支問題を提出
支那代表が國際聯盟に

【北平四日發電】支那側報道に依れば外交部は國際聯盟總會に出席のためジユネーヴに赴ける伍朝樞、蔣作賓氏等に對し聯盟總會第三日に露支問題を提出し支那は不戰條約に基いて極東平和維持の誠意を有する旨聲明し今次事件の眞相を報告して國際間の諒解を求めよと電命したと

支那代表露支問題を演說

【ジュネーヴ三日發電】國際聯盟總會本日閉會と共に第三日目は四日午前十時三十分開會の事となつた、其際支那代表伍朝樞氏は支那とソウエートロシアとの葛藤に關し演說するであらうと期待されてゐる

露支關係好轉說を勞農側では否定
支那側の宣傳に過ぎぬとて

【モスクワ三日發電】目下ベルリン其他の地點にて露支兩國間の交涉が進行中だとの報頻々として當地に達するが、右につきロシヤ外務省は斷然其報道を否定しロシア政府は目下南京政府より提議し來つた露支共同宣言案文に對するリトヴイノフ氏の修正案に對する南京政府の回答を待ちつゝあるに過ぎない旨を述べてゐる、而して當地政界では前記の虛報の出處は支那官邊ならんと信じてゐる

勞農機の示威飛行
滿洲里方面で

【滿洲里三日發電】三日午前十一時ロシア飛行機一臺滿洲里の上空に飛來し支那軍司令部及び停車場の上を低空旋回飛行して二十分にして引揚げた、市民は之に驚き騷擾したが支那軍は發砲せず[illegible]司令は直に此旨を奉天に打電し飛行隊の來援を依賴した

東鐵ホテルを支人經營に

【ハルビン特電四日發】東鐵經營委任のグランドホテルはマシエフスキーのソウエートロシア人が支配人であつたところ、東鐵事件の發生でマ氏が勞農領事當時宿泊旅客の行動を內報してゐたとの理由で支那側は今回北京より支那人を招き委任經營に改めしめることになつたホテルにまで支那側の勢力が入つたわけである

寫眞說明 (上)大平副總裁 (下)同副總裁(×印)上陸する所

哈市國民黨部大會
猛烈に反露氣勢を揚ぐ

【ハルビン特電四日發】特別區第一中學校にて國民黨部大會を二日午後四時から開催し對露問題につき協議討論の結果

一、本大會の決議を國民政府に通告し、ソウエートからの平和交涉があればロシアの侵略せる土地を返還せしめ賠償金を要求したる後交涉に應ずること
一、本黨員は各會と連絡し反ロシア大會の組織、義捐金募集、軍隊の慰問、救濟、宣傳等の合作を行ふ
一、東北當局に進言して在哈の赤系分子を直ちに勾禁し東鐵を回收する
一、當局に對し市價の平靜を保ち貧民の救濟、不良分子を防遏すること
一、警查隊を組織しソウエートの不良分子の破壞運動を調查し極力勞農の治安擾亂の陰謀を防ぐこと
一、ハルビン中國國民黨執行委員會を組織し、對露問題に關し五名の委員を選任し、今後一切の交涉決議事項を實現すること

等を可決し、八時半ごろ打倒赤色帝國主義を高唱し萬歲を唱へ散會した

得難い總裁の下で重任を果したい
社員相互の一致協力により
大平副總裁在連社員に挨拶

大平副總裁の在連社員に對する就任挨拶は四日午前十一時より協和會館に於いて行はれたが定刻前會館は階上階下共立錐の餘地なき迄に新副總裁の言葉を聽かんとする社員を以て埋められ重役側より藤根、田邊、神鞭、小日山の各理事列席、木村人事課長の案內で登壇した、大平副總裁は約十五分間に亘り大要左の如き就任挨拶を爲した、社員側では技術委員長貝瀨謹吾氏在連社員を代表して簡單に左の如き新副總裁歡迎の辭を述ぶる所あり熱烈な社員の拍手裡に十一時廿五分散會した

挨拶の要旨

御挨拶申上ます、私は暫らく振りに諸君とお目にかゝり再び私が副總裁として諸君と仕事をして行く事の出來るのを心から喜ぶものであります、諸君が彌々御健勝にして社運益々隆盛なることは國家の爲めまことに欣快に堪へないのであります更に一時は御病氣の爲めお案じ申上げてゐた仙石總裁の御容體は其後非常に御良好で日ならずしてその御來任を見るべく是亦御同慶に堪へぬ次第であります、實は私の諸君に對する訓示は總裁の來任を待つて同時に致したい心組みで居りましたのでありますが折角斯くの如くお集まりを願つたのでありますからほんの顏合せの意味に於いて唯一言申述べたいと思ひます

仙石總裁 は實に立派な方でありまして其人格、手腕、識見、閱歷に於てまことに得難き滿鐵總裁として間然する所なき人物であると信ずるのであります、先には副社長として諸君と一緒に仕事を爲し今また斯かる總裁の下に副總裁として働くことは私にとつても非常に愉快であると共に一般社員諸君に於かれても斯かる總裁の下に一意社業にいそしむことは恐らく大なる悅びであると共に幸福であり私達は所謂大船に乘つた氣で鐵力協心して邦家の爲めに貢獻し得ると信ずるのであります、愚鈍なる私は最初副總裁として參ることを幾度か辭退致したのでありますが遂に聽き容れられず

此重任に 就いたのでありまして、今後は只管自ら求むること無く心を虛しうして總裁の有つ手腕大技倆を充分に伸ばさしめることを助くるのが自分の使命であると信じますが故に先年在任當時と同樣諸君の厚き同情と理解により此重大任務を果さして貰ひたいのであります副總裁たる私の主要任務と致しましては總裁と諸君の間に介在して所謂上意下達、遺憾なき連絡疏通を圖るにあると考へまして充分努力する積りでありますが諸君に於ても何卒今後は遠慮なく

腹藏なく 私達意見を申出られたいと思ふのでおります終りに臨んで諸君と再會の機を得たことを心から祝福すると同時に將來に於ける諸君の充分なる御援助を祈つて御挨拶と致します

社員代表答辭

僭越乍ら社員諸君を代表して御挨拶申上ます、今日大平新副總裁を以前より一層元氣なお顏でお迎へすることの出來たことは吾等社員にとり如何許り嬉しいか知れぬことでありまして、謂はゞ二年餘り慈母の傍から離れてゐた吾々が再び母の里歸りによりなつかしき溫容に接した思ひでありまして斯かる事はくど〳〵しく儀禮的に申述べる可く餘りに嬉しく懷しい事であります、且つ又滿洲に理解を有ち精通せらるゝ副總裁を再びお迎へ申上げることが出來ましたことは會社の爲め國家のため大慶ばしいことに存じます、新副總裁のお言葉の通り社員一同協力一致して奮鬪致しますことをお誓ひ申上ると同時に豫定の如き本日の御來任を衷心よりお慶び申上げて切に今後の御鞭撻御指導を乞ひ無雜乍ら新副總裁歡迎の辭と致します

荻川放談 (89)
禁出穀

本年は不作とあつて、もう滿洲の或地方では、禁出穀令を出したとか、赤峰では、國民政府から東北四省の官憲宛に、此禁出穀を命じて來たとも云ふ、東北四省の生命は穀類である、若之が國外に輸出されなかつたら、第一に苦むは官憲で、たゞさえ財政難に陷つてゐるのに、これですつかり財源を枯渇して仕舞ふ民衆とて金融の途を塞がれて生計に脅威を受くるは勿論のこと、殊に其禁出穀が時局關係から軍糧を得んが爲なりとの說が眞ならば、愈々以て民衆の惱みは大なるべし。

◇

東北四省の官憲が、軍糧を民間に求めんには、他に資金はない、勢ひ不換紙幣の濫發を以てせねばならぬ、現在すでに反古紙と等しき程度まで、此不換紙幣が其價格を低下し居るは、濫發の結果に外ならぬに、若し是以上に濫發とあつては、反古紙にも價格はあるが、該紙幣は全く價格を無くすることになるべし、尤も支那官憲のことである、此無價格紙幣に强制價格を附して無理に軍糧の調辦をなすかも知れぬ、勿論其外の政費にも充つる、而して官吏俸給の二割減が風聞通り實現せば騷動じや。

◇

傳えらるゝところでは、どうやら露國との葛藤も妥協に入つたらしい、妥協をするがよい、前に書いたようなことをやられては、民衆が迷惑するのみか、現在の東北四省官憲の地位が危ふくもなる、眞逆に之を危ふくせんと、國民政府が禁出穀を命令した譯でもなからうが、近頃はだん〳〵と國民政府の手が東北四省に及び、涉外交通にさては財務までが其手に渡らんし、兵權だけは喰止め得たようだが、東北四省官憲が之を有するだけに、露國との妥協を見越し得なから、國境警備に犬馬の勞を負はさるゝ感がする。

◇

而も此の犬馬の勞を負はせながら、充分な經費はくれず、くれても東北四省から國民政府に納むべき國稅がそれなのだとあつては、名のみで實はない、そがうえに譯も判らぬで、縱へば禁出穀なんかゞを指圖されては、革命統一々々と謳歌する東北四省官憲は吾が地位なんかを捨てゝもそれが善いと云ふかも知れぬがそれじや東北四省が立つて行かぬ、哀れなるは其處の民衆である、況んや此禁出穀が表面に軍糧の調辦を裝ひ、裏面にはそれが官憲の買占めとなつて、彼等の私腹を肥やすことにもなる憂ひあるに於てをやではないか。

再任の感じ
我家に歸つた樣
感慨深き大平副總裁

滿洲には馴染深い大平駒槌氏、氏が仙石總裁の下で好い女房役として來滿すると傳へられた時、滿鐵人は云はずもがな在滿幾多の同胞は此報に欣んだものだ、四日入港のはるびん丸、めつきり秋めいた海面を滑り込むと、懷しげな大平氏の顏が甲板上に浮ぶ、沖まで迎えた木村人事課長、藤井秘書役其他滿鐵幹部との間で帽子が振られ「久方ぶりです」「御氣嫌よう」の挨拶が小蒸汽との間で交されるはるびん丸サロンに落ちついた大平氏は記者團への最初の言葉として

皆から肥つたとか若返つたとか云はれるが結局浪人生活の有難味だらうよ、まあ今からして歸つて來た感じ、さうだね

我家に歸 つた樣な至極なつかしい氣持で、その意味でむしろ京都に歸つた時などより落ついた感じだ、仙石總裁の病氣か、私も心配してゐるがまあ暑氣中りと云つた程度のものぢやなからうか、永い間野にあつた人が急に多忙な椅子についたのだから、だが電報によると大した事はなささうだから安心してゐる、何れ仕事をするにしても仙石總裁の來連後だが、總裁の來滿期はまづ此分だと廿日過ぎにならうね、兎に角仙石氏を滿鐵總裁にもつて來た濱口首相も偉いが滿鐵としても隨分偉物を頭に頂いたと云ふものだ、何と云つても仙石さんは

元老格で 絕對政黨人は寄せつけない自信を持つてゐるから、大臣連中でも一寸手が出せない樣な狀態である、自分と仙石さんとの緣は實に異なもので昨秋御大典の際伊澤、上山兩氏等と一緒に京都の自分の宅で一泊した位で深い交際と云ふものはなかつたのである、だから恐らく今度も私の話が出たとしても全然未知の間であつたら自分を副總裁に推すなんて事はなかつたと思つてゐる、最初から總裁も云はれた事だが自分等は今度仕事をする上に總裁は總裁の、副總裁は副總裁の、理事は理事の仕事をすれば良いと思つてゐる、自分は安廣さんの折は

緊縮整理 の方針でやつたが今度は仙石さんの女房役として安廣氏の折とは違つた態度で行くかも知れない、だがなんと云つても仙石さんは老體だから一日十五里步く所を十里しか行けないといふ場合、五里の間け事となつて私が之を助けて行くと云つた氣持を常に持つてゐる、山本前總裁の昭和製鋼、硫安會社、それにオイルセール事業の三大事業中、オイルセール事業は安廣氏の繼續事業だから言及しないが、製鋼及び硫安會社は專門家の意見をよく徵して採算がとれればやる意嚮らしかつた特に判然としておきたい事は絕對

政黨人を 排すると云ふ立場から仙石總裁が强い信念の下に來られる事でその意味から不要な人事の異動はないと信じる、だが自分から辭められる方に對しては之を止めやうとはしないつもりだ

偖副總裁は滿埠と共に出迎へた理事、部課長連を初め社員一同に取卷かれ身動きすら出來ない程の歡迎裡に自動車を驅つて本社へ向つた

大平副總裁が部所長招待

大平副總裁は四日午後四時からヤマトホテルに於ける太田關東長官の招宴に臨んだ後七時から滿洲館に於て滿鐵の各部所長以上二十餘名を招待すると

勞農北極圈に無電局設置

【モスクワ三日發電】勞農は近來頻りに其北極圈の無電化を圖りつゝあるがフランツ、ヨセフ島には既に無電局並に氣象臺を設置して活動してゐるが目下更にウランゲル島にも無電局を設置中である

奉天軍駐屯の家屋檢分

【ハルビン特電四日發】奉天第二軍長王樹常氏は三日ハルビンに到着し軍隊の駐屯家屋を檢分した

電信特殊有技者檢定試驗

大連遞信局では第三十一回電信特殊有技者檢定試驗を來る五十日大連、旅順、奉天及び長春の各郵便局にて同十六日撫順及安東縣郵便局で執行することゝなつたが試驗科目は鐵孔、現波受信、タイプライター受信、鍵盤鐵孔及外國語等であると

仙石總裁容體

【東京四日發電】仙石滿鐵總裁の四日午前六時の容體左の如し

體溫三十六度五、脈搏六十二、呼吸二十、食事牛乳、オバルチン百グラム攝取

人事

▲大平駒槌氏(滿鐵副總裁) 四日入港はるびん丸にて來連
▲林顯藏氏(滿鐵社員) 同上
▲岡新六氏(滿鐵囑託) 同上
▲穗積哲三氏(滿鐵社員) 同上
▲古泉光男氏(同) 同上
▲吉川郁平氏(陸軍步兵中佐) 同上
▲甯榮錦氏(ニコライフスク駐在支那領事) 同上

大觀小觀

◇

大平滿鐵副總裁、前任當時そのまゝのニコ〳〵顏にて今日、着任

◇

滿蒙の山海は依然たるも、支那の時局は一變また一變、東三省の五色旗は東北四省の青天白日旗となつた。

◇

而して支那民族、といつたところで一部の若い國民黨員や學生ぐらゐのものであるが、とにかく國民革命への空想に憂身をやつしてゐる。

◇

そこに革命支那の危險であり、滿蒙のアンステーブルがある。

◇

然り而して滿蒙は、何といふても日支の利害の洽融を期せねばならぬ舞臺である。

◇

われ〳〵は仙石新滿鐵總裁の經綸と、今朝着任の大平副總裁の手腕に信賴するところのものが甚大であるのである。

◇

そのニコ〳〵顏を以て日支の洽融による滿蒙の開發に邁進せられんことを望むや切である。

◇

風もなく二百十日の晴れ渡る。

天氣豫報

(五日)晴れ一時曇り北西の風
日出五、三四 日入六、二〇
滿潮前一一、二〇 後一一、三五
干潮午前五、〇 午後五、四五

市役所の職制改正
課長を廢して主任制採用
事務簡捷を圖り經費を節減

懸案の大連市役所職制改正は既に三部制採用に內定してゐたが、其後新任の細谷助役を加へ十分案を練つた結果、今回左の如く內定し愈々一兩日中に發表することゝなつた、即ち現在の課長を全廢して

主任制を (主任は主事とす)採用し、通常事務は主任の裁斷に委せ、重要なる事務に限り之を市長、助役に統轄せしむることにより簡明敏活に事務の大綱を握ると共に一面經費の節約を圖らんとするものである、此結果庶務、財務、會計、衞生、學務、社會の六係並に新に設置する調查係(差當り三名を置く豫定)の七係となり、此のうち庶務、學務、社會の各主任並に係長は細谷助役自ら兼任し會計並に財務主任は前課長留任することゝなり、衞生主任は近く銓衡決定の筈で自然前二課長は

勇退を見 ることゝなつた右の內新設の調查係は現在の市事業の改善方法や將來の計畫を樹立し大に之が基礎的調查研究に當らしめんとするものである、之を要するに今次の改正は調查係を新設する以外は各課の名稱が變更されるだけであるが實質的には課長廢止により經費節減と事務の能率化を實現するもので當局の意義ある英斷と謂ひ得やう

今月中人事異動
職制の改正に伴つて

以上は今回內決を見たる職制改正の內容であるが此職制確立に伴ひ各係吏員の異動が行はれることは當然で確聞する所によれば成るべく早急に晩くとも今月中には略左の如き異動が行はれるであらう

即ち現在の財務課の營繕係三名は冗員の嫌ひがあるから一名として新に日本人大工一名を入れ(現在は左官大工各支那人一名)建築設計や監督上技術者の必要ある場合は臨時囑託することにしたい、衞生課に現在四人の缺員あるのも補充の必要なく倘新主任は舊町の作業所に駐在して作業事務を督勵し現在の主任は辭せしむべきである、學務課も豫算作成上の事務丈だから一名でよい、倘社會課及び會計課に於ても相當減員の餘地あり殊に市營質屋の如き現在三名ゐるが一名で事足りるであらう

以上の方針は決定案に近きものであつて自然相當數の馘首は免れ難い狀勢にあるが、一面所外より數名新任者を迎へ各吏員を適材適所に配置し以て從來極度にダレ切つてゐた所內の空氣を一新して事務の經濟化能率化を企圖してゐるのも既定の事實である

×—初秋の郊外—×

時計密輸發覺か
大連郵便局から小包二箱
けふ俄に大連署活動して押收す

時計密輸事件は神戸税關と大連署が相呼應しなほ捜査續行中であるが、四日入港のはるびん丸で再び神戸税關より監視笹野龍之および門司税關より監視坂元直の兩氏來連し大連署星司法主任と約一時間に亘り密議を遂げ俄に活動を開始大連郵便局に到り聖徳街松浦進郎宛郵送し　來てゐる小包二箱を押收して正午過ぎ引揚げた、箱は木製のもので時計なれば一箱二百個位詰められる容積であり、內容不明であるも箱の重量より推して價格約三千圓位の時計である事は略想像出來る、尙笹野、坂元兩監視は磐城町竹岡水昌堂宛大阪谷本群三商會出しの書面などを攫げ星司法主任と更に密議を遂げたがまだ埠頭保税倉庫にも澤山積まれてあるらしく大連署刑事連　は直ちに活動を開始した、本事件は既報のものとは全然別系統であるらしく笹野、坂元兩監視は交々語る

一箱の內容は何品であるか蓋をとらないので判らぬが、大體時計であるらしい、神戸に行つて檢査したら判るがソレ迄は蓋を取る譯に行かぬ、系統もいま捜査してゐるものとは別かも知れない

未だ開けぬ箱の謎

田邊教授が繪行脚

東京美術學校教授田邊至氏はツーリストビユーロー大連支部の招待で三日朝來連ヤマトホテルに投宿したが氏は暫く北滿地方を繪行脚をなす由

春日町に滿電が待避線新設

大連電鐵の常盤橋春日町間線路は野球その他の催しがある場合一時に乘客が雜沓するため臨時增車を必要とする場合が多いが、現在は多數の臨時車を收容する場所がなく輸送の圓滑を圖る上に遺憾の點があるといふので、今回滿電では春日小學校前に待避線を新設し改善を圖ることゝなり曩に許可の申請を提出したので目下遞信局、土木課出張所、警察署等にて調査中である

滿洲硬球選手權大會
十五日から開催に變更

來る八日開催の豫定であつた滿洲體育協會主催滿洲硬球選手權大會は新に大連各俱樂部の後援を得べテラン（O・B）メンスの二部に分ち十五日より擧行される事となつた、諸規定次の如し

一、ベテラン——シングルス、ダブルス（三十五歳以上）
一、メンス——シングルス、ダブルス
一、期日——九月十五日より向ふ一週間
一、申込料——シングルス、ダブルス共に四圓
一、申込締切——九月十日
一、場所——大連詳細は九月十二日決定の筈
一、役員演出（三井）ラングドン（大連俱樂部）小野（郵船）片岡（正金）太田（東拓）日高（大商船）矢作（税關）山內（滿鐵庭球部）括弧內は俱樂部名

尙大連俱樂部及び山本、體育堂の兩運動具店より優勝カップの寄贈があつたほか當日は外國人も相當に參加するとの事だからベテラン組等に於ては愉快な國際マッチが見られるであらう

福知山聯隊區軍隊慰問團來る
けふはるびん丸にて

福知山聯隊區軍隊慰問團は在鄕軍人及び新聞記者によつて組織された福知山聯隊區司令部步兵中佐吉川郁辛氏を團長として海山遠くへだてた滿蒙の第一線に立つ京都十六師團の精鋭を親く見舞はんとするものであるが四日入港のはるびん丸で來連した、上陸と共に埠頭の見學を終え午後三時の便船で直ちに柳樹屯に向つたが約二週間で奧地にある各部隊を慰らふものであると（寫眞は一行）

外來チームとの對抗野球戰後記
【下】

第一　試合數

試合が多すぎた様だ、しかも滿倶の如きは都市大會にも出場しあれだけ盛澤山のゲームを二ヶ月半の間につきつけられて良くも辛棒をして戰へたものだと今更その勇氣に感服せざるを得ない、あれでシーズン中を緊張しつゞけて戰へといふのは言ふ方が無理だ、人間の力には限りがある、スポーツマンスピリットの何たるかを考へ、そしてまた眞の野球技の發達を思ひ筆者は選手諸君のために、また大連球界のためにゲームがもつと少くあつてくれる事を切望する、勿論總ての外來チームが先方の費用持ちで來襲するのなら致し方ないその時は或時には國際なり、滿電なり、消費組合なりと試合をさせるのではなからうか、種々なる面倒な事情で勿論理想の實現は困難ではあらうけれど當局者の熟考を切望する、試合過多から選手の氣持に緩みを起しその氣持のまゝで試合をさせる事は選手そのものを知らずく〵の間に運動精神から遠ざけはしないだらうかと言ふ事を最も恐れるのである。

第二　審判

審判の上手下手をとやかくいふのではないが一つの投球に對して或人はこれをボールと考へ、或人はこれをストライクと考へる事は當然あり得ることである、そうである場合には審判の癖を知つてゐる投手は非常に有利な條件を與へられる事となる、その他主、副審とのの圓滑な連絡のためにも（其の人が實業、滿倶或ひは其他のチームに席があつても好いから）專門的に審判の衝に當る適當な人數を指定してそれ等の人々だけで研究をし、それ〴〵の限界に就いて一定の意見を定めるやうにしたならばかうした弊害も今後大いに救はれる樣になるのではあるまいか。

第三　野次

勿論審判員も人である以上誤審の起るのはあり勝ちの事で、これに一々猛烈な彌次をあびせることは餘り無恩慮であり、また選手個々のプレーに就いても時にこれを罵倒するのは最も愼まねばならぬ事だと思ふ、しかもこれ等の野次を飛ばす人は極めて小數のファンであり、それ等のために吾々のスポーツの神聖が害される事は實に遺憾の極みである（一記者）

通遼方面のペスト患者
次第に增える

【長春特電三日發】通遼附近におけるペスト狀況調査のため同方面に出張中の坂元長春細菌檢査所主任は二日歸長したが氏は語る

通遼方面のペストはその後特に

支那軍隊防寒の準備に惱む
東鐵西部線水害のために
滿洲里との連絡拒絕

【ハルビン特電四日發】連日の降雨のため東鐵西部線海拉爾から雅克石、博克圖間は大洪水で鐵道線路に浸水し既報の如く列車の運行を中止するに至り、目下復舊に努めつゝあるが水の捌け場がないので困つてゐる、北滿は既に冷氣加はり支那軍隊は防寒具の準備で惱まされてゐる、この水害のため滿洲里との連絡杜絕して軍隊は立往生の態で戰鬪どころではない

猖獗を極めてゐるといふ程でもないが最近次第に增加しつゝある、この程錢家店から邦里二里許りの地點である祭爾罕に二名の新患者が發生した由であるが、同地は蒙古王の領地であるために調査員を派遣することが出來ない、支那側でもやつきとなつてゐるが手が入らないので密偵の手で調査するより仕方がない、滿鐵では四平街及び鄭家屯で情報を蒐集してゐるが今のところそれ以上策の施しやうがない、然し一歩四洮線の沿線にでも侵入すれば日支協力して直ちに撲滅するつもりである

ツエ伯號
歸獨を急ぐ

スペイン通過【スペイン三日發電】ツエ伯號は本日午後九時十五分當地上空を通過した

大歡迎の準備【フリードリヒスハーウエン三日發電】ツエ伯號は四日午前四時當地に歸着すべく期待され居り當市民はその世界一周飛行の成功を祝すべく熱狂的歡迎をなす手筈中である

カフエーの女給が聯盟を組織の計畫
酌婦上りの女給不許可の通知に
青年聯盟突ッ込む

カフエー女給の風紀問題から今更ながら驚いた大連署では、その原因が多く酌婦上りの女給にあると斷定し今後出願する酌婦上りの女を許可しない方針を執り四日組合側に通知したが、此事實を聞知した青年聯盟の森永德治氏は早速署に原田保安主任を訪ひ

風紀を紊すのは酌婦上りの女給ばかりではあるまい、素人娘の女給でも隨分風紀を紊してゐるソレを酌婦上りの女にのみ責を負はして斯る方針を執るのは人類愛を沒却した片手落の處置ではあるまいか

と鋭く突つ込む處あり、一方女給側では三百五十名の同志に檄を飛ばし之れを動機として女給聯盟を組織し相互の親睦と品性の陶冶を圖るべく計畫中である

醉拂ひ保護さる
大連

對島町四二滿鐵列車區車掌萩原光雄（二）と天神町六二滿鐵調査課勝谷緑郎（二）の兩名は三日午後九時三十分ごろ信濃町ミドリカフエーに於て飲酒しベベレケに醉つ拂つたうへ、四日午前一時ごろ吉野町一二飲食店平の家に至り盛に暴言を吐き亂暴するので驅付けた細元、澤田、針木三巡査に制止され主署に引致の上泥醉者として保護された

自作品を賣り學資金に
青年畫家森岡君が近く個展を

日本水彩畫會に札幌から出品してその畫才を認められて居た森岡史郎君は暑中休暇を利用して來連した、森岡君は北海道帝國大學の學生であつて札幌を中心とした美術愛好家の中では既にポピユラーな名を持つてゐる許りでなく、東京の日本水彩畫會に連年優秀な作品を發表してゐることで知られてゐる、青年らしい眞摯なそして率直な而も多才な作が畫面に躍つてゐる、君はこの惠まれた

才能の一面

に家庭的には甚だ惠まれず幼にして父母に逝かれ、爾來孤獨流轉の生活をつゞけ學業、繪畫全く獨力によつて築き上げた人である、そしてこの繪が彼の學資の一部となつてゐるのである、若き天才のこのよき繪四十六點（ハルビン、公主嶺、旅順等の南北滿洲及札幌その他の繪）の畫展を九月六、七の兩日滿鐵社員クラブに於て、そして八日には旅順千歳クラブに於て催すこととなつた（寫眞は森岡君とその作品）

赤い舌をペロリ
交通違反で藝妓にお灸

大連逢坂町遊廓貸座敷美人館抱へ藝妓闢子こと奧村チエ（二）と同藝妓君千代こと吉津チヨ（二）の兩名は去月二十九日午前十時三十分ごろ常盤橋の車道を歩いてゐるので取締中の森井巡査に步道を歩けと注意されたが赤い舌をペロリと出して肯ぜぬので遂に告發され四日大連署に呼び出され散々油を搾られた上各科料二圓のお灸を据えられた

コレラ船の消毒も行はず
營口から大連へ回航せしむ
海務局で大いに憤慨

營口警察より當地海務局への情報によると三日營口入港の東新號は乘客中靑島より上海に行く途中、支那人女刑美（二）が發病した事を聞込み診察のうへ檢鏡中三日疑似菌を發見したもので、同東新丸は四日未明營口を發して大連に向つたと、この報に接して海務局では一方船體の消毒も施行せず出帆せしめた營口當局者の態度に少からず憤慨したが、取敢へず同船の入港を待つ事にした、なほ營口よりの情報によるとコレラ患者支那人尼大姑（二）は目下大連入港中の國際汽船べるふあすと號に便乘してゐたもので此間傳染したと稱したとあつたので、これにも再び吃驚させられ直ちに取調たが、これは何かの間違ひらしく當時同人の

近ごろ珍らしい二大事件の公判日決る
滿洲共產黨事件は十一月廿一日
水產不正事件は十月十日に開廷

滿洲初めての大事件として社會の耳目を震駭せしめた廣瀨進、大田二郎、佐藤一男、田中貞美、出口重治、松田豐、田中輝男、矢部猛雄、小林周三、阿部義照、伊藤進次郎、櫻井圭二、八幡政彥、秀島嘉雄、松良一萬太、畝川操、中島保住、納富勇一味十八名にかゝる共產陰謀のケルン事件はいよ〳〵十一月廿一日大連地方法院第一號法廷において森本裁判長、小田、川畑兩判官陪席、池內檢察官干與のうへ

第一回

公判開廷に決定した、當日は中野、古賀、五十村、米岡、大內、小野、竹田、瀧田の各辯護士も立ち會ふ筈である、尙水產不正事件として各方面に大なるセンセーションを捲き起した佐治大助、川上賢三、橫越友吉、鐵山貞藏、高橋德藏、木村龍太郎、加藤巳五七、柳生大三郎にかゝる業務橫領、詐欺、贈賄、收賄、恐喝事件は十月十日第一回公判開廷に決定した

香爐礁の四人組强盜捕はる
强奪したる金品で
拳銃を買ひ一仕事を目論む

去る一日沙河口管內香爐礁第四區劉正明方へ四人組强盜押入り留守居中の妻魏氏（二）を戶外に引出し脅迫の上腕時計其の他數品を强奪して逃走したが、妻魏氏は後難を恐れて其の筋へ屆出でなかつたことを沙河口署員が探知し各方面捜査中、三日午後零時半ごろ西山會春柳屯三春柳において

擧動不審

の支那人二名を誰何取調べたところ、前記劉方の贓品を所持して居るので本署に引致し嚴重取調べの結果、この男は香爐礁第四區居住の苦力王修禮（二）短貨商單吉榮（二）と稱し、去る一日午後十時ごろ小崗子納涼園において香爐礁居住の大工傳克禮（二）馬宜成（二）と四名共謀のうへ劉方を襲つた旨自白したので、同署の刑事隊は同夜十時ごろ傳を、四日朝四時ごろ馬をそれ〴〵

寢込みを

襲つて逮捕した彼等は劉方で强奪した金品を以て拳銃を買入れ更に一仕事せんと目論んでゐたものだと

日本人の縊死

四日午前零時ごろ市內白菊町大運動場附近において年齡廿三歲位の日本人が縊死して居るのを通行人が發見し砂河口署にて取調べたところ所持品もなく身元不明なるため檢視のうへ死體は市役所へ引渡した

けふ第二回試乘の旅客機出發

第二回旅客輸送機は四日午前七時三十五分周水子飛行場を出發した乘客は電通秋田、大每今尾、帝通西川長崎日日向の四氏

飛んだ俳優警察を僞る

市內平和街三十二番地俳優宿舍四號楊蔡氏養女楊秀英（二）は「繼母のため客のないときは常に燒火箸をもつて臀部を毆打され奉天方面に賣飛ばされんとして居るから」と小崗子署へ保護を願出でたので、同署では大いに同情し保護を加へると共に各關係者を呼び出して嚴重取調べ中であつたところ此の程に至り燒火箸にて毆打されたとは眞赤な僞りにて自分にて銅子兒を以つて臀部に傷をつけ燒火箸にて毆打されたが如く裝ひ居つたことが判明、同署では直ちに拘留處分にされた

味噌汁で幼兒死す

市內伏見町十四番地十六號滿鐵社員板橋龍吉二女千鶴子（二）は去る三十日午後零時半ごろ自宅四疊半の間において母親テツ子が晝食の準備中、轉倒して沸騰した味噌汁を背部その他上半身に浴び火傷を負ひ翌三十一日遂に死亡した

疊職靑くなる

市內沙河口巴町二九疊職小塚七太郎（二）は四日午前一時半ごろ小崗子納涼園より馬車にて歸宅の途中霞町電燈會社前にてパナマ帽にはさんでゐた三十圓を二十歲位の支那人に帽子とも掠つ攫はれ靑くなつて沙河口署へ屆出でた

僞造奉票の行使前に御用

沙河口西山會香爐礁二區三十三居住の荷馬車夫袁治品（二）は復縣方面にて僞造奉天票十圓札五十枚を買入れ大連にて行使せんと徘徊して居るのを沙河口署員が逮捕した

平安異香（101）

葉多默太郎 作　中一彌 畫

暴漢去來（五）

パチ〳〵と威勢よく燃える蝋染の火が、枯松の枝に移つてパツと脂臭い煙を吹きあげた時、お秀は星一つない暗澹たる空を仰いで目をつむつた。

枯枝の火が、無雜作に積みあげた肥松の丸太木に燃えうつると、紅蓮の焔がお秀の裾から胸へはひのぼる……

三國山の絶頂で高麗の三郎がみとめて土地獄近しと叫んだ鐵壁の彼方の白煙は、篝火の煙でも炊煙でもなく、現に三郎等が救はうとしてゐるお秀の火刑の煙だつたのだ。

宮部三郎春光の破獄の騒ぎのあつた後、牢番人は春光の穴牢を調べに入つて抜け穴を發見して驚愕した、坑の行方をつきとめようとして、はしなくも坑の中ほどの洞穴に、野良犬のやうになつて死んでゐるがま公を發見し、抜坑の終端が女囚お秀の穴牢へ通じてゐるのを知つて驚愕を倍にした。

お秀の嫌疑は濃厚である。

「春光に加擔して一緒に脱獄をはかつたのだらう」

お秀は悪怯しなかつた。さうだといつて罪に服したので、即刻使が都へ立つて上司に訴へると、その命令が火刑にして囚人の懲戒にせよだつた。

そして今、既に火刑の火が投ぜられたのだ。

お秀は無慚の裸形である。髪を縮らせた生木の松が、地から生えたそのまゝの火刑柱で縛繩は藤蔓だつた。白い腰へ、乳首へ頸へ力まかせに喰ひ込んで、血のめぐる毎に、肉を裂かれるやうな苦痛だつた。

火は、松の小枝から丸太に燃えうつゝて、丸太の皮を、パン〳〵飛ばし始めた、背後へもまはつたと見えて、背にも熱い煙が感じられる。

氣の弱い女なら、火刑と聞いただけで正氣を失ひ、柱にかゝつた時には氣絶してゐるであらうからほんたうの火災の痛苦は知らないですむのだが、幸か不幸かお秀は火焔が膚を舐めようとする今になつても狂氣しなかつた。氣絶もしなかつた。却つて異常な水の底へ沈む石のやうな冷靜が全身を支配して、體中の神經が耳をすませて來るべき炙肉の痛苦を待つてゐるやうだつた。

考へるとたまらないことだ。一層狂氣した方がよい、息が絶へた方がよいと思ふのだが、自分の生命の力を自分でどうにも出來るものではないのだつた。

みだらなことを言つて笑ふ牢番人の聲もはつきり聞きとれる。

刻々に増して來る火焔の熱さもはつきり感ずる。

これでは、煙りが火焔になつて膚を舐め肉を炙きだしたらたまるまいと思ふ。だが仕方がない。耐へねばならぬ。見苦しい死に方はしたくない——

假令身體が燃えても聲をたてまいと、お秀は唇を噛んだ。身體を火焔にまかせて心を空に走らせた。

すると、暗黒の空に、星のやうに浮ぶ一つの顔があつた。

大悲山の巨魁冷泉夢之助のかゞやかしい顔である。

枚方の五位の宿に、夢之助は老婆に身をやつして單身お秀を救はうと苦心をしてくれた。その親切が忘れられない。假令生きながらへて、夢之助の身邊に暮したとてその心にこりかたまつてゐるものを、夢之助にうちあけられるものではない。畢竟おなじことだ、いや、夢之助の姿を目のあたりに見その聲を聞きながら云ひたい事をあかさずにゐるのが、火災の苦痛よりもたまらないかも知れぬ。

「あゝ夢之助さま」

無音の聲が、お秀の魂から叫ばれる。

夢之助の姿を空に見つめてゐれば、案外安らかに死ねさうだ——

パン！と松の丸太の一本が、裂けて、眞黒だつた煙が猛火になつた。

お秀の火刑をめぐる周圍の穴牢の格子へ顔を押しあてゝ、囚人達が火を映して赤鬼のやうに見えるお秀に恐怖の眼をそゝいだ。

國産トーキー 一頓挫の風が吹くか

トーキーの出現は今や全世界の興行界に大きな革命をもたらし、舞踊、ラヂオ、音樂、映畫等あらゆる大衆藝術の要素の總てはこの新らしき科學藝術の中に盛られて、スクリーンの華と咲いて居る。しかし乍ら本邦映畫界を振り返り見ると國産トーキーはマキノのみ盛んに力を入れて居るが、日活は未だ日和見の形であつて、東亞は研究中、松竹に至つてはトーキーの製作はしないと發表してゐる。昭和キネマ發聲映畫、東條政生城南研究所は潤澤なる資金がないため思ふ樣な仕事も出來ずにゐる、常設館としてもトーキーの設備をなすには可成りな資金を必要として内閣の緊縮の聲と共に全國常設館も緊縮、緊縮で經營の削減を行つてゐる。國産トーキーの發展は一頓座を來たしはしまいかと一般から觀測されてゐる。

映畫界東西

エドワード、セヂウイツク監督の「キートンのカメラマン」はメトロ社に入荷した。

◇

ジヨン・ギルバート氏は過日女優イナ・クレアー孃と結婚し飛行機を以つて樂しい新婚旅行の途に上つた。

◇

レヴユーの本場の佛スター、フイルム、エデイション社の大レヴユー繪卷「パソス、アトラクション」は海外映畫社の手により近く本邦へ入荷

大津お萬の初日 五日に變更

既報の同一行は二日から歌舞伎座に蓋をあけることになつてゐたが沿線の都合で初日は五日になつた何しろ肩のこらぬ輕い藝術であるから開演の曉は好評を博するであらうと尚入場料の如きも時節柄破格を以てする由

長春新劇協會 鼻いき荒く 一月には大連で

長春の松宮氏、泉氏等が中心となつて築き上げた長春新劇協會は意外の人氣を澁いて前後二回の公演は何れも滿員の盛況であつたが最も新しい獨自の演出法を開拓してゆく意氣込みに地事社會係り其他各方面の後援が加はり會員一同大いに元氣づいてゐる、それで折角盛り立てた新劇協會を單に長春の小天地に限るのも殘念だとあつて全滿的のものにしやうと益々研究を重ねてゐたが本年一杯に充分練習を積んで一月には花々しく大連に乘り出し社員倶樂部で公開しやうと一決した由である

蚤取り眼の作曲家協會が 不正を發く

作曲家協會は曩に「東京行進曲」の僞版を發見し發行者を相手取り告訴したが、其後も猶、版權侵害の疑ひある僞版を蚤取り眼で探査中であつたが、東京、大阪、名古屋にいくらも同樣なものゝあることが判明したので、先づ「紅屋の娘」「沓掛小唄」の僞版嫌疑を以て民謠普及會に對し、告訴の手續きを取つたと。實際不徳なる樂書出版業者が近來めつきり増加し、啻に樂譜許りでなく少し賣れゆきの好い書籍があると頭目こそ改めるが内容を變作して圖々しく市場に出す卑劣漢などざらに在る模樣である。

キネマニュース

帝國館　此れから大いに外國物にも力を入れる方針で、先づ其の手はじめには「キング、オブ、キングス」あたりの大物をと力んで居る。

◇

演藝館　ドイツトーキー物「サーカスの女王」は本月下旬上映さるゝ筈。

演藝茶話

「妖花アラウネ」を獨演した帝國館の松葉君其の後帝國館の入口にガン張つて來る人毎に「よわりましたよ」を浴せかける「なんしろ前二三列の所を見て居ると、娘さんは涎を垂らさんばかりにして居るし、男はアーアなんて云ふし、本當に厭になりましたよ」所で聲をひそめて「時に存在はソンザイが本當ですか……私のゾンザイは國なまりでしてね」

◇

「牛人牛獸」「水戸黄門」であてゝ居る演藝館の事務所「大入で」いい氣持になつた秀澄支配人、一郎はん津田君等が集まつて大鑿でワイダン「日本の人口七千萬として其の半分が毎晩……」と云ひかけた時にヌツと入つてきた大將。所一同ハツとして目をパチクリ。所が津田君「其の半分が毎晩酒を飲むとしたら大きなもんやナー」今度は御大がパチクリ。

レヴユウ　節約時代

緊縮、緊縮、消費節約といふ事か現内閣によつて唱へられてからこの夏はさつぱり雨が降らぬ。そこで今度は水の節約が訴へられた

□ 旦那さま方に負けぬ氣になつて各大臣の奥様方が一夕節約座談會を催され、公設市場の買物のしかたから、御用聞きのイヂメ方、瓦斯水道の使ひ方といつた細かい處にまで神經を痛められるに至つた事には敬意を表さねばならぬ

□ 消費節約によつて生活が改善せられ、二重三重の負擔の喘ぎから救はれる事は結構だが、口をつゝて捻出した豫算をそのまゝ衣裳や裝身具に流用するやうでは、人體の營養が不足して、家計よりも健康のバランスが採れなくなる

□ 國家が消費を節約して事業の繰延を行ふ半面に於て、失業者の救濟を考慮に入れてこそ不景氣も立直るやうに、我々日常の生活も、美味虚飾の費を節約し轉地旅行その他物見遊山の計畫を繰延べるとともに、これによつて被る心身營養の消耗を補給せねばならぬ。それでこそ節約も始めて意義をなし明るく朗かな健康生活に入る事ができるのだ

□ そこで、健康を支持する上に採算的に見て、我々はどんな方法を選ぶ事が經濟的であるか。すべての營養物や滋養食品は、皆く高價なものばかりで、無産階級の人々には當分、或は生涯口に入れる事は不可能とされてゐる

□ 又、醫療方面からこれを見ても、結核病質の弱い兒童などに對し醫者の薦めを聞けば太陽燈を裝置して毎日應用せよとか、海岸へ轉地させろとか、どん〳〵滋養物を喰はせろとか紋切型はきまつて居るが他人の懷だから大ざつぱで、中産以下には、いかに子が可愛くても早速應用のできそうもないプランだ

□ 我々はいま、節約の投げた波紋が、それからそれへ大きなセンセーションを捲起し、社會各方面における種々相に反映するのを見る時、これを綜合すれば「強く正しく活きるの道」を求めるものに外ならない事を痛感する。強く正しい健康生活を助ける、あらゆる營養物から壓搾して得たエッセンスこそ一日僅か三錢以下で事足りる眼鏡印肝油なのだ

□ 眼鏡印肝油には人體營養の最とせらるゝヴイタミンA及びDが多量に含まれて居り、佝僂病、眼疾その他一般腺病質の虚弱兒童の體質を強壯づけ貧血諸症の、適應藥として產前產後の枯血を潤し、病後の血液循環をよくし、授乳婦には良質の乳汁を多量に、その他脱毛を防ぎ皮膚毛髪の光澤をよくするほか、補精強壯劑の親玉として有名な、しかも高價な滋養食品や營養藥餌中最も經濟的で有効卓拔な事に於いて節約流行の時節柄最も適切なものと斷言し得る

滿洲日報
印刷

勞農側は正式會議前に人事の原狀回復を要求
結局支那側讓歩せん

【上海三日發電】ロシア側で起草せる共同宣言は既に國民政府外交部に到着したが、それに依れば大體支那側の起草せるものと大差ないが、只從來から紛點となつてゐた東支鐵道管理局長、副理事長をロシア人と入替ることについて支那側は

正式會議開始後一九二四年の露支協定に基き理事會を開いて之を決する

と主張せるに對しロシア側は

理事會などは必要なし、ロシアの指定せる人物を直に任命することゝしたい

とて共同宣言の草案に對し其旨の修正を加へて來た模樣で支那が最近弱腰となつてゐることより推測する時は支那は此上强硬に出で折角纏まりかけた共同宣言を棒に振るやうなことはあるまじく結局右ロシアの主張を容れ共同宣言發表正式交渉に入るものと見られてゐる

軍縮と關稅問題を平和のために確立
＝國際聯盟總會における＝ 英國代表の演說要旨

【ゼネバ一三日發電】國際聯盟英國代表たる英國首相マクドナルド氏は本日の總會で左の如く演說した

吾人は國際聯盟をして益々國際的平和の基礎を確立せんがために努力しなければならない、而して吾人は

英米兩國 間の軍備縮小協定が成立するとしても夫は他の何れの國に對しても敵對的意義を有するものに非ず且又何人に對する陰謀でもないのである、而して右協定は今次聯盟總會開會以前に成立し得るであらう、國際聯盟は協心戮力軍備縮小問題解決のため力を致さねばならぬ、即ち戰爭を誘致する最大の危機は吾人の中の或る者が餘りに過大なる軍備を施してゐる事に起因するもので實に本問題解決のために吾人は力を致さねばならぬのである、而して英米兩國間の協定は本目的に到達する第一の貢獻と云ふべきものである、而して本問題の政治的協定が若し

成立せば 戰鬪艦の艦隊を以てすると同樣の國家に對する保證を爲すものと信ずる、目下英米兩國間の協定に到達する爲めには僅かに三點の重要點の解決を要するのみである而して吾人は英米兩國間の協定は以て日英米佛伊五ヶ國の海軍々縮會議召集の前提たらしめんとするものである、エヂプトの聯盟加入に對しては双手を擧げて之を歡迎する、我等は我等が要請せる他の國家に對し既に與へたると同樣の自由をエヂプトに對し承認することに於て後退的であつてはならない、國際聯盟は

關稅問題 を解決すべく更に一歩を進めねばならぬ、我等は目下國民の貧乏問題を解決すべく努めてゐるが、我等は關稅制度の下に我等の貧乏賃金の低下、失業及び階級鬪爭があることを發見せし故に英國政府は苟くも經濟的自由を促進する爲め政治的協定を直に經濟的協定に引直さんとする總ての努力に對し衷心他國政府と協力せんとするものである、我等は自由が

世界創造 の最大の力である事を認める、而して我等は富と物資が自由の缺乏即ち戰爭に依り窒息さるゝを許さない、自由の新時代を要求して熄まぬ

聯盟の仲裁を仰ぐ
勞農は不戰條約に背く　國民政府の聲明內容

【上海四日發電】國民政府は露支問題を正式に國際聯盟に持出すに決し既に駐佛公使高魯、駐米公使伍朝樞兩氏に對し訓令を發したが聯盟總會で發表さるべき支那の聲明の大要は

國民政府は終始一貫して不戰條約を遵守し極東の和平維持に全力を注いで居る、然るに勞農軍は頻りに我國境に侵入し砲擊を加へてゐる我等は直に聯盟の仲裁を仰がんとするものではないが列國は眞相を極め公正なる判斷に依り今回の事件に對されん事を望む

と云ふに在るが右の聲明は一種の聲明で聯盟の意思表示を求めるものではないから列國も只之を聞き置く程度に止めるだらうと見られてゐる

總裁も僕も― 利權屋には強いよ
理事の增員はまだ考へてゐない　大平副總裁の船中談

【はるびん丸特派員無電三日發】はるびん丸船中の大平副總裁は仙石總裁の病狀について非常に心配してゐるが、東京からの無電毎に憂色が晴れ一々記者に其電文を示して喜びを分つたが、總裁の身の上について案ずる副總裁のこの優しい心根を記者は如何にも

奧床しく感銘 した、大平副總裁の住友時代に於ける大なる手腕と絶大なる聲望とが今更の如く思ひ出され、仙石總裁と大平副總裁とを併せ迎へた滿鐵は勿論在滿同胞の喜びと幸福とは蓋し大なるものであらう、殊に正副總裁は常に滿鐵社員や在滿同胞が滿鐵をして政黨より超越せしめよと叫んでゐた理想をして實現せしめることに鋭意努力することになつたので、今後の滿鐵は滿鐵本來の使命である滿蒙の經濟的開發、文化の普及に專念することが出來やうといふのである、氏は滿鐵の政黨化は滿鐵をして社會的に暗影化することゝなり事業の遂行上甚だ困る、殊に政務官でもない理事をして

政變の渦中に 捲き込むなどは決してよいことではない、政變に超然として滿鐵のため國家のため大に努力するのがよい、又梅野君が理事として入社するやうな話も聞いてゐない、現在の理事の任務ぢやないか、理事の增員などは考へてゐない、自分は仙石總裁の女房役として就任したのであるから誠心誠意何處までも其女房役を果すといふことが自分の仕事であり、又責任である、總裁のためよく命令を聞いて出來るだけ仕事が良い結果をするやうに努めたいと思つてゐる、自分が曾て仕事をして社會の人から褒められやうなどゝは毛頭考へてゐない、自分はボンクラ結構だ、仕事をして

褒められやう と思ふのは若い時の事で、今日の自分等の考へることではないよ、女房役の自分だけの、理事は理事だけの、課長は課長だけの仕事さへよくして行けばよい、それが立派な仕事だ、何處までも社員と共に協力して滿鐵のため、國家のため滿蒙の經濟的開發に努めたい、殊に二年ぶりで滿鐵に行くのだから非常に愉快に思つてゐる、北滿の時局も大したことなく結局のところに落着いていつてゐるやうだが、われわれはその和平解決の一日も早からんことを望んでゐる、而して無限な北滿の寶庫をしてロシアなり支那なりとそれぞれ經濟的に提携し大いに

益々開發する ことにしたいと思つてゐる、滿鐵に對する利權屋か、總裁もこの利權屋に對してはなかなか強いよと呵々大笑してゐた

米國の對支投資今後異常に發展か
先づスタンダードの借款成立　引續いて各種の計畫進めらる

【上海特電三日發】スタンダード石油會社と支那財政部との間に一千萬元の借款成立せんとしてゐることは既電の如くであるが、此の借款は今春二月英米煙草と財政部との間に成立せる煙草稅借款と同じカラクリになるものである、即ち現在

アメリカより 支那に輸入される石油は年額三千七百萬兩內六割迄はスタンダード石油でス社が今回支那に貸付ける一千萬元は今後支那に輸入されるス社石油輸入稅によつて償却されるもので換言すればス社は石油輸入稅を前拂することになり其の代り此の借款契約に據るとス社の石油輸入稅は一般の輸入稅より割安となりス社にとつても有利なものである、先般の英米煙草と云ひ今回のスタンダードと云ひ此の方法による借款は今後も必要に應じて容易に繰返し行はれる可能性多分にあり、

大資本會社の 市場獨占傾向を益々濃厚ならしめるものとして深甚なる注意が拂はるべきである、尙アメリカの對支投資は之等を先驅として今後異常なる發展をなす準備中で、彼の一億圓の鐵道借款計畫の外ダラー汽船會社太平洋興業會社等によつても何等かの投資計畫が進められてゐる

北平大學教官に我將校

【東京三日發電】陸軍では國民政府の要望に依り左記四將校を北平大學教官に派遣する事となり、三日の閣議で承認を得たので一兩日中に上奏御裁可を仰ぐ事となつた

工兵第五大隊附　工兵少佐　木村經廣
參謀本部附　步兵少佐　大野廣一
騎兵第二十五聯隊中隊長　騎兵大尉　森茂樹
戶山學校研究部主事　步兵大尉　櫻井德太郎

支那へ出張を命ず(各通)

日本關係の調査命令
王外交部長が

【奉天特電四日發】國民政府外交部長王正廷氏は遼寧省政府に對して日本に對する各種の調査方を命令したと

青聯支部の幹事會
新役員を選任

大連支部は三日午後六時より滿鐵社員俱樂部に於て幹事會を開催、寺島支部長及各幹事出席、先づ支部長より沙河口支部新設に伴ひ現役員改任の必要あり、幹事に左の通り指名した

多門登、針尾辰次、森計夫、後藤吉之助、立川增吉、居田雪雄、南部春雄、黑柳一晴、關利重、山崎藤朔、森田拓志、藤森圓鄕、神守源一郎、杉浦平八、中野醇、和田芳次、高木翔之助、以上

尙常任幹事として互選の結果左の三氏當選す

關利重、山崎藤朔、黑柳一晴

右役員の選任を終つて最近奧地より歸連せし針尾氏より奧地の狀況報告あり第一回議會に於て可決した背後地視察に關する件は本部と協力して極力之が實現を期し具體案を作成して滿鐵其他關係箇所に好意的援助を得べく努力する事に決定、尙松田拓相の來滿を機とし青年聯盟の主義主張を說明して之が諒解を得ると共に國家的見地より之が後援を願ふ事に決す、尙其他會報に關する件、聯盟事務所に關する件等協議し次回は來週木曜日に役員會開催に決定入時半散會した

露支係爭に對する米國輿論の傾向
有力新聞紙の論調
(四)　度水生

ニューヨークタイムス紙は其社說に於て「現在係爭其物は露支だけに限られて居るが日本としては東支回收が先例となり同樣の行爲が滿鐵に對し實現される事を憂慮せざるを得ない」と述べ「若し不戰條約の調印國が實際干戈を交へた場合は如何になるか誰も知らぬ斯かる場合に處し此條約は何れの國に對しても行動を强制して居らぬ。唯誠意を俟つのみである。若し米國も露國も共に國際聯盟員たりとすれば、今次の提議は單に嚴重なる諫告に止らず、戰爭防止の實際手段に據る事が出來る。即ち和平手段と併立して實行手段による保障法がある。單に約束だけの條約(不戰條約を指す)は國際聯盟の有效手段に及ばぬ」と不戰條約の不備を非難してゐる。

ワシントン、スター紙は開戰の場合、露國は聯盟國ではないが米國と同樣其の協力國であつて聯盟は其力を此事件の和平目的に用ゐる事は出來る、而して此爭議に深甚の關係を持つ日本は、[illegible]

議長に安達駐佛大使を持つ以上、聯盟は欲すれば露支抗爭に全力を注ぎ得るだらう、此聯盟の力以外に平和の强制力を有するものに露國內の食糧不足と支那の飢饉があつて開戰を不可能ならしめて居る若し斯くても開戰ありとすれば夫は東支鐵道だけが原因とは見られない、恰度サラジエヴオと同樣に東亞には更に遠大なる要因が潜いて居る、而して之は病理學的のものでもあり、根本的のものである根源は深い、其領土、殊に滿洲を含む領土の爭ふべからざる主人たらんとする新らしい支那人の決意に此動因に發見し得る。一方に於ては露國が常に帝政時代の足跡を辿り、新帝國主義的蘇聯のアジア覇國たらんとする希望にも根を持つて居る。此鐵道爭議は解決するかも知れぬが露支戰爭の要素は永續するだらう。

又ミネアポリス、ヂャーナル紙は「露支係爭は不戰條約の效果を問ふ最初のテストである、最初の試練に於て失敗すれば悪例を殘すのみで、將來の效力を期待出來ぬ。苟くも平和を愛する列國は露支國境に砲聲を響かす事なく事件を鎭壓するに努力すべきだ」

クリスチヤン、サイエンス、モニトー紙「兩國共同國家的對外信用なく一方は無政府狀態で他方は民衆の大部に不評なる革命政府があり、兩國が干戈に交ふるなど見るは濁早である」又同紙は「兩者の仲裁には米佛日の共同委員を以てするが最も合理的である。日本は本問題に最緊切なる關係を有して居り、日支關係は最近餘り面白くないが、紛爭の現場に境を接し同方面に巨大の利權を有し、[illegible]を受くるに充分なる陸海軍を擁する事等は日本が仲裁者たる最も大なる條件である。日本政府は其極東政策に於て利己的の嫌ひなきを得なかつたが、兎に角アジアの發展に關する利害關係並に極東諸事件解決に對し、日本の「フリー、ハンド」を認めざるを得ない」と滿洲に於ける日本の特殊的立場を認め、

スプリング、フキールド、リパブリカン紙は「不戰條約の長所たり得るものは關係國が紛爭に突當ると同時に直ちに其國際的不戰責務を自覺することであり紛爭起りし場合、兩國互に自衛戰を主張し國境に於て兩國衝突後本戰爭となすべく、之が公平なる判定、殊に右に對する共同的干涉が困難なる一事である」と暗に不戰條約の無能力無きを認めて居る。(了)

治外法權撤廢は明年中必ず實行
租界回收外國軍隊撤退と共に
王外交部長の豪語

【北平三日發電】支那側來電に依れば王正廷氏は支那記者に對しベルギー天津租界回收協定成立を以て各國租界回收の第一步となし、外交部は明年中に

第一・租界及び居留地の回收
第二・治外法權を撤廢し領事裁判權の消滅及び外國汽船の國內河川航行禁止
第三・在支外國軍隊撤退

等を實行し明年度より完全に支那人の支那たらしむる方針であると豪語した

新人派の重用に舊派が不平
奉天派幹部の軋轢

【奉天四日發電】高紀毅氏の北寧鐵路局長任命に對し奉天省の舊派重要人物連は遺は張學良氏が舊派を淘汰し新人乃至軍政首腦者を重用せんとする方針の現はれであるとなし張學良氏に對する反感は日を逐ふて高まりつゝあるが、高紀毅氏の橫暴は北寧路局長就任と共に愈々甚だしくこれがため翟省長も辭意を決し居り而して其後任には高紀毅氏が陸軍講武學堂教育長文飽樅氏を推薦し既に內定して居るとさへ傳へられてゐる

瑞典燐寸躍進し支那市場を征服
當業者共同善後策に腐心す

スエデン燐寸最近の活躍は刮目に値するものがある、支那市場には數年前より其巨手を伸ばして買收若しくは合併に依り統一に努めて居つた、此方法は容易に實現不可能であるため壓倒的手段に出て今春より

支那市場 に大々的のダンピング商策を行ひ六月以降新商標燐寸の大輸入を行ひ中國燐寸の販路に割込まんとして居る、從來輸入されたものは瑞鳳鳳牌の本國製品に限られ優良品として都市の需要を充たして居つたが、新に輸入された如意牌(ポーランド製)大鳳牌(ノルエー製)で中國品と競爭のため二三等品であり、値段は中國品三等同樣の十八兩日當である故需要者側は中國品より更に優良で格安なると共に箱代二元の利得あるにより實行漸次激增し中國品は全く壓倒されて居る、爲めに中國製造家は當路官憲に對しスエーデン燐寸阻止の請願をなすと共に共同對策として

排斥運動 を行はんとして居るが具體的進行を見るに至らず全く其死命を制せられて居る形である、スエーデン燐寸の進出は決してダンピングでないと言明して居るが歐洲よりの運賃だけで相當かゝり中國品と同樣の値段に供給される筈がない故莫大な犧牲を拂つて新販路の開拓のため新商標の普及を策して居るものであるが今後支那同業者が如何に之に對應するか其結果如何はスエーデン燐寸の獨占的舞臺を現出するに至るかも知れない

明るい空氣と欣びの色漂ふ
副總裁着任の日の滿鐵本社

大平新副總裁着任の日、副總裁室は平日よりも入念にけさは掃き淸められ前副總裁を送つて月餘あいてゐた椅子も「サーサ何時でもおいでなさい」と云はんばかりに粧ひを凝らして

新主人の 入來を待つて居た、はるびん丸岸壁通過のベルが慌しく鳴り響けば電波の如く重役室を始め各部課室に通ぜられ幹部連中の自動車は列をなして埠頭へ飛ぶ、居殘つた若い連中は仕事半分、待つ氣半分で「どうだい愈々着くね」と水を向けると忽ち仕事を投げ出して副總裁の噂に花が咲く、午前十一時二十三分頃理事が二分遲れて田邊理事が先觸れの如く自動車を本社大玄關に橫付けにすれば埠頭の出迎人の挨拶に手間取つた大平副總裁は十分遲れて藤根理事、木村人事課長、藤井秘書役其他に導かれて悠々と大玄關より階上の

自室へ足 を運ぶ、此時階上梯子の下り口に出迎へた二三の若い平社員に例の溫顏に微笑を浮べて「ヤア久し振りだね」と愛嬌の良いところを見せた、やがて副總裁室に姿が消えると、そこを中心として俄に色めき渡り秘書係の連中が飛ぶ、給仕が走る、まるで戰場のやうな騷ぎを演出した、副內では藤根理事、小日山理事各理事を始めとして山西炭礦長、千秋鞍山製鐵所長、桑島哈爾賓事務所長、其他部長等が卓を圍んで挨拶やら世間話に花が咲き時々室外にも

笑ひ聲が 漏れた、斯て十一時十分、一般社員へ挨拶の爲め新副總裁は各理事と共に協和會館に赴き別項の如き挨拶をなし終つて應接間で各課所長以上を一々引見挨拶を受け正午大廣公望男邸に到り午餐を攝つた

芳澤公使は佛大使に
近日中に發令

【東京三日發電】駐佛大使安達峰一郎氏は國際聯盟總會閉會後一旦賜暇歸朝し駐佛大使更迭はその後で實現するはずであるが、それまで芳澤前支那公使は公使のまゝ待命となることゝなり近日中に左の辭令を發するはずである

特命全權公使　芳澤謙吉
命臨時本省事務從事

從つて芳澤氏の駐佛大使任命は十一月か十二月となるべく、安達大使は再び渡歐無任所特命全權大使として聯盟の常任理事又は國際私法裁判所の判事となることになつてゐる

支那駐劄被免

【東京三日發電】本日の閣議にて左の如く決定した

特命全權公使　芳澤謙吉
支那駐劄被免
待命被仰付

わが海軍獨特の新航空母艦
動搖防止裝置せる

【東京四日發電】海軍では豫て苦心研究中であつた我海軍獨特の航空母艦の設計が完成したので近く橫濱ドックに之が建造注文を發することゝなつた、新航空母艦は明治三十六年廢艦となつた龍驤を襲名し噸數僅か八千百噸の小型であるが完全なスタビライザー(動搖防止裝置)を施設し華府會議制限外の母艦として一大威力を我海軍に加へるものとされてゐる、昭和六年度には完成する豫定であるが之が豫算は二年度以降五年度繼續の現行補助艦建造費中より[illegible]

共產黨の甚しい在露支那人迫害
けふ大連に引揚げて來た　駐露支那領事の話

何日纏まるとも判らない露支關係、露支人間の暗鬪は根强く張られた爲引揚げて來る在露支人は何れも勞農政府の暴戾な仕打を恨んでゐる、四日入港定期船はるびん丸で支那領事蔣榮錦氏が夫人及び露語通譯白玉河氏同件來連した、氏は此消息を傳へて語る

三等客にはまだ山東からあちらに出稼ぎに行つてゐた本國人が三十名許り居りますよ、ロシヤの仕打の非道い事は言葉に盡せません、七月二十八日ニコリスクを引揚げ八月十四日浦鹽に出て居留民の保護や世話をしてゐた人ですが共產黨の壓迫がひどいので支那人一同困つてゐます自分は曾山丸で一應神戶に行きこちらに來たのですが、まづ中華棧に泊つて金の調達をしてハルビンに行くつもりです、そして近くハルビンにおいて開催の露支會議に列席のつもりである、同氏等は殆ど着のみ着のまゝの姿で殊に三等の支那人避難民三十名はみじめなものであつた【寫眞は領事夫妻】

外國郵便係獨立計畫
本年は困難か

大連郵便局では業務處理の圓滑を期する爲め今般郵便課內の外國郵便係を獨立して外國郵便課を新たに郵便課、電信課、貯金課と設置することとし行政改正方遞信局に申請してゐる、遞信局では右要求を至當と認め近く分課規程改正して認可する模樣であるが、何分にも緊縮の折である爲或は本年中には實現出來ぬかも知れぬと

洮南地方の反日氣分は濃厚
邦人旅客注意を要す

【洮南四日發電】露支問題に對する支那側の出兵開始と共に洮南奧地方に於ける軍界及一部民間に反日的氣分濃厚となりつゝあり、去月末[illegible]日本人が洮南に於て[illegible]列車を襲擊した事から[illegible]をも惹起し危ふく大問題となさうとした事もある位で其後も[illegible]には依然として[illegible]を脫しに出るものがあるので洮南旅行する者は[illegible]の注意が必要であると

大場氏赴任期

東京務局部長に榮轉したる、前關東廳高等警察課長大場鑑次郞氏は六日七時三十五分、旅順驛發で出發、同朝出帆の定期船[illegible]ん丸で離連赴任する由

滿日地方版

撫順

彌生町社宅にピストル强盜 主人の夜勤を探知し妻女を脅迫

三日午前三時炭礦社宅の目拔きの場所彌生町四丁目一番地佐藤畔茂氏宅に六人組强盜襲ひ二名は外部に見張り四名は屋內に侵入當夜佐藤氏の夜勤留守を豫じめ探りたる賊等は妻女京子をモーゼル拳銃にて脅かし泣き叫ぶ婦女子に向つて鮮かな日本語にて「聲をたてると殺すぞ」と威嚇しつゝミシン機械時價二百五十圓、蓄音機八十圓、トランク、銘仙衣類等金票四百圓のものを强奪「主人のゐない時又來てやる」からと捨臺詞して悠々と引上げた

研究所倉庫に放火す 直ちに發見

二日午後九時二十分頃撫順炭礦研究所倉庫內に窓硝子を破壞數名の怪漢侵入アンペラ、コーライト等で放火したものがあつたが番人李春山が幸ひにも發見大事に至らなかつた、因に同所は引火し易き藥品多數ある爲絕對に火氣を嚴禁してあつた處であると

擧動不審な撫順師範生

排日的色彩最も濃厚な撫順師範生四名は二日午後七時ごろ楊柏堡露天掘工廠舍を個別にのぞき廻り何等か不穩計畫あるものの如くであつた

楊柏堡に辻强盜 支人を脅迫

三日午前十一時三十分頃撫順新楊柏堡派出所南方約千五百メートルの道路上に拳銃所持の三人組辻强盜現はれ折柄通行中の支那人より現大洋二十元、腕輪及び婦人髮飾約二十元その他金票五十圓のものを强奪逃走した犯人不明

三高軍を屠る 對撫順劍道戰

全國高等專門學校劍道爭覇戰に優勝した京都三高對全撫順劍道部との試合は三日午後三時より撫順道場に於て擧行審判佐藤、横山の兩範士にて二、三段の猛者十八名の龍爭虎鬪の大熱戰が行はれ道場內にはみ出しさうな觀衆に固唾を呑ましたが流石は撫軍巨豪三高軍を二十二對十八で屠る時に閉戰午後五時半

奉天

委員改選に續々と立候補す 新顏の藤巻井上兩氏

奉天における地方委員改選は旣報の如く沼氏の名乘りを一番槍として藤巻、井上兩氏の新顏が立候補を宣言し何れも事務所を設けて活動を開始し他の諸氏は依然として活動を始めてゐるが、こゝ一週間後には續々と名乘りをあげ來るべく相當激戰が豫想されてゐる現委員中より再出場を辭退したものは峰氏の外に嶽永氏あり木谷辰巳氏も躊躇の色を示し末永氏も水川、都甲氏等の有力な議長候補の出馬說に勇退せんとしてゐるらしいがとに角出場はなすらしく一說には三業組合より田中得三郞氏の推薦說もあるが實現はしないらしい

コレラの防疫協議 無料で注射

過般來營口に發生してゐる虎疫に鑑み奉天でも地方事務所、警察署、民會、領事館その他衞生關係者は二日午後一時から地方事務所に參集の上之が豫防方法につき協議し[illegible]者は附屬地內各開業醫その他[illegible]無料で注射せしめること注意書を市內一般に配布する事を決定し四時頃閉會したが一般人は勿論內地に向ふものも下關その他で觀られることもあるので進んで注射をなしその證明書を得られたいと

醫大評議員會

滿洲醫大第二回評議員會は九月十二三日頃大連に於て開催されるが今回は明年度の豫算決定がその重要事項であると

郵便物の違反が多い 注意を喚起

最近小包郵便の中に手紙或は風俗治安を害する繪畫や物件を合封するものを發見するが、郵便規則上禁制となつてゐるので嚴重取締つてゐるが、當局では非常な迷惑を蒙つてゐる、一例としては少女の寫眞を衣服の袂に祕めたり又風俗壞亂の繪葉書が多數の繪葉書中より發見され局員の訊問に赤面する婦人もある、殊にハルビン物の猥褻なる繪葉書が多く文房具[illegible]珍品として密送されるが[illegible]嚴密く發見されるので郵[便規則違]反として處分されるから一[般に注]意されたいと

朝鮮博視察團

奉天輸入組合では今回朝鮮博の見學團を募集すべく計畫を進められてゐるが、金剛山[illegible]設となつてゐるので近く決[illegible]發表するが、期日は本月下[illegible]見らる

判決一束

二日午後[illegible]領事館法廷に於いて公判開[illegible]如く判決言渡しがあつた、[illegible]知縣奉天藤浪町一石炭商中[illegible]郞(四九)は藥品取締法違反[illegible]三十圓▲原籍岐阜縣漆器職[illegible](二七)前科三犯は窃盗罪で懲[illegible]年に處せらる▲原籍愛知[illegible]洪(四六)は窃盗罪で懲役六[illegible]處せらる

拐帶豪遊

大阪居住[illegible]粧品卸商福井竹松方店員山[illegible](假名)は集金途中に金七千圓[illegible]帶し滿洲方面に高飛せる形跡[illegible]ので奉天署では搜査中である[illegible]星ホテルに宿泊し粹山にて[illegible]爲せる事實があつたと

町の便り

◇市內江島町長山醫院炊事ボ[illegible]東海(二〇)及び劉東江(二五)[illegible]名は同醫院の家族並に看護婦[illegible]患者の金品を窃取してゐた事[illegible]院患者谷本の懷中時計紛[illegible]ら判明し目下引續き取調中

◇二日午後四時十五分千代田通[illegible]點先に於て乘合自動車會社の[illegible]ブレーフ(四四)が操縦せる自[動車]が通行中の工業區同忠和方店[員]香寧(四三)を轢き倒し足關節[illegible]全治一週間の打撲傷を負はし[illegible]が自動車側から五圓を支拂[ふこと]ゝなつて解決

◇北寧線の新民府から匿名で[illegible]濟金として五圓を奉天署に[送]るものあり同署では調べた[illegible]庄次郞氏と判明した

◇最近募集した關東廳遞信局[illegible]習生の志願者の內六十名は[illegible]於て入學試驗を執行すること[illegible]り試驗場は奉天中學校教室を[illegible]け九月七、八の兩日に執行[illegible]

◇三日午前四時頃鐵西製糖會社[illegible]に二支那人の擧動不審者を[illegible]の警官が發見し取調べると[illegible]る拳銃と彈丸を所持してゐた[illegible]馬賊の一味ではないかと嚴重[取調]中である

人事

▲福出監査役 三日大連より[illegible]
▲武部商工課長 三日朝大連[illegible]過奉北行
▲鳥取縣米子商業生一行三十[illegible]三日撫順往復同夜赴連
▲岐阜師範生五十名 廿七日[illegible]東旅館に投宿の筈
▲津聯隊區將校團一行十二名[illegible]日來奉九日撫順往復同夜[illegible]へ
▲京都在鄕軍人會駐滿軍隊[視]察團一行四十名 十五日[illegible]り過奉長春へ十七日來奉[illegible]投宿十九日撫順往復同夜[illegible]
▲大竹撫順署長 二日歸撫
▲長山遼陽署長 同歸還
▲岩永第十六師團經理部長[illegible]遼陽へ
▲バレー氏(駐支伊太利公使)[illegible]
▲小川苑菊課長 三日過奉[illegible]日赴連

瀋陽駄話

滿洲醫大の會[illegible]後の色々な[illegible]講堂も完成し[illegible]大學の新方針[illegible]研究方面に力を注ぎ大學の[illegible]發揮せしめることに努めつ[illegible]▲これより先稻葉學長は[illegible]識にネヂ鉢卷の姿で算盤を[illegible]晩までぱちぱちやつてゐたが[illegible]といふ莫大な金額の豫算を[illegible]之を遺憾なく[illegible]

長春

南北支那視察團 商議で計畫

[illegible]商工會議所はやうやく復活するに至つたので豫ての計畫通り在[illegible]の南北支那視察を近く斡旋せんとしてゐる[illegible]月末か十月初めに出發となる[illegible]希望者多い見込みである

北滿夜話

商議の新陣容は愈々成り議員役員等の顏觸れも遺憾なく揃つ[illegible]たが肝腎の認可がまだ來ない▲從つて神饌や關東廳の補助金も出ないだから止むを得ないが一番認憾なのは商議事務局の事務員達だ▲六月のボーナスは言ふも更なり六月以來今日まで鐚一文も貰つてゐない▲大垣書記長初め峰村、內海の兩君それから若いタイピスト嬢が每日秋の空を眺めて吐息を洩らしてゐる▲認可があまり遲れるやうなら何とかしてやらにやなるまいテ

四平街

稻荷神社遷座式 料理店組合の計畫實現

四平街神社の神殿を利用し之に稻荷を奉祠する四平街料理店組合の計畫は其後地方有志の寄附は千餘圓に達し茲に實現化を見るに至り愈々三日午後十時鎭座式を行ひ四日鎭座祭を擧行した、尙餘興として同日午後四時より境內に於て相撲取組を催し更に料理店組合の藝妓連は點燈裝飾に花車を擁出し三味や太鼓で囃しつゝ大にお祭氣分を煽り立てつゝ中央大街を一直線に神社境內に至りしつらへたる假舞臺で夜を徹してお祭に相應しい手踊を行つた

營口

商埠公安局內に臨時防疫處設置 コレラ豫防に努力

[illegible]局ではコレラ發生後益々[illegible]があるので臨時防疫處を[illegible]し極力防疫に努むる筈である[illegible]局長之に當り各局長[illegible]として一日から公安局內に[illegible]開設執務して居る

[illegible]付き一場の喜劇を演じたりとのことである

コレラ患者行倒れ

[illegible]より十日以前來營したる[illegible]は病氣に罹り營口滿鐵[illegible]畑中に行倒れ居たるを防[illegible]に於て發見し採便檢鏡の結果[illegible]と決定し患者は直に支那官[illegible]

支人の怪患者

連勝丸は二日午後五時天津[illegible]入港したるが同船客支那人[illegible]は同日上陸し滿市街に一[illegible]遼陽へ行く目的を以て營口[illegible]乘車せんとしたるに驛[illegible]檢疫醫が診察の際コレラ患者[illegible]ありとして檢診の結果五、[illegible]前より吐瀉したる旨申立て[illegible]元氣なく眼窩落ちくぼみて[illegible]患者として取扱ふの必要を[illegible]直に牛莊屯隔離所に隔離し目[下]試驗中である

防疫事務打合

[illegible]衞生課防疫主任中[illegible]博士は當[illegible]防疫事務打合せの爲二日來營[illegible]と共に新滿市街關係各衙所を視察調査の上即日歸連した

見物中スラる

[illegible]居住の一英國人が一日夕[illegible]市街を散歩し日本雜貨店の見物中何時の間にか懷中の[illegible]をすり取られ買物して代金[illegible]はんとするときに初めて氣[illegible]

關本所長招宴

關本地方事務所長は二日午後七時半から在營口新聞關係者を松月に招待饗宴したるが瀨生地方係長稻葉庶務係長接待役として臨席同十時頃盛會裡に散會した

徵發馬車輸送

軍用の爲屯村より徵發したる馬車九十臺は貨車三臺に積込み去る一日河北驛發一面坡に輸送した

安東

公安局と紛糾 對露示威運動から商務總會と

當地支那街商務總會主催の對露示威運動は旣報の如く公安局の禁止に依り一先づ群集の解散をなしたが午後に至りても各所に小團體を作り依然示威的の行動を續け喧噪を極め公安局の强制的に依り大集團の示威行動が出來ぬ爲め學生團體より代表者を選み奉天及び其の他の土地では官憲側に於て對露示威運動を許可して置きながら安東にのみ强制的の取締をなすは官憲の橫暴も甚だしとし主催者たる商務總會對公安局の間に軋轢を生じ問題は可なり紛糾の形勢を示してゐる

防疫委員會

安東地方事務所地方係では二日午前九時より會議室に於て防疫衞生委員會を開き左の三項に就き協議した

一、近日中に虎疫豫防注射施行の件
二、危險區域の嚴重警戒
三、不潔箇所の淸淨に努める事

尙防疫事務任警師として市川義一郞氏が二日着任し注射液は今の處一萬人分を取寄せる筈

公費督促の宣傳ビラ 各所に配布

地方事務所では地方委員の選擧日を目前に控へて大々的に公費の督促をなす爲め三日標語を記載した四千枚のビラを市民に配布宣傳したがビラ面記載の標語は左記の如くであつた

一、課金を滯らぬやうに
一、千丈の堤も蟻の小穴から
一、名譽の都市も滯納の暗から
一、市政源泉
一、課金滯れば市政は亂れる
一、發展どころか火の車
一、二十年の歷史を誇る我安東
一、一事が萬事
一、一人の滯納全市の衰亡

朝鮮博觀光團

安東驛主催にて朝鮮博覽會觀光團[illegible]を勸誘する事となつたが豫定日は九月二十一日發月曜祭日を兼ね二十四日歸安にて經費は概算二十圓見當であるが一兩日の中正式發表の筈

堀山氏嚴父

撫順新報安東支局長堀山宗逸氏は鄕里にて病氣靜養中なりし嚴父所鐵の急電に接し歸鄕の途に就いたが嚴父は同氏の歸省を待たず三十一日享年八十二歲の高齡を以て逝去したる由

遼河斷片

警察と地方事務所では邦人の罹病者は絕對に一名も出さぬと大決心の下に涙ぐましいほどの大活動をつゞけて居る▲豫防注射の如きもそれからそれへと順次に計畫を立て〻施行し四日、五日の如きも又復午後一時から三時半まで營口座に於て施行居住民は一名も殘らず受けるよう當局は熱望して居る▲本年の秋季淸潔法は大敵を眼前にひかへての眞劍勝負であるから各戶共徹底的にやつて居る▲檢査不合格などは恐らく一戶もあるまいとのこと▲使用支那人の便所については雇主は何等衞生上の注意を拂はず實に不完全極まるものが多い▲なかには全く無いところもある危險率の多い支那人に對し此狀態では徹底的防疫は絕望である▲斷片子は此際新設と大改造を要望する▲五、六歲の子供用の下駄に帝國の國旗を麗々しく彫つけ而も無關心にそれを買つて愛兒にはかして居る愚にもつかぬ家庭がある▲思想惡化の實例に事を缺いで國旗を踏み付けにさすとは不屆にも程がある▲卽刻その出處を探究して製造と販賣とを嚴禁すべきである

貔子窩

獵友會設立

旣報當地天狗連の獵友會は去る二日午後六時より民政支署樓上に於て發會式を擧げ會則を規定し役員の選擧をなし愈々呱々の聲を揚げる事になつた會長に大人榮太郞氏推薦され監事には池田宗太郞有村友藤李田種彥の諸氏選ばれ來る二十二日の日曜日は會員を紅白二班に分ち競獵會を催す筈であるが每年の例として同日頃は雁の到來期になるので大小天狗連愛銃の手入試射等準備をなしてゐる

庭球界賑ふ

庭球に趣味を持つ武波署長を迎ひて活氣付いた貔子窩庭球界は先週の日曜日は署長歡迎試合を催したが、去る一日には署長の返禮試合を小學校コートに於て催した第一回には警務對聯合軍の試合にて警務軍不戰一組を殘して優勝し午後二時閉戰それより混合勝拔試合をなし午後四時終了した

遼陽

商店街實現 再入札して着工 社宅二十六戶を移轉

遼陽商店街は旣報の如く發起人に於て最善の努力を盡し地方事務所も亦極力援助した結果一時疑懼の念に驅られて居た問題も一掃され數日前公會堂に於て組合員總會開催評議員も確定、二日改築工事の入札をなすことになり吉川組、時枝組、柏木組、宮武組、渡邊組を指名入札せしめたるに設計豫算に超過すること夥だしく翌三日午前十時から地方事務所に會合協議して再入札に附する事になつた、因に商店街の實行と同時に從來居住して居た廿六戶の滿鐵社員が遠に轉居せねばならぬ事になり社宅係は市中の空家所有者と借上協定中である

匪賊橫行に商團兵配置 縣商務會で

遼陽縣商務會長陳錦堂は同會役員と協議の上知事及び公安局の諒解を得て近時縣城四周の匪賊橫行は言語に絕し鄕民の避難する者一萬數千人の多きに及び何時縣城を脅かさるゝや計り難きに付差當り商團兵五十名を招募し服裝は陸軍樣式銃器五十挺を買入れ九月一日から懷王寺街萬榮店內に事務所を設け更めて縣長公署を經て省政府の承認を得る準備中であると

白塔漫談

遼陽在職中殉沒した[illegible]十谷久米藏氏を初め遼陽署在職警察官の殉職病沒者の追悼會は慣例として每年八月初旬行はれて居たが今年は水害の爲めか未だ施行された事を耳にせぬ▲追悼會は相當經費も要し、時間も要するが故人を偲び故人に敬意を表する意味に於て出來る事なら實行した方がよい、關東廳には警察官招魂碑があるからと云へばそれまでだ、法要や靈祭は遺族が忌年にやるから他人が餘計なことをせぬでもよいと云ふ譯でもあるまいがと云ふて居る

開原

臨時種痘を施行 開原及び昌圖にて

開原警察署管內に於て臨時種痘を左記の日割により開原及び昌圖に於て施行すると

種痘日 九月十二日自午後一時至同三時、檢痘日同十九日自午後二時至同三時、場所昌圖地方事務所出張所、區域、馬仲河昌圖滿井各派出所部內一圓

種痘日 九月十三日自午後一時至同三時、種痘日同二十日自午後一時至同三時、場所開原公會堂區域、市街、南、孫家街、掏鹿大街、同第二、中國、金溝子各派出所部內一圓

種痘日 九月十四日自午後一時至同三時、檢痘日同廿一日自午後二時至同三時、場所開原公會堂區域、開原大街、北三街、民宅各派出所部內一圓

尙定期種痘該當者に對しては定期種痘としての取扱ひ種痘證を交附す

スポンヂ大會 地方區優勝す

滿鐵運動會開原支部のスポンヂ野球大會は一日午前九時より中央公園グランドに於て擧行された紳合は貨物と驛地方區と學校職合にて遠藤地方係長始球の下に貨物先攻にて驛との試合は開始されたが貨物利あらず遂に五對十一にて驛軍の勝となり次で地方區先攻にて學校聯合との試合を始めたが第五回目迄に一對十三にて地方區の勝となつた優勝戰は驛と地方區にて試合を開始したが驛軍利なく遂に十七A對五にて地方區の優勝に歸し午後四時半終了した

弓道大會盛會

弓道大會は一日午前十時より弓道場に於て擧行された各支部よりの出席者は大連一名松樹一名遼陽一名奉天十一名本溪湖一名鐵嶺五名四平街六名公主嶺四名長春八名開原十六名の多數にて非常に盛會を極めた當日入賞者左の如し

甲組 一等奉天小林初段、二等四平街鈴木二段、三等本溪湖廣津初段、四等奉天伊藤初段、五等長春中山初段、六等長春下館四段、七等奉天西尾四段、八等奉天瀧澤初段、九等開原野原初段、十等公主嶺平野二段以下略す

乙組 一等開原田下、二等長春楢本、三等四平街廣辻、四等長春近藤、五等ゝ春深津、六等開原小林、七等開原常岡

軍司令官來開

畑軍司令官閣下一行は一日午前八時五十七分當驛通過長春向け北行したが來る五日午後五時三十二分着列車にて來開一泊の上翌六日開原守備隊の檢閱をなし同日午前十一時五十五分發列車にて鐵嶺に向ふ豫定

新設隊に三氏轉任

開原守備隊附鈴木特務曹長、中野軍曹、須藤軍曹の三氏は新設第五大隊附を命ぜられ四日午後二時五十二分發列車にて鐵嶺に向け赴任

タクシー出願

開原驛の移轉に伴ひ一般に交通機關の必要を感じて居たが當地嶋武治氏は自動車二臺を購入し開原タクシーを開業すべく目下其筋に出願中なりと云ふ開業の曉は市民の利便は多大であらう而して料金は市內一回金六十錢均一であると

大川氏歸所

大川開原取引所長は出張中の處四日歸開

野犬婦人を咬む

三日午後三時半頃開原大街二十番地遠山時計店前路傍に於て同家の大隈かめさんが何の氣なしに戶外に出た處を野良犬が飛び付いたので之を避けんとしたるも遂に右腕を咬まれたので早速病院に馳せつけ手當を受けたと該野良犬は直ちに毒殺した

鐵嶺

第五大隊が新に駐屯

鐵嶺新設守備隊は旣報の如く第五大隊と決定し大隊本部は當分の間四平街に設置され當地には第十三四の二ケ中隊が置かれる由で中隊幹部も左の如く決定した

第三中隊長大尉根上儀太郞、中隊附中尉佐貫房太、同丸山茂夫、第四中隊長大尉吉川綾次、中隊附中尉道盛淸、同河上才三

尙此外准士官二名下士若干名が增設準備委員として近く鐵嶺に來任する筈であるが旣に虎石臺開原等より轉任の下士は鐵嶺に着任勤務中で中隊設置は來る十二月であると

審判官を招聘

來る八日の滿鐵運動會には競技正式審判員として特に斯界の大家高橋俊夫氏を大連より招聘すると

淸潔法の日割

當地に於ける秋季大淸潔法は左記日割によつて施行されるが本年は雨天多く浸水家屋も多數にあつた模樣であれば特に床下などは嚴重にし其他示達の條項を固く守り徹底的大掃除を勵行し多難り準備をされたいものである

九月二十一日附屬地中央通以北全部▲二十二日中央通以南及鐵道西全部▲二十三日休み▲二十四日居留地全部▲二十五日新臺子亂石山附屬地▲二十六日得勝臺、平頂堡、八里庄、鐵嶺河、[illegible]

民會長歸鐵

內地に出張中であつた紀藤民會長夫妻は三日午後五時の特急で二ケ月振りに歸滿した

博物館寄附金

御大禮記念帝室博物館復興翼贊會の鐵嶺市中側の寄附金は滿鐵と郵便局とを除き一般から募つた結果金百二十五圓八十七錢を得旅順に送金したが滿鐵及郵便局は旣に第一回募集の際送金したと

金融組合移轉

鐵嶺金融組合事務所は旣報の如く適當の家屋が無い爲め竹井安平氏の階下を借り受けて假事務所としてゐたが五條通吉見洋行店舖借入の契約整ひ來る六日頃移轉するが竹井氏留守宅には讓寄地方事務所長が社宅修繕中暫しの借家住まひをすべく移轉すると

語學檢定試驗

[illegible]沿線附屬地滿鐵語學檢定試驗は來る八日午前八時より鐵嶺補習學校に於て施行されるが今年は受驗者非常に多く合計五十三名に達し學級補別は▲譯語一等三名、二等五名、三等八名、四等四名▲日本語特等一名、一等一名、二等四名、三等二十七名

普蘭店

震災記念講演

一日午後七時より小學校講堂に於て開會、先づ井神校長より開會の辭を述べ續いて精神作興に關する詔書を捧讀し會衆一同國歌を奉唱し震災犧牲者のため一分間默禱の後講演會に移り總務課長平井齊三氏は勤儉獎勵の國民運動に醒めよとの題下に歐洲大戰以來我國の經濟狀態より說き來り現內閣成立以來金解禁の準備運動として高調せらるゝ所謂勤儉獎勵の國民總立運動のため一般の奮起を促し山根郵便局長は國民の覺悟と題し最近展墓のため歸省し目擊せる內地の現狀に比し植民地は尙幾多の改善緊縮すべき餘地あることを實例を擧げて力說し最後に此經濟國難に處し貯金奉公の意味に於て御大典記念昭和家產造成會卽ち三百圓積立百圓据置の五萬圓貯金に加入方を勸說し最後に滿銀支店長近藤治氏は金解禁の影響と各自の之に處する態度に付詳說し各獨自の立場より最も有意義なる講演あり十時三十分盛會裡に散會聽衆は五十餘名に過ぎざりしも極めて眞摯なる集りなりき

吉林

李哈市警備司令張作相氏と協議

哈爾賓警備司令李振聲氏は張作相司令官の哈爾賓出動が無期延期となつたので哈爾賓に於ける治安狀況報告の爲めと稱し去る二十七日來吉同日張作相氏と折衝一泊の上哈爾賓に引返したが其際の言に依れば近日露支交涉は支那側の讓步に依つて速かに和平解決するであらうと傳へられて居るが然し今後幾多の紆餘曲折を經ることは予の豫測するに難からぬ所である、現下露國側は國境を脅かすのみならず密かに我が後方攪亂の陰謀を企て〻居るので對露軍事は決して忽諸に附することは出來ない今回李警備司令は張作相司令官に對し

一、在哈露僑の不軌行動に對し普通の刑事懲治辦法適用不可であること
二、哈爾賓に戒嚴を施行するの緊要なること
三、戒嚴期間に於ける外僑保護に關すること
四、哈爾賓公安局を警備司令の指揮下に入れ以て治軍衞民の職責を全ふせんことを[illegible]

したが張司令官は之れを[illegible]め直に之れを許可したと

赤露膺懲の請願書 農會で提出

吉林省[illegible]農會[illegible]其他に關し[illegible]臨時評議員會を開催した事は旣報の通りであるが、同評議員會の決議に依り八月三十一日駐吉張作相司令官に對し赤露膺懲に關する請願書を提出した、尙右と同文を擧天東北政務委員會にも發送したと言はれてゐる

兩交涉員來吉

濱江交涉員蔡運升氏、長春交涉員周玉柄兩氏は去る三十一日前後して吉林に來り張作相主席に對し外交事務に關し報告する所あつたが側聞く所に依れば各交涉署は八月卅一日限り廢止すべしと中央政府の命令に接したるも現下露支問題の爲め廢止は本年末迄延期せらるゝであらうと云はれてゐる

瓦房店

秋季運動會 十五日に擧行

當地滿鐵運動部にては來る十五日午前八時より小學校東方運動場に於て秋期陸上運動會を開催する事となつた

銃器を拐帶馬賊に早變

復縣砲兵第二大隊の子福江、王春林外四名は去る二日勤務中午後十一時頃上官の隙を見計らひ自己擔帶の長銃各一挺彈藥各百餘發を携へ營廷を逃走した多分馬賊の群に投じたらしく尙右班長宋某は責任上取押へられ目下留置取調中である

救世軍の講演

救世軍南滿大隊長酒井參軍及長井大連白石奉天各小隊長一行は五日午後七時三十分より當地分隊會館に於て講演の爲め來瓦する由

小學校の遠足

瓦房店小學校にては三日午前八時より全校生徒一同牡丹寺附近に遠[足][illegible]

金州

大和尙山の登山季節 紅葉も近づく

炎熱燒くが如き滿洲にも秋は訪れた、朝夕の涼風、天高く馬肥ゆるの秋の空、短命にして早や結氷に入る滿洲には此の秋こそ最も惠まれたる好季節と言はねばなるまい此れと同時に我が金州にも此の秋は訪れたのである、名所古蹟を數多有する金州の見學は絕好の時期であり特に仙境幽邃境として知られて居る大和尙山に登山して一日をほしいまゝに探勝と遊山に費す事は秋でなくては味はふ事が出來ぬのである近く十月に入れば全山の櫨木紅葉に化し殊に觀音閣の朝陽、石鼓寺の絕壁、響水寺の響水と相和する紅葉の觀賞は大和尙山でなくては見られぬ卽ち金州の繆りとするに足るものであらう旣に餘暇の一日を利用して登山を思ひ立つ旅大方面の人士も相當見受けられ今後の大和尙山は登山客を以て非常な賑はひを呈するであらう

庭球選手權大會迫る 申込は本日限

來る八日午前九時より驛前滿鐵コートに於て開催さるゝ本社支局主催の全金州庭球選手權大會は餘す處數日に迫り出場選手は練習の强度も愈々猛烈を加へて何れも劣らぬ技量を發揮して當日の混戰を思はしめて居るが、當日は金州最初の催しではあり且運動獎勵の意味を以て石川內外綿支店長より特に石川カツプを贈呈するから未曾有の盛會を呈するであらう、因に申込は今五日を以て締切るに付四日中に申込まるゝと共に何れを問はず奮つて御參加を歡迎する

淸泉畫伯展覽會

滯金中の大場淸泉畫伯は曩に新市街金閣寺に於て自作書展覽會を開き多大の好評を博したが再び來る五、六日の兩日に亘り城內警務課俱樂部に於て開催することになつたが希望者には作品を頒布する由

敗退將棋 (滿日名家) 其一

【飯塚氏五回勝六段目】

香平交手 六段 △飯塚勘一郎
先 六段 ▲平野信助

持駒 飯塚氏 ナシ
持駒 平野氏 ナシ
【圖は四八銀迄の局面】

【盤面以下指方】▲七六歩△三四歩▲二六歩△五四歩▲五六歩△六二銀▲四八銀△五三銀▲二五歩△三二金▲七八金

【對局者の感想】飯塚六段曰く八四歩と突けば相懸り模樣となります。私は少しく考へて留いたので五四歩と形を變へた。平野六段曰く敵が五三銀と上つた時五七銀と同じ形に指すと四四歩と角道を止められ割合に六ケしくなりさうで先に二五歩と飛先を利かした模樣を見た。

【大崎八段講評】後手敵が二六歩と突出すを五四歩と指せしは五筋に深き味はひを含みて[illegible]ある手段なるも總ての位を低くする嫌ひあり。直に八四歩と飛先を突く方變化多し感想にもある通り研究の[illegible]相當自信あらんも作戰としては不利なり。

文藝

満洲短歌界
擬古派と明星派の横行
青木實

満洲に於ける短歌界をみるに、形態上の擬古派と、褪色ゝ弛緩と安價な感傷の結晶とも言ふべき明星末派の横行、跋扈である。

擬古的な短歌は、歪めた形態、扮飾をこらした發想を除去れば救はれる。救ふことのできないのは邪道に擬痺してしまつた明星末派の作家である。歪めたもの、見方懶惰極まる内容、千變一律の形態及び節奏等々。此の派の短歌を作る人々が何の位い満洲に在住してゐるのか知らない。然し僕の拜見した幾つかの短歌は、良いにも惡いにも、ただから云ふ傾向の短歌を作る人々を氣の毒に思ふのみだつた。

明星派の開祖ともいふべき晶子女史の満洲に於ける作歌が幾十だか、幾百だか、雜誌「改造」に發表されたのをみたが、一首として心の底からの「叫び」をきかれなかつたことを未だに記憶してゐる。僕が蛇足を加へるまでもなく彼等は日々衰頽に向ひつゝある。彼等の一味を内地では「相聞」の吉井勇伯、中原綾子女史の一派にみる。我々の努むべきことは、短歌を新らしく學ばんとする人々が、彼らの末社に連なることを極力防止すべきにあるのだ。

擬古的な短歌を作る人々に言ふならば、所謂歌言葉を玩具とし、格調の良さのみに囚はれてゐたのでは、短歌が死んでしまふ。又敍景的な短歌ばかりを作つてゐたのでは、類型的になり勢ひマンネリズムに墮ちることは必定である。歌ふとも花に、月に歌ふ程度から、又「かなしかりけり」「さびしかりけり」から拔け出づるべきである。花に、月に歌ふもよいがかなしさ、寂しさを歌ふもよいが短歌を感傷の玩具にのみしてゐるべきではない。現世に生きる我々は、もつと實生活の上から、歌境を發見すべきである。現實に在つての止むに止まれぬ衝動を「うたごころ」までに導き、短歌に歌ひ上げるべきである。而して、その一首、一首の短歌に、最も適切なる、拔き差しの出來ない表現をすべきであるのだ。そのためには、文語、國語或ひは外國語をも自由自在に驅使すべきである。そこにのみ、昭和の歌人としての意義、面目があるべきではなからうか……

初秋新風景（1）
榮華人
高木鄭子の巻

街路にこそ秋はあれ。眼をつぶれば、俺の網膜に徂徠する幾多の少女があるが、この秋の日なかを共に散歩したいほどの女の姿はなかなかに現はれては來ない。と言つて獨り歩きのぶざまを考へれば、えゝまゝよ、あの女でも連れてつてやれ。

と言つて一緒に歩いてゐる彼女が、この高木鄭子なのだ。何とこの物語の冒頭に於いて紹介しようとする女主人公に對していともさうはしい言ひ表はし方ではないか。

この女、身の丈五尺三寸あまり痩軀。おゝ狐の脚足には持つて來いの人絹に包まれた腕。この頃はそれでも長い袴にそれも包まれて踵のちびた靴を見るばかりだ。

高木孃は、世に言ふ職業婦人ではあつたのである。

この孃の勤め先では、諸君よ彼女の爲に祝福したまへ、唯一の女性であつたが、唯一の女性と言ふ事は、諸君よそれは考へて見ても嬉しい事ではないか。痩軀長身、既に人を魅するに足る。にもかゝはらず、彼女の瞳に於て過剰に生産された媚藥は、彼らにいとも公平なる分配を行ひつゝあるにおいては……

と言つて彼女が妖花アラウネではない事は、彼女をめぐる數々の男たちが不思議にもセキジュアルな感情を持たされない事でゞも判る。斷然、彼女はアラウネではないが、といつて、坊間彼女のセックス如何を問題に附するの要にも與しない。

——要するにだね、君、吾々が彼女に關心を持つ所のものは、正にその點にあるのだと思ふんだがね。

一人の友達が俺に囁きかけた事があつた。まさにそれ以上の興味を持つてゐるらしく見えるのはとりも直さず、それは鄭子のうぬぼれであるかの樣な口吻りだ。

この男、昔、故あつて一人の女に失戀し、由來女に惹かれる事に極度の恐怖を感じてゐる、と言へば形容し盡して餘地なしと言ふ樣な臆病男なのである。

兎も角、この女はそんなに騒がれてゐるのだが、今俺は——俺の氣もちではしよう事なしに——街路の秋を探るべく、まだ日ざしも暑い日中を、彼女と共に歩くべく餘儀なくされてゐるのだ。

おゝ蒼空よ。俺は今數言を費して、大方の諸君にその風丰を髣髴ながらも說明し得た高木鄭子と、斯も華やかな散歩をする氣はなかつたのだ。蒼空よ。今日は何だか俺の心もちが少しばかりふらついて來たぞ。一足、二足、そして狐の脚足ではないが、このお孃さんと、亂舞をしたい慾望で一杯にされてゐる。おゝ。

とたん。「おい、この頃はどうだ」と言つて肩を叩くものがあつた。

笈摺の旅
—季節的隨筆—
大庭武年

秋風が吹初めると僕は堪らなく旅に誘はれる。どう言ふ譯だらう芭蕉の吉野紀行に「旅人と我名呼ばれん初時雨」と言ふ句があるが僕も多分にその心境を感ずる。一二年前迄、學生時代は、僕は貧しい旅行を可成した。文字通り漂々としてあちらこちら出掛けて行つた。秋風にうしろから吹かれ、飄旋する落葉のそれのやうに、あてもなく旅に出る氣持は一寸ボヘミアン向くがいゝものだ。

旅は然し秋には限らない。春の旅も（夏の旅は僕はあまりしたいと思はないが）多の旅も又趣きがあつていゝ。春旅はどこか清新でなごやかだし、多旅は懷しみ深く心持の暖く蒸れてくるものだ。

僕は、秋は多く山に行つた。溫泉場だとか寂しい山里だとか。野分が吹いて時雨がさツと草葺の田舍家の屋根を濡らせて過ぎてゆくさうした鄙びた景色は行きずりの旅人の印象には忘れられぬ秋のものだ。多は暖かい所より寒い所がいゝ。一度雪に埋もれた北國の津輕の海近く迄行つて、その味を覺えた。その時、行き暮て泊つた漁村の旅人宿で、傀儡の藥賣りや、漂泊の寄席藝人の女達と同宿して一夜を潮騷と彼等の鄙猥的なさゞめきの爲めに眠られないで送つた事は「ひとつ屋に遊女も寝たり——」の句も憶ひ合はされて忘れ難い。春はどこへ行つてもいい。何處へ行つても溌剌として愉快だ。だが僕は春はいつそ雜沓の巷に、自分を捨られた子のやうにさまよはすのに趣味を覺えてゐる。僕は度々黄塵の京都に遊んで滿足してゐる。京の春は、都踊紅提灯のともる京の春は、僕には忘れられぬものゝ一つだ。

東京の町は自分の住んでゐる所なので餘り感興を起さない。それに郊外も平凡な氣がする。少し前蒲田に住んでゐた頃、よくスタヂオの連中と、武藏野をロケーションして歩いたが、六郷河畔をのけて惹きつけられる所はなかつたと言つていゝ。それに較べると關西は尤も僕には珍しいからかも知れない。

溫泉場は伊豆だ。あの山かひのいでゆの香は、果物の香と、伊豆娘の肌の香と共に、特徴あつて忘れられない。箱根は近代的趣味にはいいが、笈摺を負ふやうな旅には不向きだ。

旅に就いての僕の望みは、用事を持たない限り、極端に漂然と始終したい事だ。汽車や乘物を利用する事は勿論だが、歩ける所はなるべく歩くやうにし、そして疲ればごろりと草にころんで浮雲を眺め又立ち上つて歩いてゆく。渴すれば川の水を手て掬つて飲み、行き着いた百姓家で一膳の飯を仕度させる。さう言ふやうにして歩いてこそ旅の味は判るやうな氣がする。一本の杖と少しばかりの金さえあれば、持物なぞ外に要らないのだ。大業な旅は僕は一番嫌惡する。

旅！旅！僕は逢ふ人每に惩らした旅の面白味を說く。だが、近頃の若い人達は、多くは旅なぞに趣味を持たぬらしい。僕は時々ひどくそんな事で失望させられる事がある。矢張り旅は、獨りでして、獨りで愉しんでゐればいゝものであるかも知れない——。

珈琲店と文學
大連カフェー改造慾
三昧寺曼

—承前—

柳暗花明の巷は、江戸文學の中心であつた、と謂はれる。而して、謂はれる如く、江戸文學に於て、「遊女」なるものが文學上の一素材として立派に活躍してゐたのである。

然るに現今日本に於て行はれてゐるキヤフエーなるもの、而して其のキヤフエーに於て中心の存在である處の「サービス・ガール」なるものとが果して文學の中心となつてゐるか？

曾て私はキヤフエーを主題として成功した文學を見たことがない（と言はねばならぬ）

これに先立つて、果して現在の珈琲店なるものが文學的要素を保持してゐるかどうか——これを探究するべきであるだらう。

（だが私は此處で時に斷る私は不幸にして内地大都市の最近に於けるキヤフエーを識らない。であるから私が今後言ふであらう處のキヤフエーなるものは大連に於けるそれであるといふ事である）

考へてみるのに——狡猾であり欺瞞的である享樂はキヤフエー時代に來つて恐ろしく其の濃度をましたと私は言つた。然しますと同時に、この狡猾と欺瞞とは次第に其の秘密性を喪失し來つたのである、換言すれば——卑近な例で言ふと、この卓子で狡猾であり欺瞞であるものが隣の卓子に於ては狡猾でなく欺瞞でない、つまり享樂なるものゝ間口の廣さに反して奥行を失つて來た、だから享樂は非常に刹那的となり、だから今や享樂は

人間對人間

ではなくて

人間對耳

であり

人間對口

であり

人間對眼

であり

人間對鼻

であり

人間對觸感

といふ具合になつて來た、といへるであらうと考へる。

斯くして、享樂は早くも宗教から遠ざかつてしまつた。（未完）

満洲短歌會八月例會詠草（一）

おづおづと我れを見あぐるまなぶたのうるみを見れば許さむと思ふ　藤吉蕉作

靈も身も儘土の土に歸するまで君をかたへに生くべしわれは　鈴木千草

馬車降りて馬車のランプにたなぞこの銅貨のいくつかぞへけるかな　西島貞子

みはるかす野邊のはたての空すみてなみ生ふ黍は穗を垂れにけり　宮土ふさえ

親もなくはらからもなきふるさとに何に引かれてわれ歸りきし　中尾千代子

葉鷄頭の紅葉みだるゝ庭の面にゆふかみゆく雨のわびしさ　荒川石楠花

靜やかにうつろ心をいだき來つ山門にふる雨のあかるさ　中澤一雄

裏小路の垣根に白き豆の花そぼふる雨にさやかなるかな　鈴木澄秋

夜をおそみかへりし夫と語らへる明きざしきに出でしこほろぎ　寺本初音

盃を持つたあなたの夢を見てオヤあなたものむのかと思ふ　本間倭文子

秋雨の冷えくし夜は樂焼きに燗あゝめて飲まむ酒かも　安倍喬

折りにふれ思ひし人はむくつけき名前に似なくおとなしき人　佐藤鐵之助

圖書館小話（七）
橋本生

サトウ氏

文久二年の八月に、所謂生麥事件が起つた。薩摩の藩主島津久光の部下が、勅使警衛行列の前踊を横切つた無禮を咎めて、英人一人を斬り、三人を負傷せしめた。その翌年七月、英國は軍艦七隻を鹿兒島に派遣して、賠償を要求したが、薩藩は容易に屈せず、互に砲火を交へた事がある。

明けて元治元年である。今度は佛米蘭英の四國の軍艦が、長州藩を懲らす事があつて、下ノ關を砲擊し、長藩が和を乞ふといふ騒ぎがあつた。サー、アーネスト、サトウ氏は、當時駐日英國公使館の通譯生であつて、此の兩役には何れも通譯の任を帶びて從軍してゐた。

から書出すと、何だか維新史を知つてゐるらしく見え、また當時の外交事情でも、かぢつてゐるかと見えて、甚だ恐れ入る次第だが維新史では、小學校でさへ其の講義に出て來さうな、我等に親みのある此の人が、ついこの頃の八月二十六日、八十六歳の高齡を以て「僕今はインキヨの身となり、只今田園生活を樂しむの外餘念なし」と云つた書簡を綴つたといふので、この機會に、サトウ氏が、どうして我等の記憶に殘つてゐるのかを——其の事蹟を——明かにしたくなつた。

サトウ氏は、倫敦大學在學中日本在勤通譯學生の募集に應じ一八六一年十一月かねてあこがれの日本へ旅立つた。併し、一應支那語を覺えて置くことが、日本語學習にも便利であらうと信じ、先づ北京に入つて數ケ月滯在、支那語滿洲語を習ひ、漢字數百を覺え、翌年九月（日本では文久二年八月）初めて横濱に上陸したのであつた。漢字の記憶は、日本語學習に果して有効であつたさうである。それに別に漢英辭典を所持してゐたのと、異常の勉强によつて、來着後一年餘にして、幕府老中の手紙を英譯するを得、數年の後には、日本外史の一部、近世史略の全部をもほん譯することが出來たといふ。又[illegible]を習ひ、御家流を習ひ、[illegible]に變つて行つた。外人で草體まで書いたのは全く珍しいとされてゐる。

家は高輪に在つたが、食住共に純日本式とし、男女數人を雇用して、言語、風俗、思想を研究した。旅行した地方も多い。前記鹿兒島、下關を初め、大阪兵庫より箱館、新潟、佐渡、能登、加賀、越前、近江、四國では土佐、德島でも兩藩主の招待を受けてゐる。人物は當時の人傑西郷、岩倉、井上、伊藤、大限等と大抵親交若しくは面識あり、時には酒樓に遊び飲んで夜半に至ることもあつたといふから、市井の雜事にも委しかつた。今僕はインキヨの身とは晩年まで勿論覺えてゐた言葉であらうし、人が日本語のうまいことを褒めると「おだてともつこには乘りませんよ」と云つたのも事實であらう。曾て柳河春三と鐵砲洲の鰻屋に上つた時、その談笑の樣子を見て、家人は外人たることを信じなかつたとか。アーネスト、サトウを日本風に「佐藤愛之助」と名乘つたのなども面白いではないか。

著述論文も頗る多いが、一八八八年出版（明治二十一年）「耶蘇會版行書誌」は、所謂南蠻研究の最初のものだといふから、何れ新村博士等の本には出てゐることであらう。

日本關係の内外の貴書珍籍を集めてゐたが、中にはポルトガル文を挿入した「太平記拔書」の如き天下の奇書もあつた。氏は退隱の後、一旦藏書を賣拂つたが、再び蒐集を始めてゐたといふ。この邊圖書館小話の材料として全然方違ひでは無からう。

サトウ氏の日本來任は、前記の如く文久二年公使として再來最後に北京に轉任したのが明治三十三年、在任前後二十八年といふ。（本篇は主として明治文化發祥記念誌による）

小さな出來事

◇「月刊撫順」獨り南滿に氣を吐いて——依然。

◇「協和」既に沈衰。

◇滿洲に於ける雜誌が金の無心でなくなり受取でなくなり、而して有閑ボーイの自瀆でなくなる時は何時の日、何時の時か。

◇旅順の滿洲文藝社はどうなつた

三千世界の烏を殺し主と朝寢が出來たとしても滿洲で文藝運動が成功したゝめしがない（ひ）

漫話
伯父參

汽車は、丹波但馬を過ぎ今、山陰の水都松江を指してヒタ走りに走つてゐる。車中は溫泉行らしい人々や海水浴通ひの學生達で可なり混んでゐる。

澤井眞介は上衣を脫ぎボイルに裏日本の風を含ませ乍ら、刻々展開し行く窓外の景色を飽かず眺めた。

學友であつたし同僚でもある森が暑中休暇を鄕里松江に歸省して三日後、約束通り眞介は森の家に招かれての愉快な旅である。

一つあり、眞介は山陰の旅は初めてゝあり、森の一家では森と森の妹美保子の外は一面識もない。いはんや今度の芝居で富樫左衛門尉の役である苦手の森の伯父とは初めての對面であるは言ふ迄もない。芝居の筋書は…。

森の妹美保子と眞介とは森を通じて信頼と共鳴の戀仲であるが、結婚の話になると如何しても森の伯父が首を横に振る。身寄りとて無い一介の會社員眞介の如きは伯父の眼には美保子との結婚には對照價値はないのだ。伯父は頑として應じん。そこで森の計らひで暑中休暇に眞介を招きそれとなく伯父の注目と眞介の價値を結び付けようとの一芝居となつたのである。

松江に於ける眞介の活躍は正に檜舞臺の名優の觀があつた。森と共に伯父を宍道湖に誘ひ、船を顛覆さして伯父を救ひ、玉造溫泉へドライヴして妙腕伯父の心膽を寒からしめ、美保ケ關で海上雲表の伯耆大山を謳つた麗筆人生、美術、文學事業、健康に關する該博なる名論卓說等々、悉く伯父をして信頼せしめて仕舞つたのである。

『最後に妙な事を申しますが日本の健康と發展は、蛔蟲驅除が急務です』

『それには常に蛔蟲下しマクニンを服むことよ』

眞介と美保子の手を握つた伯父は、到頭、結婚贊成の[illegible]。

朝鮮文化の粋を一覽の好チヤンス
頗る要領を得た鮮博觀光團員の募集締切り切迫す

朝鮮博、いよ／＼この十二日から華々しく開會される目と鼻の間である朝鮮と滿洲、何が何でも一度は見て置かねばならぬ、殊に十日からは空を翔つて三時間餘で達するといふ文明の時代だ、併し飛行機には座席の制限がある急行列車と寢臺車で夜中や土曜、日曜を遺憾なく利用し往復三泊、四日間で歸るといふ最も要領を得た日程、方法で朝鮮文化の粋を一覽し、それを以て大陸開發の礎地を作るといふことは、われ／＼の義務でもあり權利でもある、この意味で、わが社は最も要領を得た方法として一團體を三十名に限り秋の滿鮮を觀光しつゝ三十五圓の會費で途中の便宜は申すまでもなく、京城における博覽會觀察のプログラムも最も要領を得る上に普通個人の見物客では掴むことの出來ぬいろ／＼の便宜や特權がある、朝鮮博氣分は鷄林半島から滿洲へまで横溢しつゝある、それに期日も切迫して來た、いざ三十五圓（小人は二十五圓）を以て、この意義ある催しに對し一日も早く申込んで大陸開發の好チヤンスを掴まうではないか

第一回觀光團日程

二十六日午前九時大連驛發
廿七日午前九時四十分京城驛着
二十八日午後七時廿分京城驛發
二十九日午後八時三十分大連驛着解散

といふ最も要領を得た日程であるが、京城における二日間は二十七日午前九時四十分着城と同時に自動車にて博覽會場に向ひ會場を一巡し午後六時より自由行動、二十八日午前八時より朝鮮神宮に參拜し午後一時より動物園、植物園および秘苑拜觀といふことになつてゐるが、この秘苑の如き普通は開放せざる李王家の秘苑だけに博覽會の殷賑さを觀賞すると共に拜觀せねばならぬところである

みづとり　—旅順所見—

對馬海峽突破 福岡へ空の旅
本社特派の藤井記者 きのふ午後汝矣島を離陸

【京城特電四日發】大連京城連絡飛行に成功したわが社特派員の藤井記者は更に對馬海峽突破、福岡に飛び大連における最初の內滿連絡者たるべく四日午後一時二十七分フオツカーユニバーサル機に搭乘して汝矣島飛行場を出發した意氣軒昂颯爽たる武者振りで朝來雨歇み風和やかに絶好の飛行日和であつた

美濃機京城安着

【京城四日發電】大連記者團一行を試乘せしめて四日午前七時三十五分周水子飛行場を出發せる美濃機は同十一時平壤着同地より更に二名の記者を同乘せしめ午後一時三分（朝鮮時間）無事汝矣島飛行場に到着した

鳴弦の儀 奉仕者決る

【東京四日發電】皇后陛下の御日出度き御出産の日も後一月に迫つたが、皇子御生誕後御七夜の儀の御命名當日の鳴弦の儀奉仕者は久宮の節奉仕した本多正復子、大給近孝子、井伊直方子、細川立興子が正と控とを替へて奉仕することゝなつた

マニラ地方に颱風

【マニラ四日發電】昨朝來本島一帶を襲ふた颱風は可なり猛烈で[illegible]に於ては椰子其の他の作物荒廢に歸し住家の破壞數百に上り負傷者も相當にあるがマニラは幸ひ颱風の中心から免れた

二科賞樗牛賞

【東京三日發電】二科會では本日午後三時半左の如く二科賞樗牛賞及び推薦會友を發表した
△二科賞 野間仁根、川口軌外、高野三三夫
△樗牛賞 清水登之、笠置季男
△會友推薦 林重義、中山巍

プログラムを恙なく終る
あめりか丸の日本一周團 三日神戸に歸着す

ツーリスト、ビユーロー主催本社後援の大阪商船アメリカ丸による日本一周觀察旅行團は八月三日神戸解纜壯途に就いて以來まる一ケ月を費して豫定通り各地を周遊し三百名の團員は何れもプログラム通りの史蹟の探勝、風光美を滿喫しつゝ恙なく三日神戸に歸港、茲に此の未曾有の日本一周旅行は參加者の期待以上の絶大な滿足と感謝を贏ち得て非常な成功裡に最後のページを閉づることゝなつたが大阪商船會社では三日高柳本社長宛左の如き挨拶を寄せて來た

弊社アメリカ丸日本一周船として貴地寄港の節は甚大なる御援助を辱り感謝に堪へず、無事終了にあたり御挨拶申上ぐ　大阪商船會社

福原院長靜養

【東京三日發電】學習院長、帝國美術院長福原鐐二郎氏は八月二十四日目白の官舍に於て腦溢血にて昏倒し爾來靜養中であつたが經過極めて良好で最早や登校しても良い程度となつたが老體でもあり持病の腎臟病等もあるので更に自重することゝなり其の間松浦女子學習院長を代理せしむる旨三日宮內省より發表された

堤代議士取調べらる
勳章事件に絡み

【東京四日發電】新潟縣代議士堤清六氏は本日午後二時警視廳刑事に伴はれ東京檢事局に出頭した、右は勳章事件に關係するものとして注目されてゐる、即ち同氏は御大典當時勳三等に敍せられ瑞寶章を授けられたが、これは勳章事件に關し多額の運動費を出したものといはれ贈賄嫌疑を以て取調べてゐるものである

きのふ來連の中谷關東廳警務局長（左）大連警察署でうつす（右は高山署長）

流産になつた市營小住宅增築案
お役所の繁文縟禮から

大連市役所では目下市內に小住宅が拂底してゐるので六疊二間や六疊に四疊といつたやうな家賃二十圓以內の市營住宅四十八軒を沙河口水源地附近市營住宅の隣接地千餘坪に增築する計畫を樹て去る五月頃關東廳に

內交渉を進め

六月二十一日正式に書類を提出した、然るに民政署では餘程念入りに調査したものと見え關東廳が受け付たのは八月十三日無論關東廳では直に內諾を與へたので市では九月一日起工すべく八月二十六日を指名入札期日と定めその前日入札希望者を集めて現場說明に行つて見ると滿電の石炭運搬引込線が邪魔の儘である、市役所では大いに驚いて右レール架け換の元締である滿鐵の中島市會議員に糺すと「仲々手數の掛る工事だから今年の建築には間に合はぬ」といふことで「レールの除去は二十日もあれば出來る」と民政署から聞いてゐた市役所では益々あはてだした、之より先き

レール移轉

の衝に當る（此移轉は二十萬圓を要するが滿鐵としては一面必要上進んで承諾したもの）保線區長武井氏は四十五日の工事豫定とし八月十五日竣工の計畫書附でチヤンと早目に認可申請をしたのであるが、認可の指令が民政署に送達されたのは八月二十四日である、これでは如何に工事を急いでも十一月に竣工の見込はないから市では工事監督等の準備を一切取止め土地貸下も來春迄延期の餘儀なきに至り折角の計畫は終に流産となつた

奉天城內居住の邦人追出策
家屋の賃貸を禁止

【奉天特電四日發】最近支那側に於ては城內に於ける邦人の居住を禁止せんとあらゆる手段を弄し家主に對し

家屋賃貸

を妨止し家屋賃貸期間滿了せざるものに對し家賃上げ、家屋賣却を口實とし立退きを强要し大多數は已むなく家賃値上げに應じ滿期まで賃借することゝなつたが中には道路を擴張するとて改築し法外の家賃を要求せられ已むなく立退いたものもある、右に關し公安局員の語るところに依れば、外國人に對する家屋の賃貸は總て交涉署の承認を要することとなるが爲め省政府の命により

現在邦人

が借家しをるものに對し家賃の[illegible]期間及び賃貸を許すと契約の調査をすることゝなり目下調査中にて期間滿期のときは絶對に官憲の許可なくして再契約を許さない方針であると

酷寒と大洪水
滿洲里海拉爾間

【ハルビン特電三日發】滿洲里、海拉爾間大洪水で列車運行せず切符を發賣せず、夜は零下二度餘に低下し支那軍隊は惱まされてゐる

樂浪遺物の研究一段落
近く報告發表

【東京三日發電】大正十二年秋朝鮮樂浪の遺跡から發掘された考古學上貴重なる漢代の遺物は從來東京帝國大學考古學教室に於て原田助教授以下熱心に研究を續けてゐたが、最近一段落を告げたので學界に其の研究報告を發表することゝなつた、報告は四六版四倍版で原田氏の論文百五十頁及び其の英譯文、コロタイプ及び彩色の圖百五十枚より成り二千餘年前の漢時代の絢爛たる文化を示す漆器絹織物占道具等が殆ど完全に修錄されてゐる、此報告は世界の考古學界の注目を集めて居り東洋考古學上一エポツクを劃するものと云はれてゐる

電氣列車やら旅大パノラマ
新装なれる自動車ビルで滿電が電氣展を開く

南滿電氣會社では西通常盤橋畔に三階建の瀟洒たる自動車ビルの落成を見、既に自動車部では去る一日より新事務所に於て營業を開始しつゝあるを機とし、來る十四日より二十三日まで十日間

電氣知識

の普及並に交通事故の防止に資する目的を以て電氣展覽會を開催することゝなり、過般來會場たる同ビル二階三階の設備に忙殺されてゐる、設備品中の主なるものは先づ子供等を喜ばせる電氣玩具、殊に電氣列車の如きは相當に大きなもので社員出張の際態々ドイツから購入してきたものである、次は

旅大沿道

のパノラマ式の模型でこの廻轉によつて旅大沿道を自動車でドライヴする爽快さを味はしめんとするもの、その他電氣器具類の陳列は勿論、學校研究所等より參考品として電送寫眞、トーキー等の出品ある筈である、倘市中側の出品申込みも續々あり、これが直接の係である電燈課では配置に腐心してゐる、場所は未定であるが他の會場に於ては凡ゆる各種の自動車の陳列を行ふ筈である、而して滿電ではこれを

記念とし

て記念賣出し即ち卸賣を行ふ準備を進めてゐる

大連醫院看護婦を募集

大連醫院看護婦養成所では昭和四年度秋期生徒を募集中であるが同生徒は二ケ年間醫院經費で修業し卒業の上は直に看護婦に採用せられ初任給金一圓五十錢位を支給せらるゝと

胴體だけの死體網に掛る

【長崎三日發電】今朝東彼杵郡千綿村漁夫濱崎熊一が其の妻と出漁し一哩餘の處に漕ぎ出し網を下せるに首、手足を切斷せる胴のみの死體を碇に括り付け投入せるもの引掛り來れるより大いに驚き、すぐ引返し所轄大村署に急報せるより係官出張更に引揚げたるが胴體のみの死體なるは明かなるも既に時日を經過せるものと見へ腐爛し居り男女の別さへ判然せぬが、股引樣のもの附着し居るより犯罪隱蔽の爲め或種兇行の後死體を切離し此の擧に出でしものらしく檢事の出張を申請すると共に極力犯人嚴探中なるも五里霧中である

自動車の衝突

旅順市東町一二共和運送店自動車運轉手（乙種）劉肇余（二こ）は三日午後二十分頃主人劉兆富並に苦力夏某を旅一一四號貨物自動車に乘せて旅大道路を小崗子に向ひ疾走中馬車收容所入口附近に於いて前方の客馬車を追ひ拔かんとして右側の電柱と衝突し車體は約三百圓程度の損害を被り同乘の夏某は約四間前方の地上に投げ出されて頭部に重傷を負ひ同壽病院に直に入院せるも生命危篤

故小川中將靈前にム首相より花環

【東京三日發電】去る八月十四日立川で殉職した故小川常三郎中將は曾て伊太利に駐在すること七年に及び歐洲大戰には伊太利野戰軍に從軍し又大使館附武官としてムツソリニー首相と親交あり、日、伊親善のため盡したところ大であつたと云ふので、今回ムツソリニー首相は駐日大使アイロヂー男を首相の代理として其の靈前に大花輪と自署の寫眞とを捧げしめる旨ム首相より通知があつた、小川家では九月十七日築地本願寺で五七忌を營むので其の際大使より靈前に捧げることゝなつた

婦人タイムス社

元本社記者保科喜代次氏は今回旬刊婦人タイムス社を經營する事となり發行人許可方を關東廳に出願中、二日附許可されたので關係方面を歴訪挨拶した

觀水會素謠會

來る八日午後一時より南山麓楓町中堂師範宅に於て月例會を開催し番組は三輪、敦盛、小督、鐵輪、鵜、三井寺等なりと

子供婦人服研究會

大連聯合婦人會主催の子供婦人服研究會は今回新界の權威者林牛九氏を聘し毎週木曜日午後一時より同四時まで大連聯合會ホールにて開催、實際的高等なる知識技能を徹底的に教授すると共に洋服に關する相談にも應ずべく會員は三十名を限り講習期間中も隨時入學を許すと

愛慾の窓（91）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

暗翳（四）

倭文子が振向くと、思ひがけなくもそこには草野久彦が佇んでゐるのだつた。

「あら……！」

彼女は嬉しさにおぼえず短く叫ぶと、にっこりと微笑んだが、直ぐ顔を赧らめてうつむいてしまつた。地獄に佛といふ氣がしたと同時に、極りの悪さに顔が火照つたのである。

「……何うかなすつたのですか？友永君と御一緒ぢやアなかつたのですか？」

と、久彦はまた訊ねた。

「は、わたくし一人で……一寸買物に出て來たので御座いますの」

と、倭文子は低い聲で答へた。

そして一寸の間、そこで言葉を途切らせたが

「……お恥しい話ですけれど……財布を掏られてしまひまして……實はどうしようかと途方に暮れてゐたところで御座いますの」

といふ。

「……そりやあ飛んだ災難でしたね、早速係の人にお屆けになつた方がいゝ」

久彦は眉をひそめて云つたが、彼の顔色はいつもながらあまりすぐれない。何か心にぢりぢりしてゐることでもあるらしく、神經的に眉をひそめ、唇をひきつらせてゐる。

「いゝえ、いくらも入つてゐるわけでもありませんから……それにいろんなこと訊かれるのも厭で御座いますから」

と、倭文子は久彦の言葉を打消して、恥かしさうに微笑んだ。彼女の氣持も、おちついて來た。

「さうですか、それもさうですね。で、何うなさいますか？お歸りになりますか、それともお買物をなさらなければならないのですか？お買物によつては、僕のポケットマネイで間に……合はんかな？はゝゝゝ」

と久彦ははじめて笑聲を立てた。

「いえ、よろしいんで御座いますの……また出なほしませう」

倭文子も笑つた。

そこで彼等は冷たい飲料を啜ると、出口へぬけて、タキシを招いた。

「……帝國ホテルまで」

久彦は運轉手に命じた。

「ほんとうに思ひがけないところでお目にかゝれて、わたくし、大助かりで御座いますわ、もしあなたにお目にかゝれませんでしたらわたくしお金はなし、何うしたらよろしかつたでせう……」

柔かい自動車の褥席に、少し間隔をおいて腰をおろしながら、倭文子は述懐するのだつた。

「ほんとうに好い偶然でしたね、僕もあすこであなたをお見掛けしようとは思つてもみませんでした……」

「……兄ゃどんなに有り難く思ふか知れませんわ」

「いや、そんなに仰有られると、恐縮ですよ……」

久彦は倭文子の顔から眼を外さうと努めつゞけてゐた。にもかゝはらず、抗ひがたい魅力で惹かれるやうに、視線はひとりでに彼女の横顔へ向くのだ。うつむき加減の、つゝましやかな端麗なその横顔！久彦はまたしてもそこにまざまざと亡き戀人の生ける幻影を見るのであつた。

似てゐるとかゐないとか、そんな言葉はもう役には立たないやうな氣がした。亡き綱子その人が、再び現身の姿をかりて、倭文子となつて現れて來たとより他は思へない。だが、今はかうして一つ自動車のなかで言葉交へることも出來るが、間もなく小森家に嫁いでしまつて……自分とはおそらく路傍の人以上に疎々しい間柄となつてしまふのだ。

「……倭文子さん！」

と、久彦は思ひ切つて、しかし臆病さうに呼びかけた。

「……何で御座いますの？」

邪氣なげに此方へ向く二つの眸の、長い睫毛の蔭かしげな瞬きにすら、久彦は綱子の幻影を見ずにはゐられない。

「御結婚のお日取りも、もうおきまりですか？」

彼は上釣つた聲で訊ねた。

「は……もう十日ありますか知ら？」

倭文子は答へたが、その顔にはありありと苦痛の色が現れてゐるのだつた。

川柳九月課題

九月十日〆切「盲」　島原　蛙足選
九月十日〆切「浮沈」　丸角卯木人選
△一題五句限り三光海賞を呈す

滿日社文藝係

新刊紹介

▲音樂世界（九月號）東京神田小川町四一其社發行（定價四十錢）
▲大毎（九月號）京都市外伏見三夜莊其社發行（定價四十五錢）
▲資生堂月報（九月號）東京京橋出雲町資生堂發行（定價五錢）
▲印刷雜誌（八月號）東京牛込矢來町三一其社發行（定價四十五錢）
▲商業世界（九月號）東京日本橋小傳馬町一の三其社發行（定價三十五錢）
▲日滿協會報告（第四十八號）內容はソ聯邦の都市公益事業利權計畫其他東京內幸町一ノ三日露協會發行
▲心靈と人生（九月號）横濱市鶴見區東寺谷一六〇一心靈科學研究會發行（定價二十錢）
▲雄邦日本（九月號）東京市麻布區田島町雄邦日本協會發行（定價二十錢）
▲交通講演集（第一輯）東京市丸ノ內郵船ビル帝國運送協會內日本交通協會發行
▲教育時論（千五百九十一號）東京麴町三番地六三開發社發行（定價十八錢）
▲海友（九月號）海務協會發行
▲麻雀春秋（名人手合せ號）東京日本橋本小田原町文藝春秋社出版部發行（定價三十錢）
▲社會研究（九月號）大連市松山臺滿洲社會事業研究會發行（定價六十錢）
▲東亞（九月號）東京麴町丸の內二の二東亞經濟調査局發行（定價二十錢）
▲農業世界（九月號）東京日本橋本石町三丁目博物館發行（定價四十錢）
▲經營の實際（九月號）東京神田表猿樂町二兩光社發行（定價五十錢）
▲エヤーブレン、レクチユアブツク（第二卷）內容は飛行機製造學、發動機學飛行機操縱術アシデント航空氣象學飛行機設計學飛行機製作術航空史の各部門に亘る講義錄である、東京府下蒲田日本飛行學校發行
▲血は躍らかに踊る（新井元夫著）著者が亂兆鍋西の良將榊原武守忠元を中心に西陲の一角に捲き起つた風雲を謠にしたものである（東京市赤坂內原將開拓社出版部內東洋史談刊行會發行、定價一圓三十錢）
▲生活體系の考察（諏訪二郎著）人間苦の解決に次ぐ新著で生活思想、宗教問題を論じてゐる（東京府下大井町生活者協會出版部、定價一圓）